

取扱説明書

Home Cinema EH-TW6600W EH-TW6600



お使いになる前に

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。

本製品を、安全に正しくお使いいただくために、添付のマニュアル類をよくお読みください。不明な点はいつでも解決できるように、その後はすぐに見られる場所に大切に保存してください。



各説明書の使い方

本機の説明書は次のとおり構成されています。

安全にお使いいただくために/ サポートとサービスのご案内

本機を安全にお使いいただくための注意事項とサポート・サービスのご案内、トラブルチェックシートなどが記載されています。使い始める前に、必ずご覧ください。



取扱説明書（本書）

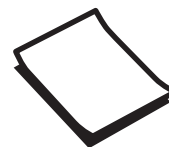
本機を使い始めるまでの準備や基本操作、環境設定メニューの使い方と、困ったときの対処方法、お手入れの方法などについて記載しています。

同梱のCDは、冊子と同じ内容です。



3Dメガネ 取扱説明書

3Dメガネの取り扱い方法や注意などについて記載しています。



WirelessHDトランスミッター 取扱説明書（EH-TW6600Wのみ）

WirelessHDトランスミッターの取り扱い方法や注意などについて記載しています。





説明書中の表示の意味

安全に関する表示

取扱説明書および本機には、本機を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。
その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

注意

本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。

	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項やより詳しい説明を記載しているページを示しています。
[メニュー名]	環境設定メニューの項目を示しています。 例：[画質] – [カラーモード]
ボタン名	リモコンまたは操作パネルのボタンを示しています。 例：  ボタン

「本機」または「本プロジェクター」という表記について

本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほか同梱品やオプション品も含まれる場合があります。

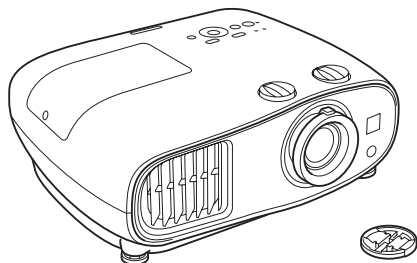


同梱品の確認

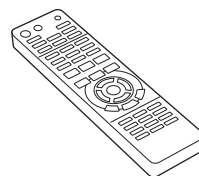
下記をご覧になり、同梱品を確認してください。

万一、不足や不良がありましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

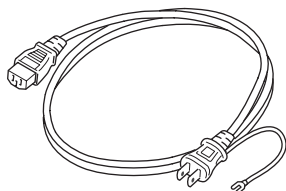
プロジェクター本体



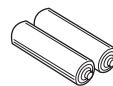
リモコン ➡ [p.10](#)



電源コード

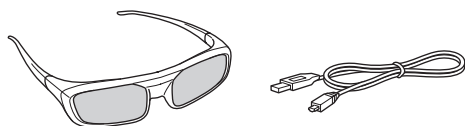


単3形アルカリ乾電池（2本） ➡ [p.25](#)



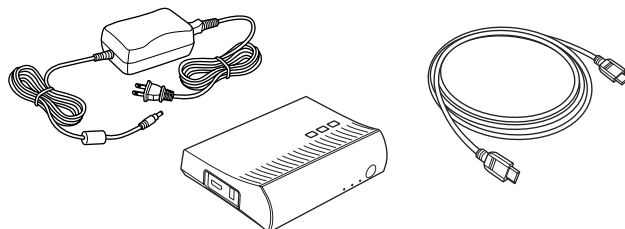
3Dメガネ一式 ➡ [p.48](#)

3Dメガネの同梱品は、3Dメガネの取扱説明書をご覧ください。



WirelessHDトランスミッター一式 （EH-TW6600Wのみ） ➡ [p.56](#)

HDMIケーブルは2mです。

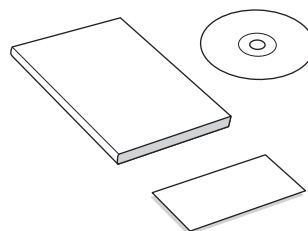


USB充電AC電源アダプター （EH-TW6600のみ）



取扱説明書 ➡ [p.1](#)

保証書



説明書の構成と表示の意味

各説明書の使い方	1
説明書中の表示の意味	2
安全に関する表示	2
一般情報に関する表示	2
「本機」または「本プロジェクター」という 表記について	2
同梱品の確認	3

はじめに

各部の名称と働き	7
前面/ 上面	7
操作パネル	8
リモコン	10
背面	12
底面	13
外形寸法図	14

使い始めるまでの準備

設置しよう	15
投写映像と本機の設置位置	15
スクリーンに対して平行に設置する	15
本機の左右の高さを合わせ水平に設置す る	15
いろいろな設置方法	16
テーブルなどに置いて投写する	16
天吊りして投写する	17
投写距離とレンズシフトの最大値	17
機器と接続しよう	20
ビデオ機器との接続	20
コンピューターとの接続	21
外部機器との接続	21
Trigger Out端子の接続	21
Audio Out端子の接続	21
スマートフォン・タブレット端末の接続	22
USB機器の接続	22
WirelessHD機器の接続（EH- TW6600Wのみ）	23
無線LANユニットの取り付け	24

端子カバーの外し方	24
リモコンを準備しよう	25
リモコンに電池をセットする	25
リモコンの操作範囲	25
操作可能範囲（左右）	25
操作可能範囲（上下）	25

基本操作

投写と終了のしかた	26
電源を入れて投写する	26
目的の映像が映らない場合	27
電源の切り方	27
投写画面を調整しよう	29
テストパターン表示	29
ピント調整（フォーカス調整）	29
投写サイズの調整（ズーム調整）	29
本機の傾きを調整する	30
投写映像の位置調整（レンズシフト）	30
レンズシフトダイヤルで調整	30
台形ゆがみを補正する（タテヨコ補正）	32
音量を調節する	33
映像と音声を一時的に消す	33

画質の調整

画質の調整をしよう	34
映り具合を選ぶ（カラーモード）	34
画面をフルやズームに切り替える（アスペ クト）	35
こだわりの色調整をしよう	37
色相・彩度・明度の調整	37
ガンマの調整	37
補正値を選んで調整する	38
ガンマ調整グラフで調整する	38
RGBの調整（オフセット・ゲイン）	38
色温度	39
肌の色調整	39
さらに画質を究めよう	40
シャープネスの調整	40

オートアイリス（自動絞り）の設定	41	リモコンの操作範囲	65
超解像、ディテール強調機能	41	入出力の切り替え	65
液晶アライメント	42	映像出力先の切り替え	65
映像処理	43	映像ソースの切り替え	67
登録した画質で映像を見る（メモリー機能）	44	子画面で表示	69
登録できる機能	44	HDMIリンクで操作しよう	70
メモリーの登録	44	HDMIリンク機能	70
メモリーの呼出し	45	HDMIリンク設定	70
メモリーの削除	45	接続機器一覧	71
メモリー名称変更	45	写真データの再生（スライドショー）	72
便利な機能		再生できるデータ	72
3Dを楽しもう	47	スライドショーの実行	72
3Dに設定する	47	画像ファイルの表示設定とスライドショーの動作設定	73
本機が3Dフォーマットを判別できるとき	47	Picture in Pictureで2種類の映像を投写する	74
本機が3Dフォーマットを判別できないとき	47	同時に表示できる画面の種類	74
3D映像が見えないときは	47	Picture in Pictureで投写する	74
3Dメガネを使用する	48	Picture in Pictureの開始と終了	74
3Dメガネを充電する	48	Picture in Pictureの設定を変更する	75
3Dメガネをペアリングする	49	環境設定メニュー	
3Dメガネの装着	50	環境設定メニューの機能	76
3Dメガネのインジケータの見方	50	環境設定メニューの操作	76
3D映像を見る範囲	51	環境設定メニュー一覧	77
3D映像視聴に関する注意	52	画質メニュー	77
2D映像を3Dに変換して見る	54	映像メニュー	79
WirelessHDで接続する（EH-TW6600Wのみ）	56	設定メニュー	81
WirelessHDトランスミッターの設置	56	メモリーメニュー	86
WirelessHDトランスミッターの各部の名称	56	ネットワークメニュー	86
WirelessHDトランスミッターの接続例と信号の流れ	58	情報メニュー	89
WirelessHDトランスミッターをセットする	60	初期化メニュー	89
映像を投写する	61	Picture in Picture設定メニュー	90
WirelessHDの設定メニュー	62	困ったときに	
WirelessHDの通信範囲	63	故障かなと思ったら	91
リモコンの操作	64	インジケータの見方	91

異常/警告時のインジケータの状態	91
正常動作時のインジケータの状態	93
インジケータを確認してもわからないとき	94
現象の確認	94
映像に関するトラブル	95
投写開始時のトラブル	98
リモコンでのトラブル	98
操作パネルのトラブル	99
3Dでのトラブル	99
HDMIのトラブル	100
WirelessHDのトラブル (EH-TW6600Wのみ)	100
USBストレージデバイスのトラブル	102
その他のトラブル	102
Event ID について	103

メンテナンス

お手入れの方法	104
各部の掃除	104
エアフィルターの掃除	104
本体の掃除	105
レンズの掃除	106
3Dメガネの掃除	106
消耗品の交換時期	106
エアフィルターの交換時期	106
ランプの交換時期	106
消耗品の交換	107
エアフィルターの交換方法	107
ランプの交換方法	108
ランプ点灯時間初期化	110

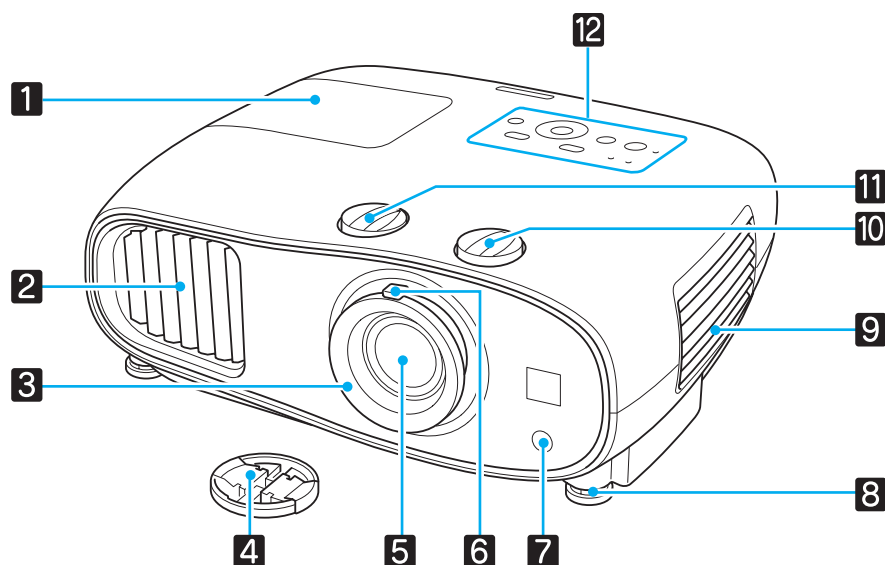
付録

オプション・消耗品一覧	111
オプション品	111
消耗品	111
対応解像度一覧	112
コンポーネントビデオ	112
コンポジットビデオ	112
コンピューター映像 (アナログRGB)	112

HDMI1/HDMI2入力信号	113
MHL入力信号	113
3D入力信号 HDMI	113
WirelessHD入力信号	114
3D入力信号 MHL (WirelessHDトランスミッター※経由)	114
仕様一覧	115
用語解説	117
一般のご注意	119
3Dメガネ使用上の注意事項	120
商標について	120

各部の名称と働き

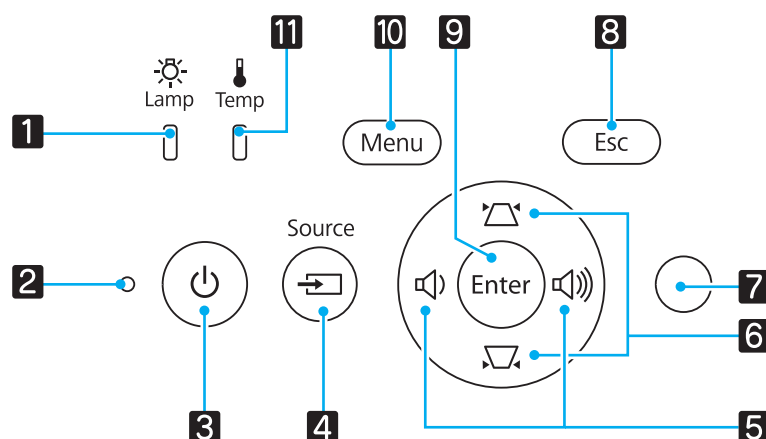
前面/ 上面



名称		機能
1	ランプカバー	ランプ交換時に、このカバーを開けて中のランプを交換します。☞ p.108
2	排気口	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。 ⚠ 注意 投写中は手や顔を排気口に近づけたり、変形など、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。
3	フォーカスリング	映像のピントを合わせます。☞ p.29
4	レンズキャップ	本機を使用しないときに装着し、レンズを傷や汚れから保護します。 ☞ p.26
5	投写レンズ	ここから映像を投写します。
6	ズームリング	映像のサイズを調整します。☞ p.29
7	リモコン受光部	リモコン信号を受信します。☞ p.25
8	フロントフット	机上に設置したとき、水平方向の傾きを調整するときに伸ばします。 ☞ p.30
9	エアフィルターカバー	エアフィルターの掃除や交換時にこのカバーを開けてエアフィルターを取り出します。☞ p.104 、 p.107
	吸気口	本機内部を冷却するための空気の吸い込み口です。
10	上下レンズシフトダイヤル	ダイヤルを回して投写映像の位置を上下に移動します。☞ p.30
11	左右レンズシフトダイヤル	ダイヤルを回して投写映像の位置を左右に移動します。☞ p.30

名称	機能
12 操作パネル	本体上面にある操作パネルです。 p.8

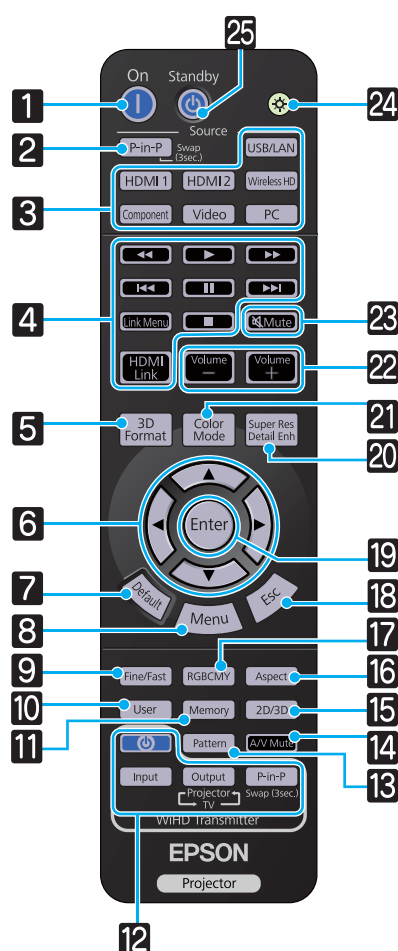
操作パネル



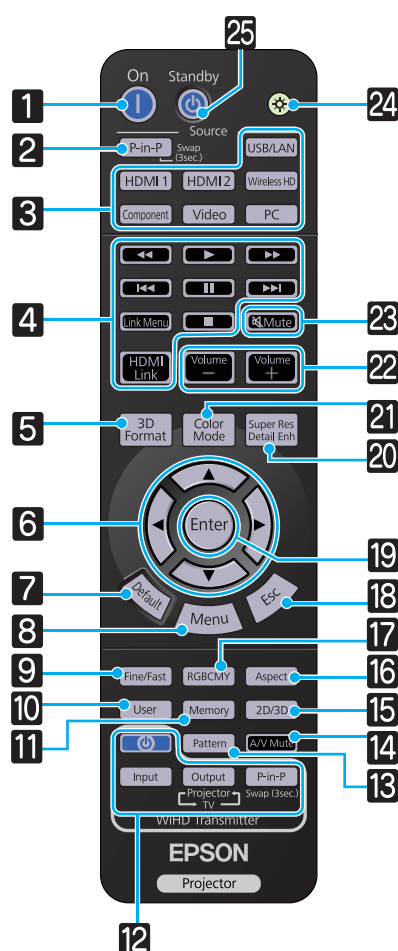
ボタン/インジケーター	機能
1 Lamp 	ランプ交換の時間に達するとオレンジ色に点滅します。他のインジケーターとの組み合わせで本機に発生した異常を色や点灯・点滅で示します。 p.91
2 ○ オペレーションインジケーター	ウォームアップ中、クールダウン中を点滅で示します。他のインジケーターとの組み合わせで本機の状態を点灯・点滅で示します。 p.91
3 	プロジェクターの電源をオン/オフします。 p.26 プロジェクターに電源が供給されているときに点灯します。 p.93
4 Source 	各入力端子からの映像に切り替えます。 p.27
5 	ボリュームやメニュー項目の調整値を選択します。 p.33 台形ゆがみ補正画面の表示中は、ヨコ方向の台形ゆがみを補正をします。 p.32
6 	メニュー項目の調整値を選択します。 p.32 台形ゆがみ補正画面の表示中は、タテ方向の台形ゆがみを補正をします。 p.32
7 ○ 明るさセンサー	部屋の明るさを感知する明るさセンサーです。カラーモードが「オート」のときに、このセンサーで感知した明るさに応じて最適な画質に設定します。 p.34
8 Esc	メニュー表示中、1つ上の階層に戻ります。 p.76
9 Enter	メニュー表示中に機能や設定値を選択します。 p.76
10 Menu	環境設定メニューを表示/終了します。 環境設定メニューでは、映像や画質などの調整や設定を行うことができます。 p.76

ボタン/インジケーター		機能
11		内部が高温になるとオレンジ色に点滅します。他のインジケーターとの組み合わせで本機に発生した異常を色や点灯・点滅で示します。  p.91

リモコン

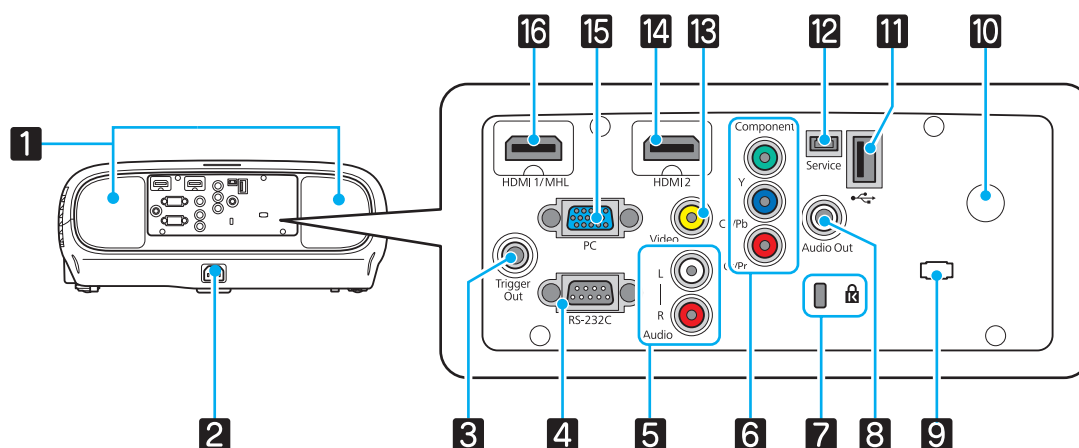


ボタン	機能
1	プロジェクターの電源をオンします。 ☞ p.26
2	2種類の映像を大小の画面で同時に投写します (Picture in Picture)。☞ p.74 このボタンを長押しすると、親画面と子画面が入れ替わります。
3	各入力端子からの映像に切り替えます。 ☞ p.27 WirelessHD は、EH-TW6600Wのみ有効なボタンです。
4	このボタンはHDMIリンクの設定メニューを表示するボタンです。 その他のボタンでは、HDMI CEC規格またはMHL規格に対応した接続機器の再生、停止などを操作します。☞ p.70
5	3Dフォーマットを変更します。 本機は、以下の3Dフォーマットに対応しています。 • フレームパッキング • サイドバイサイド • トップアンドボトム ☞ p.47
6	メニュー項目や調整値を選択します。 ☞ p.76
7	メニューの調整画面が表示されているときに押すと、調整値が初期値に戻ります。 ☞ p.76
8	環境設定メニューを表示/終了します。 環境設定メニューでは、映像や画質などの調整や設定を行うことができます。 ☞ p.76
9	ゲームなどの動きの速い映像をスムーズに投写します。☞ p.43



	ボタン	機能
10	User	ユーザーボタンに割り当てた機能を実行します。 ➡ p.81
11	Memory	メモリーの登録・呼出・削除をします。 ➡ p.44
12	Input Output P-in-P	(EH-TW6600Wのみ有効なボタンです) WiHD Transmitter制御 WirelessHDトランスミッターの電源を入れたり入出力を切り替えます。 WirelessHDトランスミッターに向けて操作します。 ➡ p.64
13	Pattern	テストパターンを表示/終了します。 ➡ p.29
14	A/V Mute	映像と音声を一時的に消す/再開します。 ➡ p.33
15	2D/3D	2Dと3Dの切り替えをします。 ➡ p.47
16	Aspect	入力信号に応じてアスペクトモードを選択します。 ➡ p.35
17	RGBCMY	RGBCMYの各色に対して色相、彩度、明度を調整します。 ➡ p.37
18	Esc	メニュー表示中、1つ上の階層に戻ります。 ➡ p.76
19	Enter	メニューの表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。 ➡ p.76
20	Super Res Detail Enh	ぼやけた輪郭をはっきりさせる [超解像]、映像の質感や素材感を際立たせる [ディテール強調] を設定します。 ➡ p.41
21	Color Mode	[カラーモード] を切り替えます。 ➡ p.34
22	Volume - Volume +	音量を調整します。 ➡ p.33
23	Mute	音声を一時的に消す/再開します。 ➡ p.33
24		リモコン上のボタンが約10秒間光ります。暗がりでもリモコンを操作するとき便利です。
25	Standby	プロジェクターの電源をオフします。 ➡ p.27

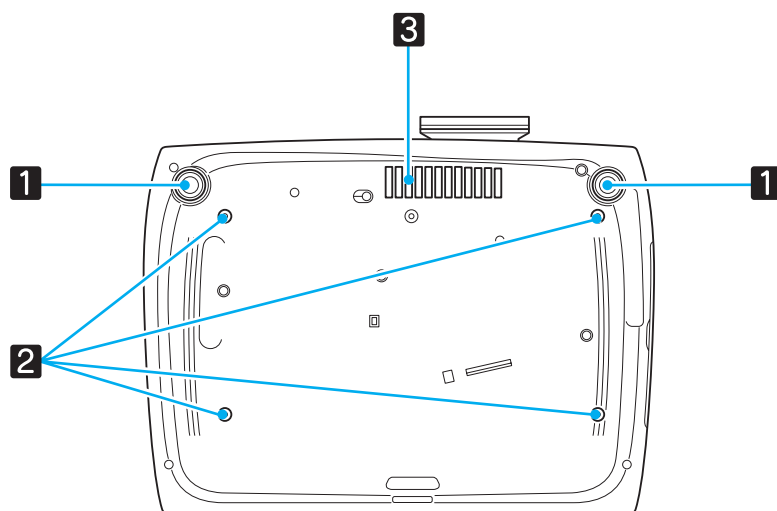
背面



名称	機能
1 スピーカー	本機の内蔵スピーカーです。音声を再生します。天吊りにして内蔵スピーカーを利用する場合は、[音声左右反転] を [オン] に設定します。 ☛ [設定] - [音声] - [音声左右反転] p.81
2 電源端子	電源コードを接続します。☛ p.26
3 Trigger Out端子	電動スクリーンなどの外部機器に接続します。☛ p.21
4 RS-232C端子	本機を制御するときに、RS-232Cケーブルでコンピューターと接続します。制御用の端子で通常は使用しません。☛ p.115
5 Audio (L-R)端子	Video入力端子、Component入力端子、PC入力端子に接続した機器の音声を入力します。☛ p.20
6 Component入力端子	ビデオ機器のコンポーネント (YCbCrやYPbPr) 出力端子と接続します。☛ p.20
7 セキュリティスロット (🔒)	Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティスロットです。詳細は、Kensington のホームページ http://www.kensington.com/ でご確認ください。
8 Audio Out端子	再生中の音声を外部スピーカーに出力します。☛ p.21
9 ケーブルホルダー	ケーブルを入力端子に接続したときに、ケーブルの重さでコネクタの差し込みが不完全になることがあります。これを防ぐために市販の結束バンド(ケーブルタイ)をこのホルダーに通してケーブルを束ねて固定します。
10 リモコン受光部	リモコン信号を受光します。☛ p.25
11 USB入力端子(TypeA)	USBメモリーやデジタルカメラなどのUSB機器を接続し、ストレージデバイス内の画像をスライドショーで表示します。☛ p.72 その他にも、オプションの無線LANユニットを接続します。☛ p.24
12 Service端子	サービス端子です。通常は使用しません。
13 Video入力端子	ビデオ機器のコンポジットビデオ出力端子と接続します。☛ p.20
14 HDMI2入力端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターを接続します。 ☛ p.20
15 PC入力端子	コンピューターのRGB出力端子と接続します。☛ p.21

名称		機能
16	HDMI1入力端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターを接続します。 ☞ p.20 その他にも、MHLに対応したスマートデバイスやタブレット端末を接続します。☞ p.21

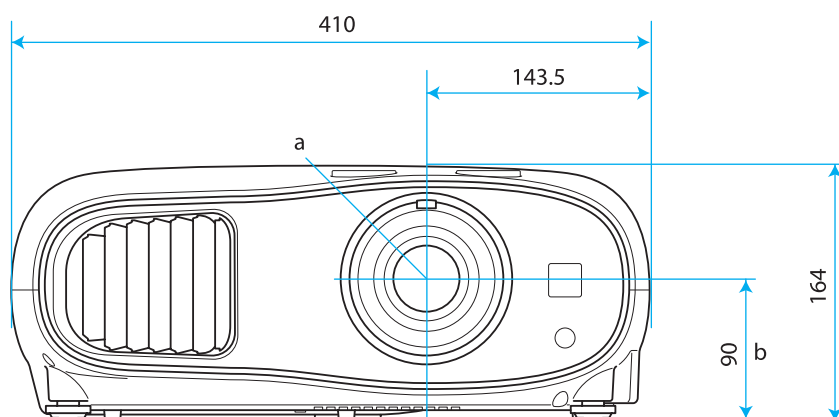
底面



名称		機能
1	フロントフット	机上に設置したとき、水平方向の傾きを調整するときに伸ばします。 ☞ p.30
2	天吊固定部（4箇所）	天井から吊り下げて使うとき、オプションの天吊り金具を取り付けます。 ☞ p.111
3	吸気口	天吊り時に、この部分にホコリがたまらないように設置してください。

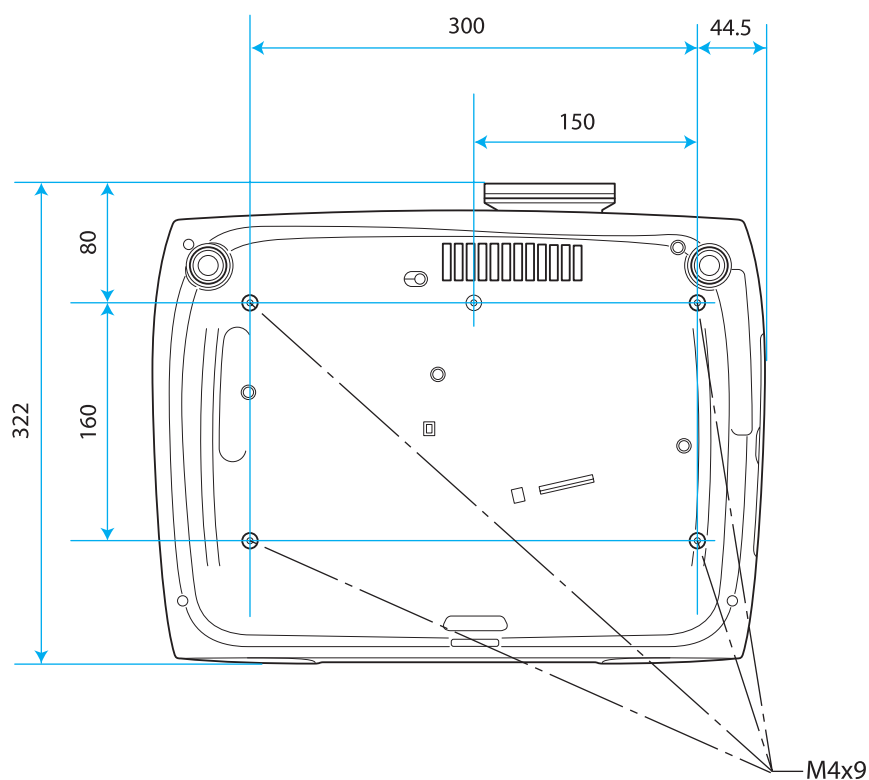
外形寸法図

単位：mm



a レンズ中心

b レンズ中心から天吊り固定部までの寸法



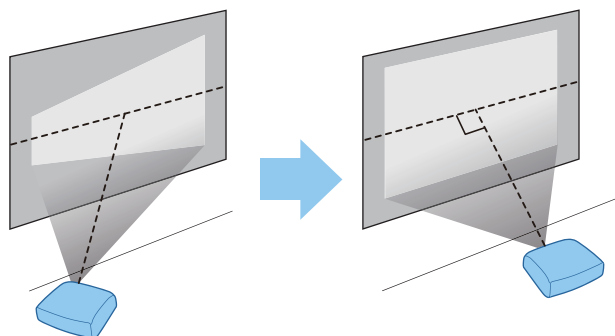
設置しよう

投写映像と本機の設置位置

プロジェクターは以下のように設置してください。

■ スクリーンに対して平行に設置する

スクリーンに対して本機を斜めに設置すると、投写映像が台形にゆがみます。
スクリーンと本機が平行になるよう設置位置を調節してください。



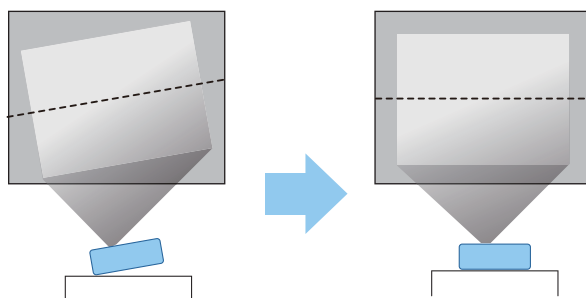
- 本機をスクリーンの正面に設置できないときは、レンズシフトで投写位置を調整します。👉 [p.30](#)
- レンズシフトを使用しても調整しきれないときは、台形ゆがみ補正で調整します。👉 [p.32](#)

■ 本機の左右の高さを合わせ水平に設置する

本機を傾けて設置すると、投写映像も傾きます。

本機の高さが左右で異ならないよう、水平に設置してください。

本機を水平に設置できないときは、フロントフットで本機の傾きを調整します。👉 [p.30](#)



いろいろな設置方法

警告

- 天井への取り付け（天吊り設置）工事は、特別な技術が必要となります。正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原因となります。天吊り設置や天吊り金具の調整には、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。
- 不安定な棚の上や荷重範囲を超える場所には設置しないでください。落下や転倒によりけがや事故の原因となります。
- 棚の上など高い位置に設置するときは、地震など、非常時の安全確保と事故防止のため、ワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。正しく設置しないと落下によりけがや事故の原因となります。
- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

注意

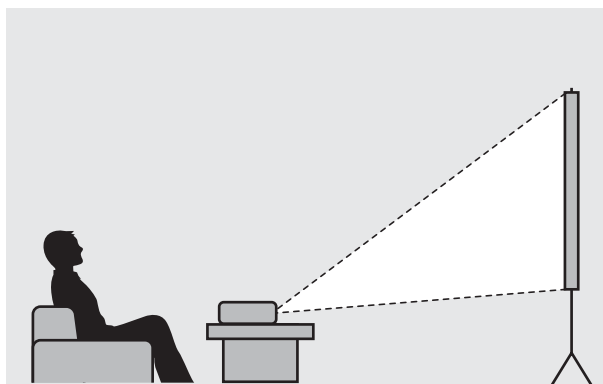
- 湿気やホコリの多い場所・油煙やたばこなどの煙が当たる場所への設置は、できるだけ避けてください。
- 本機を縦向きに置いて投写しないでください。故障の原因となります。
- エアフィルターは約3か月に一度は掃除してください。ホコリの多い環境では、より短い周期で掃除を行ってください。 ➡ [p.104](#)



- 本機をスクリーンの正面に設置できないときは、レンズシフトで投写位置を調整します。 ➡ [p.30](#)
- レンズシフトを使用しても調整しきれない場合は、台形ゆがみ補正で調整します。 ➡ [p.32](#)

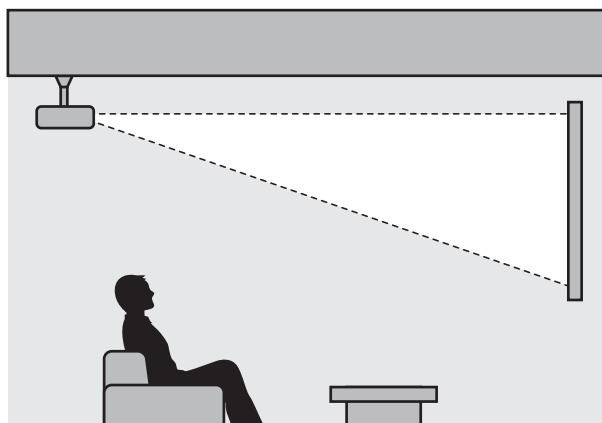
■ テーブルなどに置いて投写する

リビングテーブルや、低めの棚などに設置して投写し、映像を楽しむことができます。



■ 天吊りして投写する

オプションの天吊り金具で天吊り設置して投写し、映像を楽しむことができます。



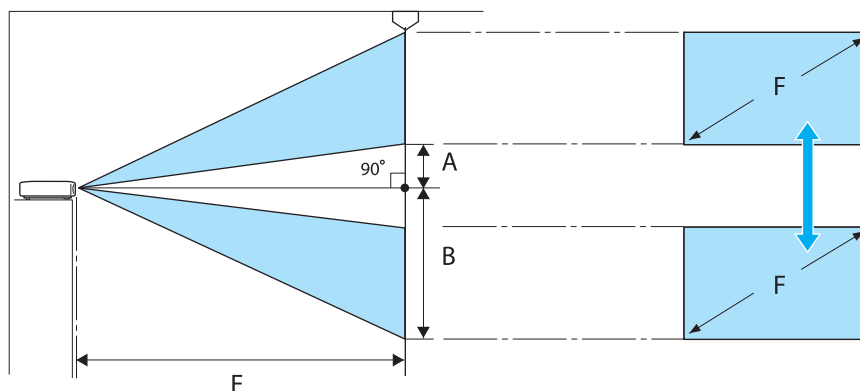
- 天吊りにして投写する場合は、[設置モード] を天吊りの設定に変更します。☞ [設定] - [設置モード] [p.81](#)
- 天吊りにして内蔵スピーカーを利用する場合は、[音声左右反転] を [オン] に設定します。☞ [設定] - [音声] - [音声左右反転] [p.81](#)

投写距離とレンズシフトの最大値

本機をスクリーンから離すほど、投写画面は大きくなります。次の表を参考にして、スクリーンに映像が最適な大きさに映るように設置してください。値は目安です。

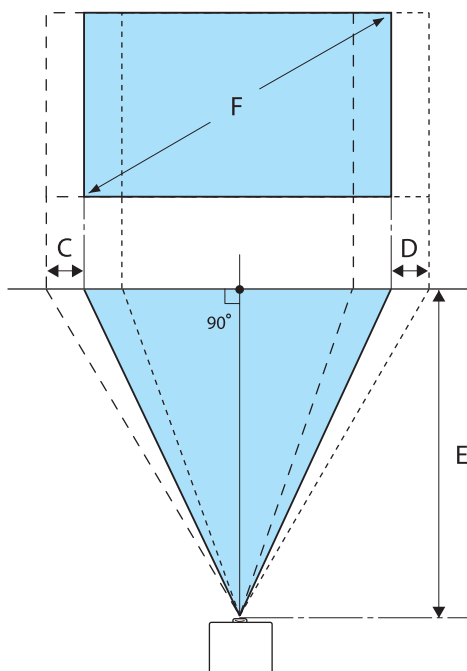
レンズシフトによる調整の最大値は次の表の通りです。

レンズシフトで上下に投写位置を調整する場合



- A : レンズの中心から投写画面下端までの距離 (レンズシフトを上 に最大にした場合)
B : レンズの中心から投写画面下端までの距離 (レンズシフトを下 に最大にした場合)
E : プロジェクターからスクリーンまでの投写距離
F : 投写画面のサイズ

レンズシフトで左右に投写位置を調整する場合



- C : プロジェクター移動時のレンズ中心の移動距離（レンズシフトを左に最大にした場合）
D : プロジェクター移動時のレンズ中心の移動距離（レンズシフトを右に最大にした場合）
E : プロジェクターからスクリーンまでの投写距離
F : 投写画面のサイズ

単位：cm

16:9 スクリーンサイズ		投写距離 (E)		レンズシフトの最大値※		
F	W x H	最短 (Wide)	最長 (Tele)	距離 (A)	距離 (B)	距離 (C、D)
40型	89 x 50	116	190	5	55	21
60型	130 x 75	176	286	7	82	32
80型	180 x 100	235	382	10	110	43
100型	220 x 120	295	478	12	137	53
120型	270 x 150	354	575	15	164	64
150型	330 x 190	443	719	19	205	80
180型	440 x 250	532	863	22	247	96

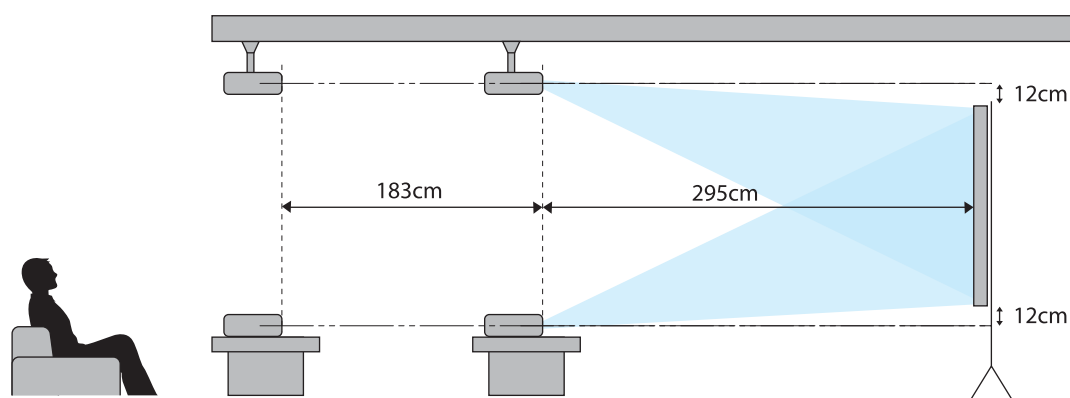
単位：cm

4:3 スクリーンサイズ		投写距離 (E)		レンズシフトの最大値※		
F	W x H	最短 (Wide)	最長 (Tele)	距離 (A)	距離 (B)	距離 (C、D)
40型	81 x 61	143	233	6	67	26
60型	120 x 90	216	351	9	101	39
80型	160 x 120	288	468	12	134	52
100型	200 x 150	361	586	15	168	65
120型	240 x 180	434	704	18	201	78
150型	300 x 230	443	719	23	251	98
200型	410 x 300	591	1175	30	335	130

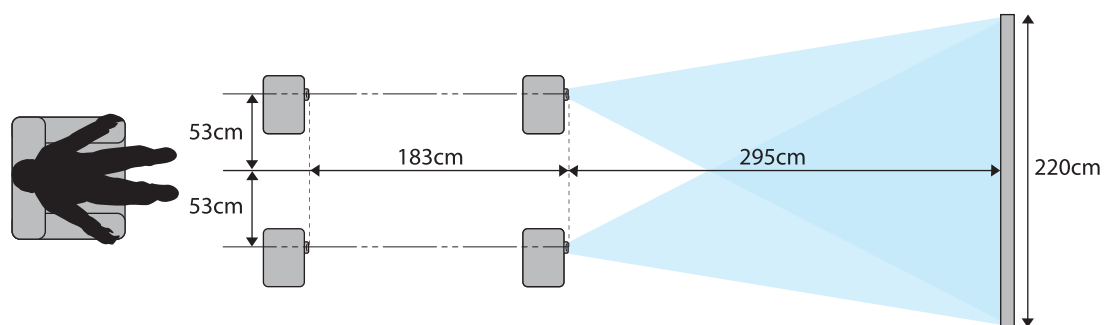
※ 上下と左右、両方のレンズシフトを同時に最大値までシフトすることはできません。  [p.30](#)

設置例 (16:9 スクリーンサイズ/100型の場合)

横から見た図



上から見た図





機器と接続しよう

注意

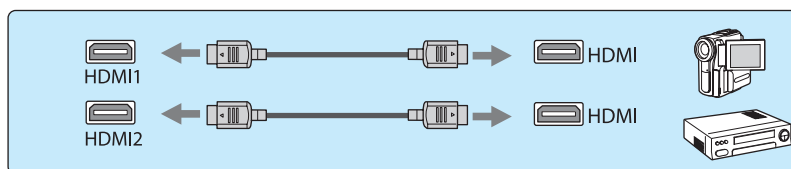
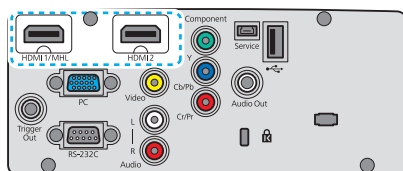
- 接続機器のケーブルを本機に接続したあとに、本機の電源コードを接続してください。
- 取り外すときは、本機の電源をオフにしてから電源コードを抜き、接続機器のケーブルを抜いてください。
- ケーブルのコネクター形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと機器の破損や故障の原因になります。

EH-TW6600Wには、背面をすっきり見せるためにコネクター部分に端子カバーがついています。ケーブルで接続するときは、あらかじめ端子カバーを外してから機器と接続してください。  p.24

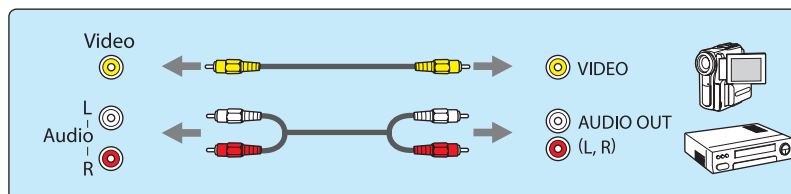
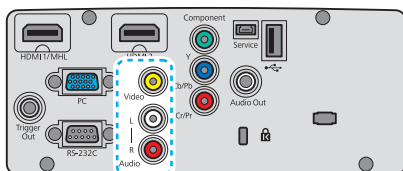
ビデオ機器との接続

DVDプレーヤーやビデオなどの映像を投写するには、次の方法で接続します。

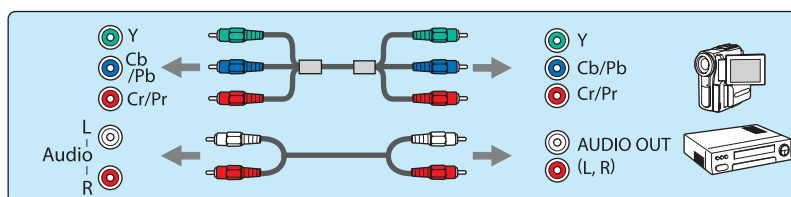
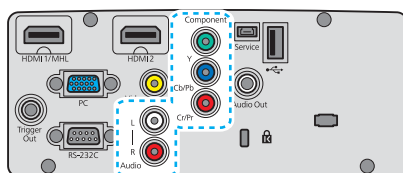
HDMIケーブル（市販品）を使用するとき



ビデオケーブル（市販品）を使用するとき



コンポーネントビデオケーブル（市販品）を使用するとき

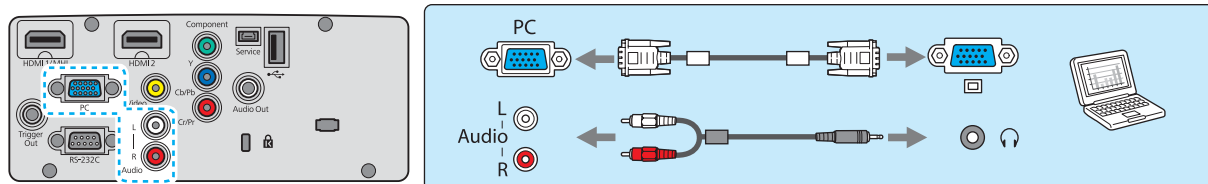


- 使用するケーブルは、接続するビデオ機器の出力信号によって異なります。
- ビデオ機器によっては、何種類かの信号を出力できるものがあります。どの信号を出力できるかは、お使いのビデオ機器に同梱の取扱説明書で確認してください。
- 接続機器の音声はお手持ちのAVアンプなどに接続してもお楽しみいただけます。

コンピューターとの接続

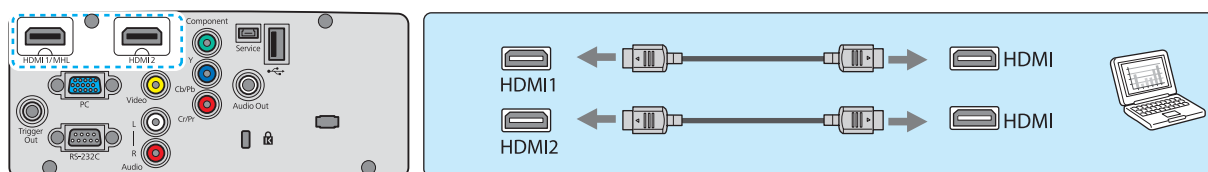
コンピューターの映像を投写するには、次の方法で接続します。

コンピューターケーブル（市販品）を使用するとき



音声の接続には2RCA ↔ ステレオミニプラグのオーディオケーブルの「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。

HDMIケーブル（市販品）を使用するとき

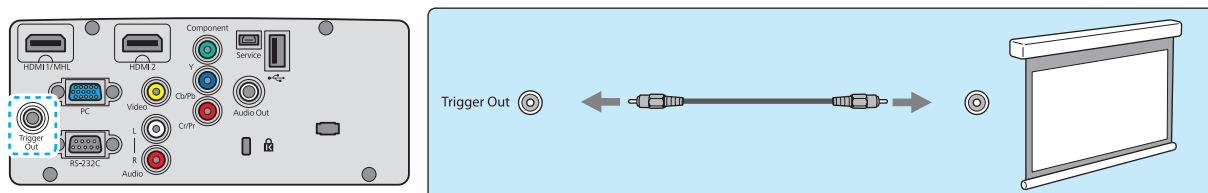


外部機器との接続

Trigger Out端子の接続

電動スクリーンなどの外部機器に3.5mm ミニジャックで接続します。

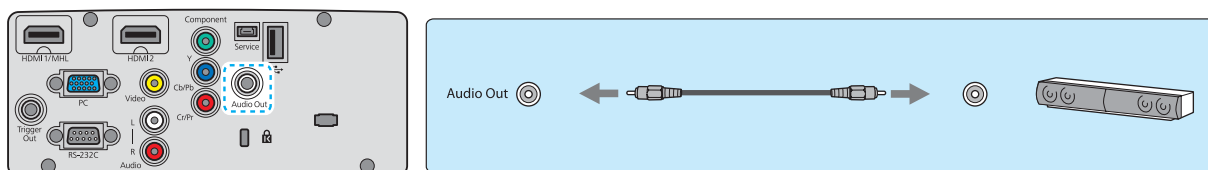
電動スクリーンなどの外部機器に本機の電源の状態（オン/オフ）などを伝えるため、電源が入っている間、この端子から信号（DC12V）が出力されます。



Trigger Out端子を利用する場合は、トリガーアウトを設定してください。 ➡ [設定] - [動作設定] - [トリガーアウト] [p.81](#)

Audio Out端子の接続

外部スピーカーなどの外部機器に市販のオーディオケーブルで接続します。



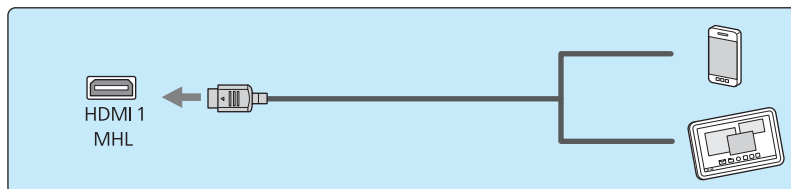
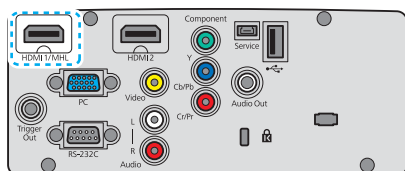


- ヘッドフォンは接続しないでください。
- 本機がスタンバイ状態のときは、音声を出力することができません。

■ スマートフォン・タブレット端末の接続

MHL対応のスマートフォンやタブレット端末を接続できます。

MHLケーブル（市販品）で、スマートフォンまたはタブレット端末のmicroUSB端子と本機のHDMI1端子を接続します。



映像や音声を楽しみながら、スマートフォンやタブレット端末の充電もできます。

注意

- 必ずMHLの規格に対応したケーブルで接続してください。場合によっては、充電時、スマートフォンやタブレット端末の発熱、液モレ、破裂など火災の原因になる場合があります。
- MHL-HDMI変換アダプタ（市販品）を使用して接続すると、充電や本機のリモコンからの操作ができない場合があります。

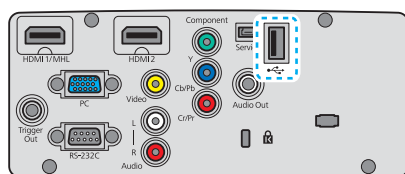


- お使いの機種によっては、動画を再生する場合など、供給される電力より使用する電力が大きくなり、充電されない場合があります。
- 本機がスタンバイ状態の場合や、スマートフォンやタブレット端末のバッテリー残量がない場合は充電はされません。

■ USB機器の接続

USBメモリー、USB対応のデジタルカメラなど、USB機器を接続できます。

USB機器に同梱のUSBケーブルで、USB機器と本機のUSB(TypeA)端子を接続します。



USB機器を接続したときは、USBメモリーやデジタルカメラ内の画像ファイルをスライドショーで再生します。  [p.72](#)

投写終了後は、本機からUSB機器を取り外します。電源スイッチがある機器は、USB機器の電源をオフにしてから取り外してください。

注意

- USBハブを使用すると、正しく動作しません。デジタルカメラやUSB機器を直接本機に接続してください。
- デジタルカメラの接続には、各機器指定のUSBケーブルをお使いください。3Dメガネに同梱のUSBケーブルは3Dメガネ専用ですので、デジタルカメラやUSB機器の接続には使用できません。
- USBケーブルの長さは、3m以下のものをお使いください。ケーブル長が3mを超えると、スライドショーが正しく動作しないことがあります。

■ WirelessHD機器の接続 (EH-TW6600Wのみ)

同梱のWirelessHDトランスミッターからの電波を受信し、映像を投写します。 ➡ p.56

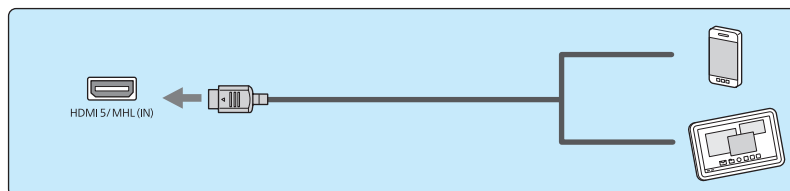
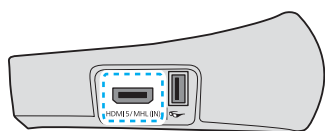
投写映像はリモコンの **WirelessHD** ボタンを押すか、操作パネルの **WirelessHD** ボタンを押して切り替えます。



- WirelessHDの映像を受信する場合は、[WirelessHD] が [オン] になっている必要があります。 ➡ [設定] - [WirelessHD] p.81
- [HDMIリンク] の [接続機器一覧] から表示したい機器を選択して切り替えることもできます。 ➡ [HDMIリンク] - [接続機器一覧] p.71

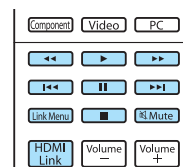
スマートフォン・タブレット端末の接続 (EH-TW6600Wのみ)

WirelessHDトランスミッターとMHL対応のスマートフォンまたはタブレット端末を接続します。MHLの規格に対応したケーブルで、スマートフォンまたはタブレット端末のmicroUSB端子とWirelessHDトランスミッターのHDMI5端子を接続します。



プロジェクターのリモコンを使って接続中のスマートフォンやタブレット端末を操作できます。

また、映像や音声を楽しみながら、スマートフォンやタブレット端末の充電もできます。



注意

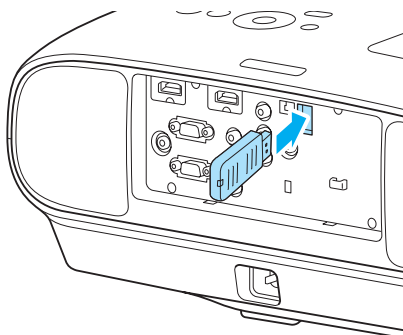
- 必ずMHLの規格に対応したケーブルで接続してください。場合によっては、充電時、スマートフォンやタブレット端末の発熱、液モレ、破裂など火災の原因になる場合があります。
- MHL-HDMI変換アダプタを使用して接続すると、充電や本機のリモコンからの操作ができない場合があります。



お使いの機種によっては、動画を再生する場合など、供給される電力より使用する電力が大きくなり、充電されない場合があります。

無線LANユニットの取り付け

無線LAN機能を使用する場合は、オプションの無線LANユニット（ELPA07）を取り付けます。
無線LANユニットをUSB(TypeA)端子に挿し込みます。



無線LANで投写するには、以下のアプリケーションのダウンロードが必要になります。詳細はダウンロード先にてご確認ください。

- **コンピューターの画面をワイヤレスで投写**

EasyMP Network Projectionを使って、ネットワーク経由でコンピューターの画面を投写します。

EasyMP Network Projectionは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

<http://www.epson.jp/download/>

- **携帯端末の映像をネットワーク経由で投写**

「Epson iProjection」をスマートフォンやタブレット端末にインストールすると、端末内のデータをワイヤレスで投写できます。スマートフォンやタブレット端末の映像を手軽に楽しめます。

「Epson iProjection」は、App StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。



- 無線LANユニットを挿したままにしておく場合、無線LANを使用しないときは、[無線LAN電源]を[オフ]に設定してください。第三者からの不正アクセスを防ぐことができます。

☞ [p.87](#)

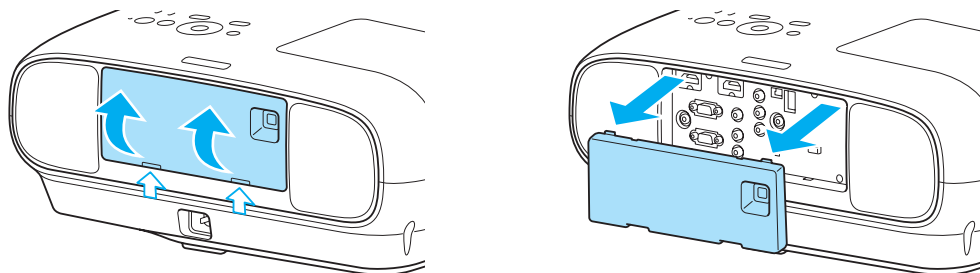
- [かんたんモード]でEpson iProjectionやEasyMP Network Projectionを使うときは、セキュリティの設定をすることをお勧めします。☞ [p.88](#)

端子カバーの外し方

EH-TW6600Wには、背面のコネクター部分に端子カバーがついています。機器とケーブルで接続するときは外してください。

端子カバーの下側のスキマを持って手前に引き、上側のミゾから外します。

取り付けるときは、上側のミゾからはめてください。



リモコンを準備しよう

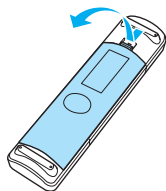
リモコンに電池をセットする

注意

- 電池ホルダー内の表示を確認し、(+) (-) を正しく入れてください。
- 単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池以外の電池は使用しないでください。

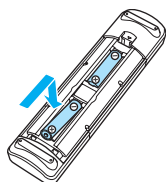
1 電池カバーを外します。

電池カバーのツメを押さながら、上へ持ち上げます。



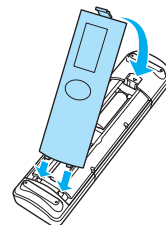
2 新しい電池と交換します。

(+) (-) の向きを確認して入れてください。



3 電池カバーを取り付けます。

カチッと音がするまでカバーを押し込みます。

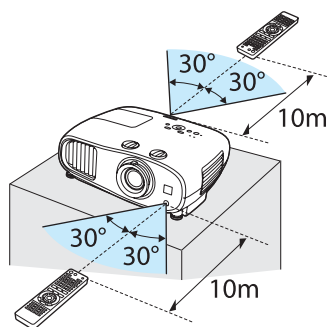


リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなったときは電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池は単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池2本を用意してください。

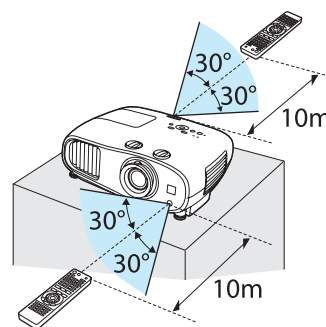
リモコンの操作範囲

WirelessHDトランスミッターの操作範囲は異なります。  [p.65](#)

操作可能範囲（左右）



操作可能範囲（上下）



投写と終了のしかた

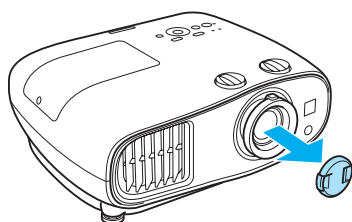
電源を入れて投写する

1 本機と接続機器を接続します。

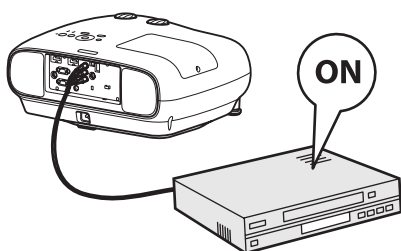
2 電源コードを接続します。
同梱の電源コードで接続します。

 必ず接地接続を行ってください。
接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

3 レンズキャップを外します。

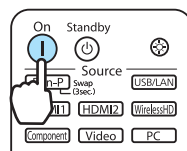


4 接続機器の電源を入れます。

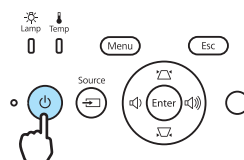


5 電源を入れます。

リモコン



操作パネル



 [ダイレクトパワーオン] を「オン」にすると、ボタン操作をしなくても、本機に電源コードを接続するだけで投写を開始します。
☞ [設定] - [動作設定] - [ダイレクトパワーオン] [p.81](#)

警告

投写中はレンズをのぞかないでください。

注意

投写中はプロジェクター本体やコンセントから電源コードを抜かないでください。



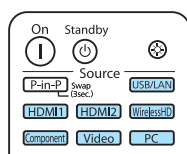
- 本機には、お子様が誤って電源を入れるのを防ぐチャイルドロック機能や、誤操作などを防ぐ操作ボタンロック機能があります。☛ [設定] - [ロック設定] - [チャイルドロック] / [操作ボタンロック] [p.81](#)
- 標高1500m以上でお使いの場合は、必ず [高地モード] を [オン] にしてください。☛ [設定] - [動作設定] - [高地モード] [p.81](#)
- 本機には、接続しているコンピューター映像の入力信号が切り替わったときに、自動で最適な状態にする自動調整機能があります。☛ [映像] - [自動調整] [p.79](#)
- 本機には、外部機器に本機の電源の状態 (オン/オフ)などを伝えるTrigger Out端子があります。機能を利用する場合は、トリガーアウトを設定してください。☛ [設定] - [動作設定] - [トリガーアウト] [p.81](#)
- 投写中はレンズキャップを使用しないでください。
- 天吊り設置していてレンズキャップを取り外したまま使用する場合も、本機を輸送する際に必要となりますので、レンズキャップを保管してください。

目的の映像が映らない場合

映像が映らないときは、次の方法で入力ソースを切り替えます。

リモコン

目的の入力端子のボタンを押します。



操作パネル

- ☛ ボタンを押して目的の入力端子を選択します。
- Enter ボタンを押すと決定します。



ビデオ機器の場合は、再生状態にしてから入力ソースを切り替えてください。

電源の切り方

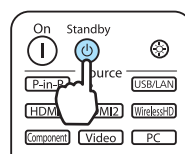
- 1 接続している機器の電源を切ります。



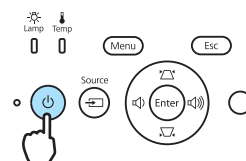
[HDMIリンク] メニューの [電源オフ連動] を [オン] にしているときに、HDMI CEC規格に対応した接続機器の電源を切ると、本機の電源も連動して切れることがあります。☛ [設定] - [HDMIリンク] - [電源オフ連動] [p.81](#)

- 2 リモコンまたは本体操作パネルの ☛ ボタンを押します。

リモコン



操作パネル



確認メッセージが表示されます。

3 もう一度、 ボタンを押します。

電源を切りますか？

はい :  を押す

いいえ: 他のボタンを押す



「スタンバイ確認」を「オフ」に設定しているときは、リモコンの  ボタンを一度押すだけで電源が切れます。 ➡ 「設定」 - 「表示設定」 - 「スタンバイ確認」 [p.81](#)

4 クールダウンが終了するのを待ちます。

本体操作パネルのオペレーションインジケータの点滅が止まります。

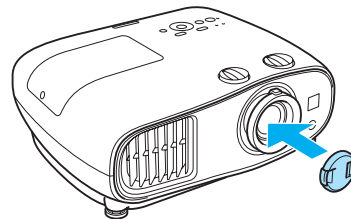
5 電源コードを抜きます。



- 電源コードを接続している状態では、動作していなくても電力を消費しています。
- 再度、電源コードを接続するときは十分な間隔をあげてください。

6

レンズキャップを取り付けます。

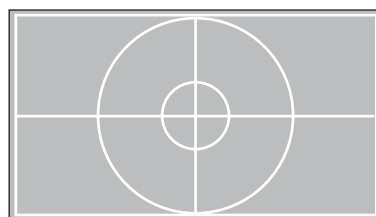
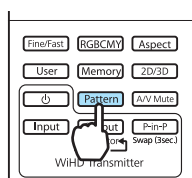


投写画面を調整しよう

テストパターン表示

映像機器を接続しなくても表示できるテストパターンは、設置直後、ズーム・フォーカス調整や投写位置の調整をするときに利用できます。

リモコンの **Pattern** ボタンを押すと、テストパターンが表示されます。

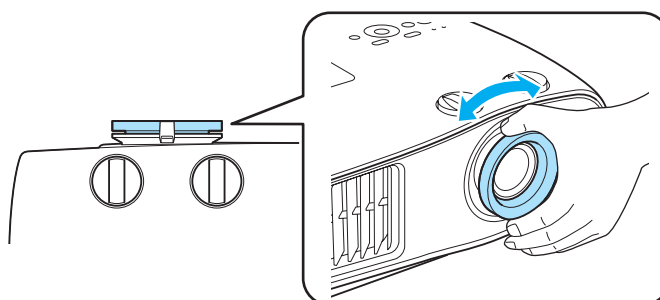


このテストパターンを利用して表示位置などを調整できます。

このテストパターン表示を終了するには **Esc** ボタンを押します。

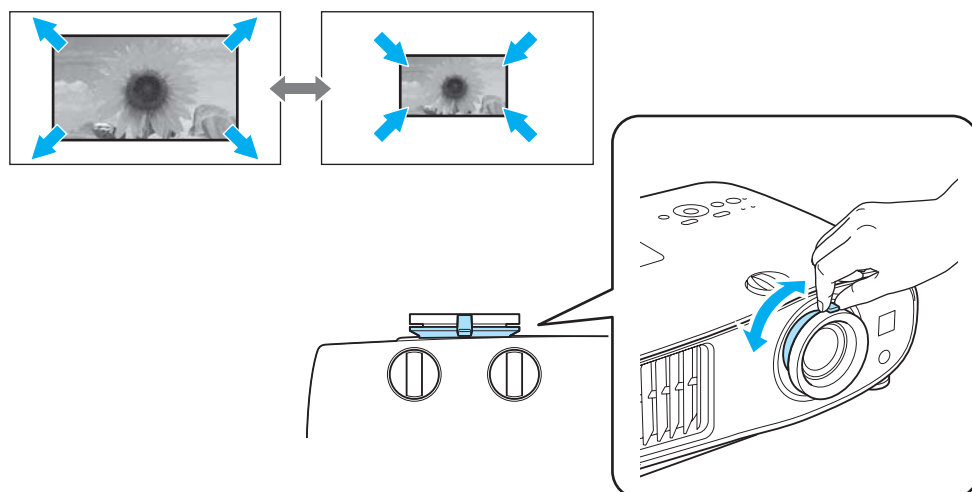
ピント調整（フォーカス調整）

フォーカスリングを回してピントを調整します。



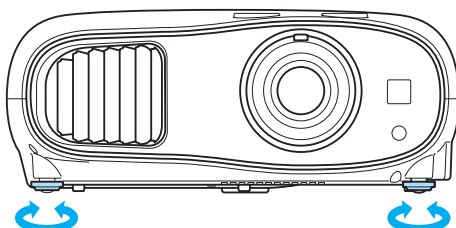
投写サイズの調整（ズーム調整）

つまみを持ってズームリングを回し、投写画面の大きさを調整します。



本機の傾きを調整する

机上設置時に投写画面が水平方向に傾いている場合（左右で高さが違う場合）は、フロントフットで本機が水平になるように調整します。

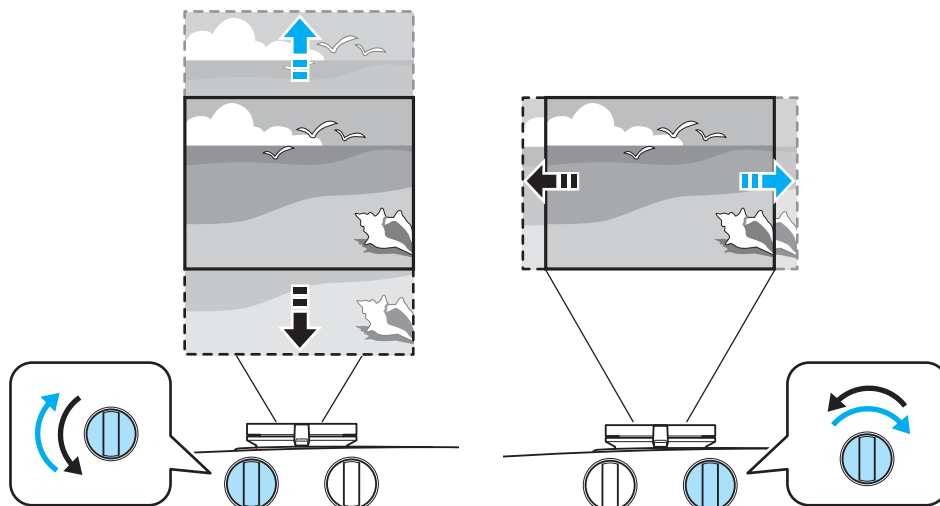


投写映像の位置調整（レンズシフト）

スクリーンの正面に本機を設置できないときは、レンズシフトで映像の位置を調整します。

■ レンズシフトダイヤルで調整

本機の上下レンズシフトダイヤル、左右レンズシフトダイヤルを回して、投写映像の位置を調整します。レンズシフトダイヤルを回してカチッと音がする位置がシフト範囲のほぼ中央になります。



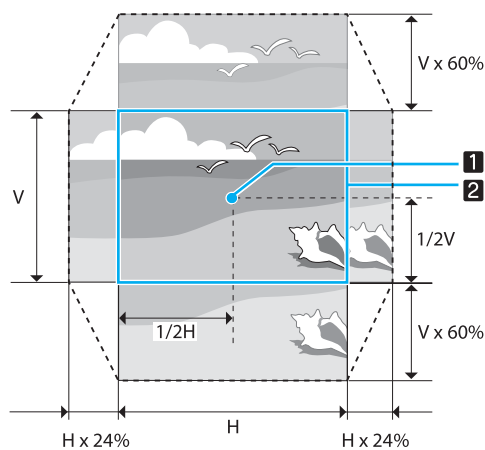
注意

- 上下レンズシフトで画面の位置を調整するときは、画面を下から上に移動して調整し、終了してください。下に移動して終了すると、画面の位置が少し下がる場合があります。
- レンズシフトダイヤルは空転させないでください。端まで投写位置を移動させた後もダイヤルを回し続けると空転し、画質が劣化する場合があります。



- プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しませんので、フォーカス/ズーム/レンズシフトの設定は、映像を投写し始めてから30分以上たってから行うことをお勧めします。
- レンズシフトを上下、左右とも中央に合わせたときがもっとも鮮明な映像となります。

レンズシフトで映像を移動できる範囲は、以下のとおりです。



- 1 レンズの中心
- 2 レンズシフトを中央に設定したときの投写映像



注意

本機を輸送する際は、レンズの位置が中央になるようにレンズシフトダイヤルを調整してください。レンズ位置を上下左右にシフトした状態で輸送すると、レンズシフトの機構が破損するおそれがあります。お買い上げ時に、レンズにセットされていた保護パッドも取り付けてください。



- レンズシフトで投写位置を調整するときは、スクリーンと本機が平行になるように設置することをおすすめします。

台形ゆがみを補正する（タテヨコ補正）

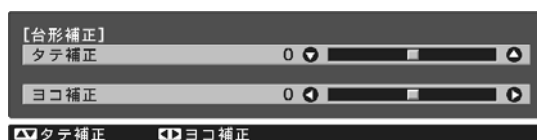
映像が台形にゆがんでいるときは操作パネルの ボタンで補正します。



- レンズシフトを使って投写位置を補正することで、投写映像の品質が保たれます。台形ゆがみ補正はレンズシフトで調整できない場合に利用してください。
- 台形ゆがみ補正を使うときは、レンズシフトダイヤルを回して以下のとおりレンズの位置を調整してください。
 - レンズの左右位置：中央
 - レンズの上下位置：上端
 レンズの位置が正しくないと投写画面がゆがむ場合があります。

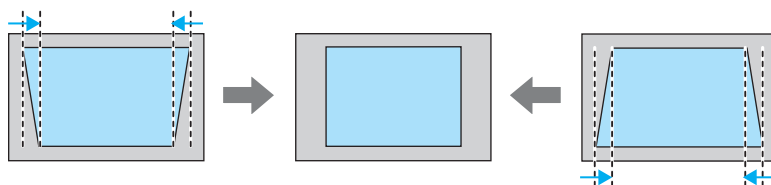
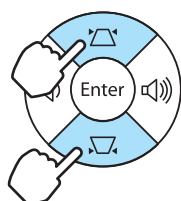
ボタンを押すと、タテ補正/ヨコ補正ゲージが表示されます。

ゲージが表示された状態で、 ボタンを押すと縦方向に、 ボタンを押すと横方向に補正します。

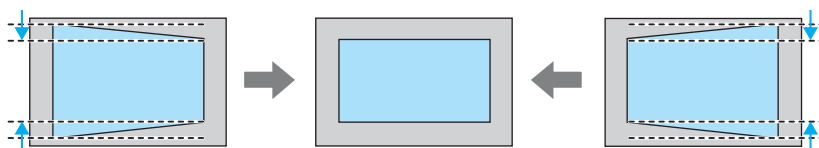
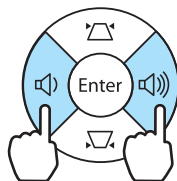


タテ補正/ヨコ補正ゲージが表示されていない状態で ボタンを押すと、音量調整の機能として動作します。 p.33

上下のどちらかが広いとき



左右のどちらかが広いとき

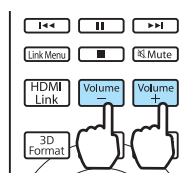


- 台形ゆがみを補正すると投写画面が小さくなります。目的のスクリーンサイズに合わせるときは、投写距離を長くしてください。
- タテヨコ補正は環境設定メニューからも設定できます。 [設定] - [タテヨコ] - [タテ補正] / [ヨコ補正] p.81
- 正しく補正できる範囲は、補正角度で上下左右約30°以下です。

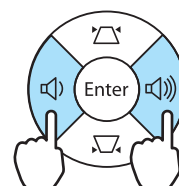
音量を調節する

音量はリモコンの   ボタンまたは本体操作パネルの   ボタンで調整できます。

リモコン



操作パネル



- 音量の調節は、環境設定メニューからも設定できます。☛ [設定] - [音声] [p.81](#)
- 通常は、本機の内蔵スピーカーの音量を調整できますが、本機にAVアンプを接続した状態で、[HDMIリンク] を [オン]、[音声出力機器] を [AVアンプ] に設定している場合は、[HDMI1] / [HDMI2] / [WirelessHD] の入力ソースを投写しているときにAVアンプの音量を調整できます。☛ [p.70](#)



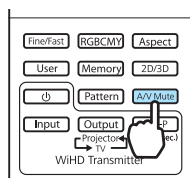
注意

初めから音量を上げすぎないでください。
突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。電源を切る前に音量を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

映像と音声を一時的に消す

スクリーンの映像と音声を一時的に消したいとき使います。

 ボタンを押すたびに映像を消す/映すが切り替わります。音声も連動します。



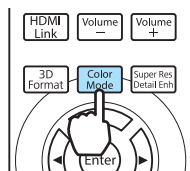
- 動画の場合は、消している間も映像と音声は進んでいますので、 ボタンで映像を消したときの場面からは再開できません。
- 音声のみを一時的に消す/再開する場合は、 ボタンを押してください。
- 通常は、本機の内蔵スピーカーの音声は連動しますが、本機にAVアンプを接続した状態で、[HDMIリンク] を [オン]、[音声出力機器] を [AVアンプ] に設定している場合は、[HDMI1] / [HDMI2] の入力ソースを投写しているときにAVアンプの音声は連動します。
☛ [p.70](#)

画質の調整をしよう

映り具合を選ぶ（カラーモード）

投写時の環境に応じて最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが変わります。

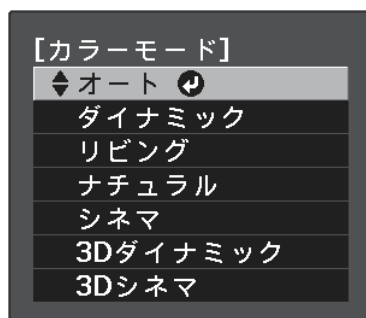
1  ボタンを押します。



環境設定メニューからも設定できます。  [画質] - [カラーモード] [p.77](#)

2 [カラーモード] を選択します。

表示されるメニューから   ボタンを押して [カラーモード] を選択し、 ボタンを押して決定します。



2D映像投写時

[オート]、[ダイナミック]、[リビング]、[ナチュラル]、[シネマ] が選択できます。
[3Dダイナミック]、[3Dシネマ] は、グレースアウトされて選択できません。

3D映像投写時

[3Dダイナミック]、[3Dシネマ] が選択できます。
[オート]、[ダイナミック]、[リビング]、[ナチュラル]、[シネマ] は、グレースアウトされて選択できません。

2D映像投写時の選択肢

モード名	使い方
オート	環境に応じて自動でカラーモードを設定します。部屋の明るさをセンサーで感知し、最適な画質に設定します（オートカラーアジャストメント機能）。
ダイナミック	明るい部屋での使用に適しています。
リビング	明るい部屋での使用に適しています。鮮やかでメリハリのあるクリアな映像です。
ナチュラル	暗い部屋での使用に適しています。色調整は、このモードから行うことをお勧めします。
シネマ	暗い部屋で映画やコンサート映像を楽しむのに適しています。



「[設置モード]」が「[フロント]」の場合のみ、「[オート]」に設定できます。👉 p.81

3D映像投写時の選択肢

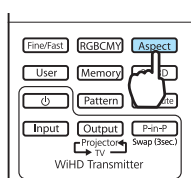
モード名	使い方
3Dダイナミック	3D映像を投写するときに使用します。3Dシネマよりメリハリのある明るい映像になります。
3Dシネマ	3D映像を投写するときに使用します。3Dダイナミックに比べてきれいな色を再現できます。

画面をフルやズームに切り替える（アスペクト）

入力信号の種類、縦横比、解像度にあわせて投写画面の「アスペクト」を切り替えます。

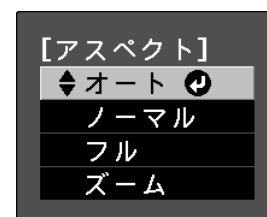
投写している映像の種類により選択できる「アスペクト」は異なります。

1 Aspect ボタンを押します。



環境設定メニューからも設定できます。👉 「映像」 - 「アスペクト」 p.79

2 設定名を選択し、Enter ボタンを押して決定します。

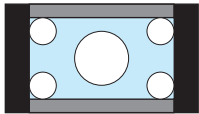
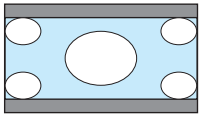
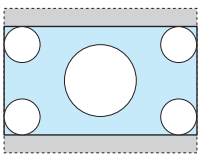


信号によって「アスペクト」が選択できない場合があります。

通常はオートに設定しておくことで入力信号に最適なアスペクトで表示されます。異なる比率で表示したいときに切り替えてください。

下記の表は16:9のスクリーンに投写した場合のイメージです。

入力映像	設定名（アスペクト）		
	ノーマル	フル	ズーム
4:3の映像			
16:9の映像		16:9の映像を投写する場合、フル、ズームは選択できません。	
スクイーズ記録された映像			

入力映像	設定名（アスペクト）		
	ノーマル	フル	ズーム
レターボックスの映像 ※			
補足	投写パネルの縦サイズに合わせて表示します。入力映像により縦横比が異なります。	投写パネル全体を使って表示します。	入力信号の縦横比を維持して、投写パネルの横サイズに合わせて表示します。上下が切れる場合があります。

※ 説明に使用しているレターボックスのイメージは、16:9の映像の上下に字幕用に黒い帯が付加されて4:3の映像として表示される映像を例としています。画面イメージの上下の枠は字幕用の帯を示しています。



営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、ホテルや店内外などでアスペクト機能を利用して映像を圧縮・引き伸ばし・分割を行うと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがあります。



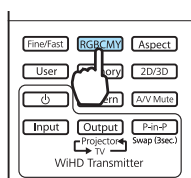
こだわりの色調整をしよう

色相・彩度・明度の調整

R (赤) G (緑) B (青) C (シアン) M (マゼンタ) Y (イエロー) の各色について、色相、彩度、明度を調整します。

色相	映像全体の色みを、青系～緑系～赤系へと調整します。
彩度	映像全体の鮮やかさを調整します。
明度	映像全体の色の明るさを調整します。

1 RGBCMY ボタンを押します。



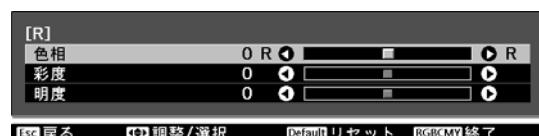
環境設定メニューからも設定できます。 [画質] - [アドバンスト] - [RGBCMY] [p.77](#)

2 ボタンで調整する色を選択し、(Enter) ボタンを押して決定します。



3 ボタンで [色相] [彩度] [明度] のいずれかを選択します。

4 ボタンで調整します。



別の色を調整するときは、(Esc) ボタンを押します。

調整結果を初期値に戻すときは (Default) ボタンを押します。

5 RGBCMY ボタンを押してメニューを終了します。

ガンマの調整

画像を表示するときに機器などの違いによって生じる微妙な発色を調整します。

設定方法は次の2つの方法があり、環境設定メニューで選択します。

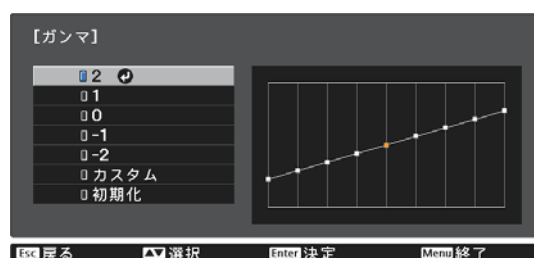
設定方法	メニューの入り方
補正值を選んで調整する	[画質] - [アドバンスト] - [ガンマ]
ガンマ調整グラフで調整する	[画質] - [アドバンスト] - [ガンマ] - [カスタム] - 階調調整

補正値を選んで調整する

補正値を選択し、**Enter** ボタンを押して決定します。

数値が大きいほど、映像の暗い部分が明るくなりますが、明るい部分はつぶれぎみになります。ガンマ調整グラフは上側が膨らんだ形になります。

数値が小さいと、映像の明るい部分が暗くなります。ガンマ調整グラフは下側が膨らんだ形になります。

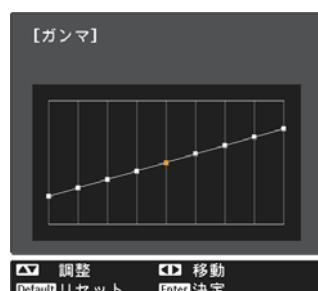


- ガンマ調整グラフの横軸は入力信号レベルを、縦軸は出力信号レベルを表します。
- 調整結果を初期値に戻すときは **Default** ボタンを押します。

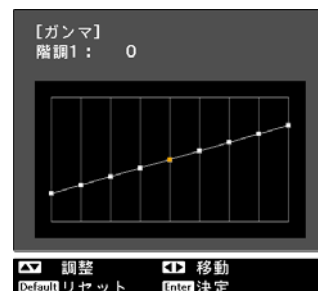
ガンマ調整グラフで調整する

投写中の映像を見ながら階調調整します。

- 1** ボタンで調整したい箇所をグラフから選択します。



- 2** ボタンで明るさを調整し、**Enter** ボタンを押して決定します。



RGBの調整（オフセット・ゲイン）

映像の明度を、R（赤）G（緑）B（青）についてそれぞれ、暗い部分（オフセット）と明るい部分（ゲイン）を調整します。+側（右側）にすると明るく、-側（左側）にすると暗くなります。

オフセット	明るくすると暗い部分の濃淡が表現されます。暗くするとメリハリのある見え方になりますが、暗い部分の濃淡がわからなくなります。
ゲイン	明るくすると明るい部分が白っぽくなり濃淡がわからなくなります。暗くすると明るい部分の濃淡が表現されます。

次の順でメニューを表示します。

[画質] - [アドバンスド] - [RGB]

ボタンで項目を選択し、 ボタンで調整します。



調整結果を初期値に戻すときは **Default** ボタンを押します。

色温度

映像全体の色合いを調整します。映像の青みが強すぎる、赤みが強すぎるなどのときに調整します。

次の順でメニューを表示します。

〔画質〕 - 〔色温度〕

◀▶ ボタンで調整します。

数値を大きくすると青みが強くなり、数値を小さくすると赤みが強くなります。



- 〔カラーモード〕 の設定によって 〔色温度〕 の設定値が異なります。
- 調整結果を初期値に戻すときは **Default** ボタンを押します。

肌の色調整

肌の色を調整します。肌の色が赤すぎる、緑がかった色になるなどのときに調整します。

次の順でメニューを表示します。

〔画質〕 - 〔肌の色調整〕

◀▶ ボタンで調整します。

+側（右側）に設定すると緑がかった色になり、-側（左側）に設定すると赤みのある色合いになります。



調整結果を初期値に戻すときは **Default** ボタンを押します。



さらに画質を究めよう

シャープネスの調整

画像を強調します。[スタンダード] と、さらに詳細な調整ができる [アドバンスト] の2種類があります。

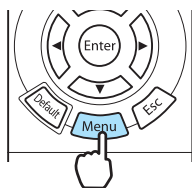
以下の場合には [アドバンスト] の調整はできません。

- コンピューター映像信号が入力されているとき
- [映像] メニューの [映像処理] を [速い] に設定しているとき
- 3D映像を投写しているとき

[アドバンスト] の設定項目と設定手順は次の通りです。

高域強調	髪の毛や衣服の模様などの細かい部分が強調されます。
低域強調	被写体全体の輪郭や背景などの粗い部分が強調され、くっきりとした映像になります。
水平シャープネス 垂直シャープネス	水平方向または垂直方向に画像が強調されます。

1  ボタンを押します。



環境設定メニューが表示されます。

2 [画質] - [シャープネス] を選択します。

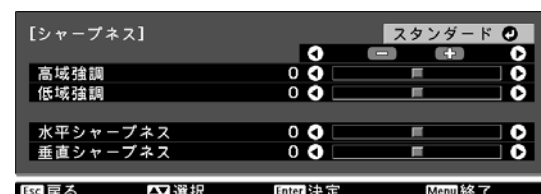
[シャープネス] の調整画面が表示されます。

3 画面右上の [アドバンスト] を選択し、 ボタンを押して決定します。

[アドバンスト] の調整画面が表示されます。

4  ボタンで項目を選択し、 ボタンで調整します。

+側（右側）にすると強調され、-側（左側）にするとソフトになります。



一番上の+-ボタンは高域/低域を同時調整します。

調整結果を初期値に戻すときは  ボタンを押します。

5  ボタンを押してメニューを終了します。

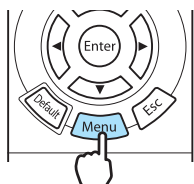
オートアイリス（自動絞り）の設定

表示される映像の明るさに合わせて、光量を自動的に設定することで、奥行きと深みのある画像が楽しめます。

映像の明暗変化に対する光量調整の追従性を、[標準]、[高速] から選択します。

（映像によってはオートアイリスの動作音がすることがありますが、故障ではありません。）

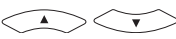
1  ボタンを押します。



環境設定メニューが表示されます。

2 [画質] - [オートアイリス] を選択します。

[オートアイリス] の調整画面が表示されます。

3  ボタンで項目を選択し、
 ボタンを押して決定します。



超解像、ディテール強調機能

ぼやけた輪郭をはっきりさせ、質感や素材感を際立たせることで、解像感を向上させます。

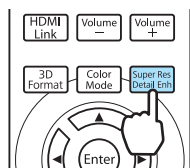
超解像	映像信号の解像度を拡大して投写するときに発生するエッジ部分などのボケを低減し、よりはっきりとした映像で表示するように処理します。 映像によっては、エッジのノイズが強調されることがあります。ノイズが気になるときは、「0」に設定してください。
ディテール強調	映像の明暗差を強調し、質感や素材感がより際立った映像にします。 映像によっては、色との境目にハイライトが目立つ場合があります。気になるときは、値を小さく設定してください。



超解像の設定値を変更すると、ディテール強調の値も連動して変更されます。

1

Super Res Detail Enh ボタンを押します。



- 環境設定メニューからも設定できます。☞ [映像] - [超解像] p.79
- コンピュータ映像信号入力時は設定できません。
- 2D-3D変換時は設定できません。☞ [映像] - [3D設定] - [2D-3D変換] p.79
- 3D映像を投写するときは、1080p/24 Hz/フレームパッキングの信号にのみ本設定は有効です。

2

ボタンで [超解像] または [ディテール強調] を選択し、ボタンで調整します。

超解像では、数字が大きくなるほど効果が強くなります。
ディテール強調では、数字が大きくなるほど質感が強調されます。



3

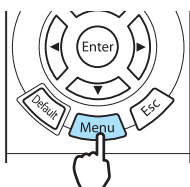
Super Res Detail Enh ボタンまたは **Menu** ボタンを押してメニューを終了します。

液晶アライメント

液晶パネルの画素の色ずれを調整します。

1

Menu ボタンを押します。



環境設定メニューが表示されます。

2

[設定] - [液晶アライメント] を選択し、**Enter** ボタンを押して決定します。

[液晶アライメント] の調整画面が表示されます。

3

[液晶アライメント] を [オン] にします。



[オン] に設定すると調整した結果が有効になります。[オフ] にすると補正値は初期値に戻ります。

4

[調整色] で調整する色を選択します。

5

[パターン色] で調整に使用するパターン (色の組み合わせ) を選択します。

- 6 [調整開始] を選択し、**Enter** ボタンを押して決定します。

はじめに液晶パネル全体の調整をします。
開始確認のメッセージが表示されたら、**Enter** ボタンを押して調整を開始します。

- 7  ボタンで調整し、**Enter** ボタンを押します。



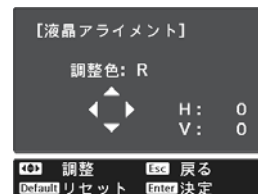
 全体調整開始前の値に戻すには、**Esc** ボタンを押してください。

- 8 より詳細な調整を行う場合は、[4隅を調整する] を選択し **Enter** ボタンを押して決定します。

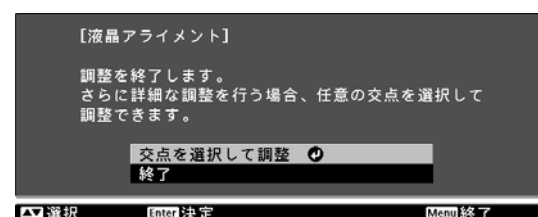
- 調整を終了する場合は、[終了] を選択してください。
- 調整開始画面にもどる場合は、**Esc** ボタンを押してください。

- 9  ボタンで調整し、**Enter** ボタンを押して次の調整ポイントに進みます。

調整は左上から順に4隅で行います。



- 10 4隅の調整後、[終了] を選択し、**Enter** ボタンを押して決定します。



 4点で調整が不十分の場合は、[交点を選択して調整] を選択して調整を続けます。

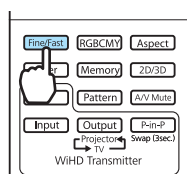
- 11 **Menu** ボタンを押してメニューを終了します。

映像処理

ゲームなどの動きの速い投写映像に対し、応答速度を向上させる処理をします。

Component/Video/HDMI1/HDMI2入力端子やWirelessHDからのプログレッシブ信号で有効です。

Fine/Fast ボタンを押すたびに [きれい] / [速い] が切り替わります。



- 環境設定メニューからも設定できます。☛ [映像] - [アドバンスド] - [映像処理] [p.79](#)
- 3D映像には対応していません。
- [映像処理] を [速い] に設定すると、以下の設定ができません。
 - [ノイズリダクション]、[2D-3D変換] はオフに固定されます。
 - [シャープネス] は [スタンダード] に固定されます。
 - [Picture in Picture] は使用できません。



登録した画質で映像を見る（メモリー機能）

登録できる機能

環境設定メニューの映像と画質の一部機能の調整値を登録できます（メモリー登録）。

登録した調整値はリモコンから呼び出すことができるので、簡単にお好みの画質に切り替えられます（メモリー呼出）。

登録できる機能は、環境設定メニューの次の機能です。

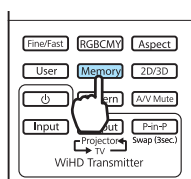
画質 p.77	カラーモード、明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合い、肌の色調整、シャープネス、色温度、明るさ切替、オートアイリス	
	アドバンスト	ガンマ、オフセット、ゲイン、色相、彩度、明度、EPSON Super White
映像 p.79	プログレッシブ変換、動き検出、超解像	
	アドバンスト	ノイズリダクション、セットアップレベル、オーバースキャン、HDMIビデオレベル

メモリーの登録

メモリーは「カラーモード」が「オート」以外のときに登録できます。

1 環境設定メニューで登録したい状態に設定しておきます。

2 **Memory** ボタンを押します。



3 ボタンで「メモリー登録」を選択し、**Enter** ボタンを押して決定します。



「メモリー登録」の画面が表示されます。

4 ボタンで登録するメモリー名を選択し、**Enter** ボタンを押して決定します。



設定した状態がメモリーに登録されます。

メモリー名の左のマークが水色のときは登録済みです。登録済みのメモリー名を選択したときは、上書きを確認するメッセージが表示されます。[はい] を選択すると、以前の内容を消去し、現在の状態を登録します。

メモリーの呼出し

1  ボタンを押し、[メモリー呼出] を選択します。

[メモリー呼出] の画面が表示されます。

2 目的のメモリー名を選択します。



- メモリーを登録した時のカラーモードが右側に表示されます。
- 入力信号によっては、呼び出したメモリー項目の一部が投写映像に反映されない場合があります。
- 2D映像時に登録したメモリーは2D映像時のみ呼び出しできます。3D映像時に登録したメモリーは3D映像時のみ呼び出しできます。

メモリーの削除

1  ボタンを押し、[メモリー削除] を選択します。

[メモリー削除] の画面が表示されます。

2 目的のメモリー名を選択します。

確認するメッセージが表示されます。[はい] を選択すると、登録内容が削除されます。



登録したメモリーをすべて消去する場合は、環境設定メニューの [初期化] - [メモリー初期化] で行います。 ➡ [p.89](#)

メモリー名称変更

メモリー名は自由に変更できます（最大12文字）。わかりやすい名前にしておくと呼び出すときに便利です。

1  ボタンを押し、[メモリー名称変更] を選択します。

[メモリー名称変更] の画面が表示されます。

2 目的のメモリー名を選択します。

名前候補の一覧画面が表示されます。

3 表示された名前または [カスタム] を選択します。

任意の名前を入力するときは、[カスタム] を選択し、手順4に進んでください。[カスタム] を選択するとキーボードが表示されます。

一覧の名前から選んだときは、メモリー名が変更されていることを確認してください。

4

名前を入力します。

    ボタンで文字を選び、 ボタンを押して決定します。12文字まで入力できます。

入力を終了するときは [Finish] を選択します。

メモリー名が変更されます。



3Dを楽しもう

3Dに設定する

3D映像を視聴するには、入力ソースを HDMI1/HDMI2/WirelessHD（EH-TW6600Wのみ）にします。

本機は、3Dフォーマットとして、次のフォーマットに対応しています。

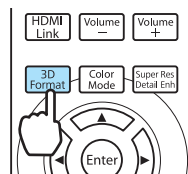
- フレームパッキング
- サイドバイサイド
- トップアンドボトム

■ 本機が3Dフォーマットを判別できるとき

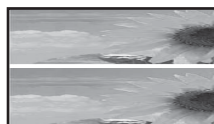
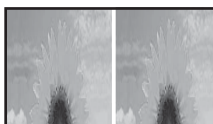
3Dフォーマットが判別できる映像信号を受信すると、自動的に映像を3Dで投写します。

■ 本機が3Dフォーマットを判別できないとき

3Dテレビ放送によっては、3Dフォーマットを判別する信号が含まれていないことがあります。その場合は、3Dフォーマットを手動で設定してください。 ボタンを押して、AV機器側の3Dフォーマットを選択します。



- AVアンプに接続して3D映像を視聴するときは、3D対応のAVアンプを使用してください。
- AV機器側の3Dフォーマットの設定については、AV機器の取扱説明書を参照してください。
- 3Dフォーマットが正しく設定されていないときは、以下のように映像が正しく表示されません。



■ 3D映像が見えないときは

3Dフォーマットを設定しても、3D効果が正しく表示されない場合は、以下の項目を確認してください。

- メガネの同期タイミングが逆になっていることがあります。[3Dメガネ左右反転] で反転して試してください。 ➡ [映像] - [3D設定] - [3Dメガネ左右反転] [p.79](#)
- [3D表示] が [オフ] になっているときは3Dに切り替わりません。リモコンの  ボタンを押してください。 ➡ [映像] - [3D設定] - [3D表示] [p.79](#)



- 3D効果の見え方には個人差があります。
- 3D表示になるときに視聴に関する注意が表示されます。この注意は [3D視聴上の注意] で [オフ] にすることもできます。☛ [映像] - [3D設定] - [3D視聴上の注意] [p.79](#)
- 2D映像を3Dに変換して楽しむこともできます。☛ [p.54](#)
- 3D投写中は環境設定メニューの次の機能は変更できません。
アスペクト (ノーマル固定)、ノイズリダクション (オフ固定)、オーバースキャン (オフ固定)、超解像、映像処理、アドバンスト-シャープネス、Picture in Picture
- 環境温度やランプ使用時間によっては3D映像の見え方が変わることがあります。正常に投写されない場合は使用を控えてください。

3Dメガネを使用する

3D映像は、同梱またはオプションの3Dメガネ (ELPGS03) をかけて視聴します。



3Dメガネは、開封直後は、保護シールなどが貼ってあります。保護シールをはがしてください。

3Dメガネを充電する

3Dメガネの充電方法は、お使いの機種によって以下の方法があります。

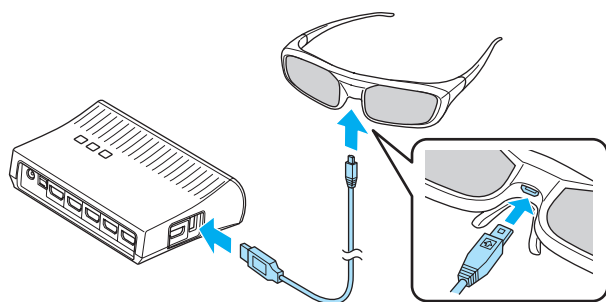
WirelessHDトランスミッターがある場合は、WirelessHDトランスミッターで充電できます。

WirelessHDトランスミッターがない場合は、オプションのUSB充電AC電源アダプターで充電します。(EH-TW6600をご使用の場合、USB充電AC電源アダプターは同梱されています。)

3DメガネをUSBケーブルでプロジェクター背面のUSB(TypeA)端子に接続しても充電できます (プロジェクターの電源がオンのときのみ充電可能)。

WirelessHDトランスミッターで充電する

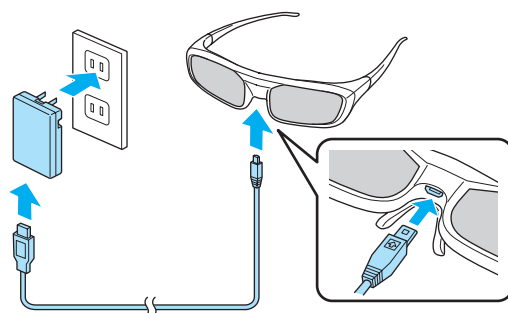
WirelessHDトランスミッターに3DメガネをUSBケーブルで接続します。



HDMI5端子にケーブルが接続されているときは、WirelessHDトランスミッターで充電できません。

USB充電AC電源アダプターで充電する

3DメガネをUSB充電ケーブルでUSB充電AC電源アダプターに接続し、USB充電AC電源アダプターをコンセントに差し込みます。



充電時間と使用時間の目安は、以下の通りです。

充電時間	使用可能時間
3分	約3時間
50分	約40時間

注意

- 3Dメガネに表示されている電源電圧以外は使用しないでください。
- 同梱のmicroUSB ケーブルの取り扱いには以下の点に注意してください。
 - ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
 - ケーブルを加工しないでください。
 - 電熱器の近くに配線しないでください。
 - 破損したケーブルは使用しないでください。

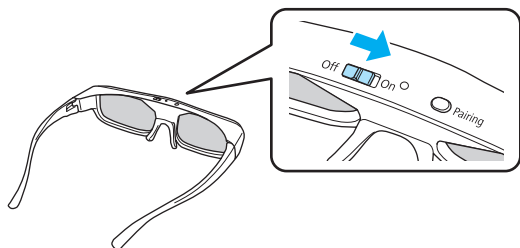
■ 3Dメガネをペアリングする

3D映像を実現するために、最初にメガネと本機をペアリングする必要があります。

ペアリングは、3Dメガネの【Pairing】ボタン長押しで開始します。

1 【電源】スイッチをOn側にスライドさせ、3Dメガネの電源を入れます。

インジケータが数秒点灯し、消灯します。



2 3秒長押しします。

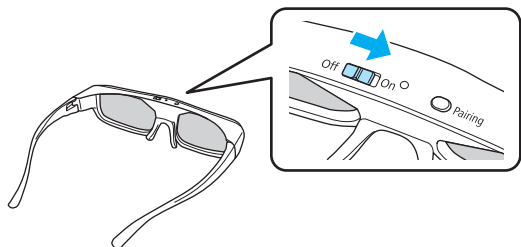
インジケータが緑色と赤色に交互に点滅します。ペアリングが成功すると10秒間点灯し、消灯します。



- 未使用の3Dメガネのときは、3Dメガネの電源投入時にペアリングされます。正しく3Dが視聴できるときは、ペアリングは必要ありません。
- 一度ペアリングを実施すれば、次回以降は電源を入れるだけで視聴できます。
- ペアリング可能範囲は、本機から3mです。ペアリング中は、本機から3m以上離れないでください。ペアリングできません。
- 30秒以上、同期できない場合は、自動的にペアリングを終了します。このとき、ペアリングは失敗となるため、3D映像は視聴できません。

3Dメガネの装着

- 1
- 【電源】スイッチをOn側にスライドさせ、3Dメガネの電源を入れます。インジケーターが数秒点灯し、消灯します。



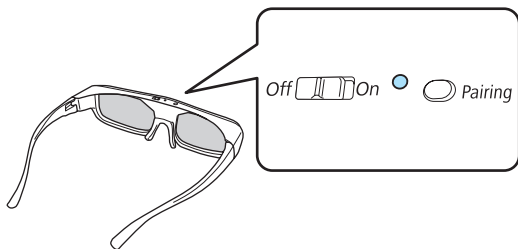
- 2
- 3Dメガネを装着し、視聴します。



- 使い終わった後は【電源】スイッチをOff側にスライドさせ、電源を切ります。
- 3Dメガネは、30秒以上使用しないまま放置すると、自動的に電源が切れます。電源を再投入するときは、一度、【電源】スイッチをOff側にスライドさせた後、On側にスライドさせます。
- 3D映像を複数人で楽しむときには、オプションの3Dメガネが必要です。👉 [p.111](#)

3Dメガネのインジケーターの見方

3Dメガネの状態は、インジケーターの点灯や点滅で確認できます。

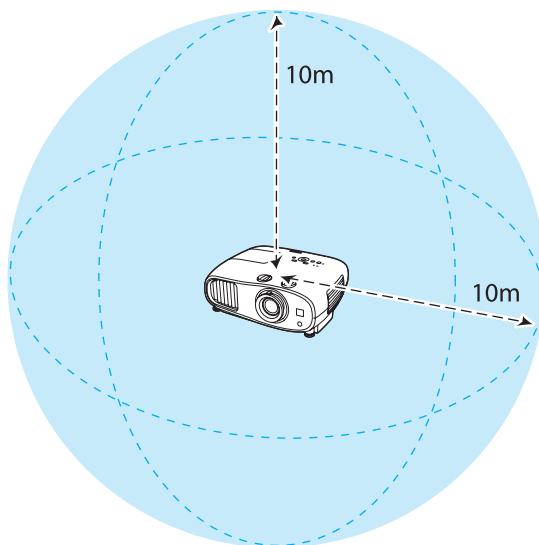


インジケーター	状態
赤色の2回点滅×5	電池消耗状態
赤色に点灯	充電中
緑色に点灯	充電完了
緑色と赤色に交互に点滅	ペアリング中
緑色に10秒間点灯して消える	電源Onまたはペアリング成功

3D映像を見る範囲

本機は、次の図の視聴範囲で3D映像をお楽しみいただけます。

プロジェクターから10mの範囲で3D映像をお楽しみいただけます。



- 他のBluetooth通信機器の影響があると、正しい3D映像が見られないことがあります。同時には使用しないでください。
- 3Dメガネの通信方式は無線LAN（IEEE802.11b/g）や電子レンジと同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、同時に使用すると、電波干渉が発生し、映像が途切れたり接続ができないことがあります。同時に使用したいときは、本機をこれらの機器の近くで使用しないでください。
- 本機の3Dメガネは、アクティブシャッター方式（Bluetooth通信）の3Dメガネです。

3D映像視聴に関する注意

3D映像を視聴するときは、次のことに注意してください。

警告

分解改造について

- 3Dメガネを分解したり改造しないでください。
火災や視聴時の異常による体調不良の原因になります。

保管場所について

- 3Dメガネや同梱部品は、乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

無線（Bluetooth）について

- 医療機器に電磁妨害をおよぼし、誤動作の原因となることがあります。お使いの前に、医療機器が近くにないことを確認してください。
- 自動制御機器に電磁妨害をおよぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しないでください。

加熱について

- 3Dメガネを火の中に入れたり、加熱したり、高温になる場所に放置したりしないでください。本製品にはリチウム充電電池を内蔵しているため、発火・破裂によるやけどや火災の原因になります。

充電について

- 充電時は、当社で指定のUSB端子に付属の充電ケーブルを接続してご使用ください。充電は、WirelessHD、本プロジェクター、純正アダプタ経由のいずれかで行ってください。他の機器による充電は、電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になることがあります。
- 付属の充電ケーブルは3Dメガネの充電用途以外に使用しないでください。発熱・発火・故障の原因になることがあります。

注意

3Dメガネについて

- 3Dメガネを落としたり、力を加えたりしないでください。
ガラス部分などが破損してけがの原因になることがあります。保管時はソフトケースに収納してください。
- 3Dメガネを装着する際は、フレームの先端にご注意ください。
目などをついてけがの原因になることがあります。
- 3Dメガネの可動部（ヒンジ部など）に指を挟まないようにしてください。
けがの原因になることがあります。

注意

3Dメガネの使用について

- 3Dメガネは正しく装着してください。
3Dメガネを上下逆に装着しないでください。
右目と左目に映像が正しく表示されずに不快に感じたりすることがあります。
- 3D映像をご覧になる以外には使用しないでください。
- 3D映像の見え方には個人差があります。違和感を感じたり、立体に見えない場合は、3D機能のご使用をお控えください。
そのまま使用すると体調不良の原因となることがあります。
- 3Dメガネに異常・故障が発生した場合は直ちに使用を中止してください。
そのまま使用するとけがや体調不良の原因になることがあります。
- 3Dメガネを装着し耳、鼻やこめかみが赤くなったり、痛みやかゆみを感じたら使用を中止してください。
そのまま使用すると体調不良の原因になることがあります。
- 3Dメガネの装着により、肌に異常を感じたら使用を中止してください。
ごく稀に塗料や材質によりアレルギーの原因になることがあります。

注意

視聴時間について

- 3D映像を視聴する場合は、定期的に適度な休憩をとってください。
長時間の視聴による目の疲れなどの原因となることがあります。
休憩に必要な長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断ください。休憩をとっても、疲労感、不快感がとれない場合は、使用を中止してください。

注意

視聴方法について

- 3D映像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、使用を中止してください。
そのまま使用しますと体調不良の原因となることがあります。
- 3D映像の視聴中は必ず3Dメガネを装着し、裸眼で3D映像を視聴しないでください。
体調不良の原因となることがあります。
- 3Dメガネを使用するときには周囲に壊れやすい物を置かないでください。
実際の物に間違えて体を動かし、周囲の物を破損してけがの原因となることがあります。
- 3Dメガネは3D映像視聴中のみ装着し、3Dメガネを装着したまま移動しないようにしてください。
周りが暗くなり、転倒などによるけがの恐れがあります。
- スクリーンと（おおむね）水平な状態で視聴してください。
傾いた状態で視聴を続けると、3D効果を感じにくくなったり、映像の色が変わったりすることにより、体調不良の原因となることがあります。
- 蛍光灯やLED照明などをお使いの部屋で視聴すると、部屋全体がちらついてみえることがあります。
その場合は、ちらつきが消えるまで明かりを暗くしたり、照明を消して視聴してください。このちらつきによって、ごくまれに、けいれん発作や失神などの症状が起きることがあります。視聴中に体調の変化を感じた場合は視聴を中止してください。
- 画面の高さの3倍以上の視距離で視聴してください。
推奨距離は、画面80インチの場合3.0m以上、画面100インチの場合3.6m以上です。
推奨距離より近距離でのご使用は目の疲れの原因となることがあります。

⚠ 注意

視聴者について

- 光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3Dメガネを使用しないでください。症状悪化の原因になることがあります。

⚠ 注意

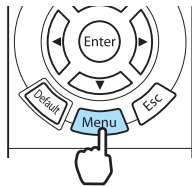
視聴年齢について（お子様への注意）

- 3D映像の視聴年齢については、6歳以上を目安にしてください。
- 6歳未満のお子様の3D視聴については、視覚が発達段階にあるため、必要に応じて医師にご相談ください。
- お子様が3Dメガネで視聴する場合は、必ず保護者が同伴してください。お子様が視聴する場合は、疲労感や不快感などに対する反応がわかりにくいいため、急に体調が悪くなることがありますので、保護者の方が、目の疲れがないかご注意ください。

2D映像を3Dに変換して見る

HDMI1/HDMI2/WirelessHD（EH-TW6600Wのみ）からの2D映像を3Dに変換します。

1 Menu ボタンを押します。

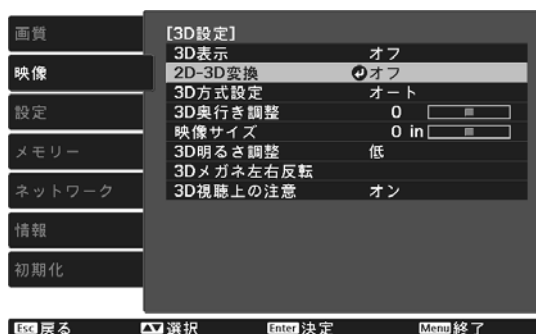


環境設定メニューが表示されます。

2 [映像] - [3D設定] を選択し、Enter ボタンを押して決定します。

[3D設定] の画面が表示されます。

3 [2D-3D変換] を選択し、Enter ボタンを押して決定します。

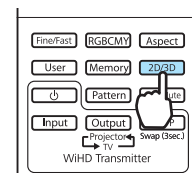


4 3D効果の強度を選択し、Enter ボタンを押して決定します。



5 2D/3D ボタンを押して、[3D表示] を[オン] にします。

2D/3D ボタンを押すたびに、[3D表示] の[オン] / [オフ] が切り替わります。





- [2D-3D変換] を利用するときは、[3D方式設定] を[オート] または [2D] に設定してください。 ➡ [映像] - [3D設定] - [3D方式設定] [p.79](#)
- [映像処理] を[速い] に設定しているときは、[2D-3D変換] は調整できません。 ➡ [映像] - [アドバンスト] - [映像処理] [p.79](#)

WirelessHDで接続する (EH-TW6600Wのみ)

WirelessHDトランスミッターの設置

同梱のWirelessHDトランスミッターを利用することで、無線で映像や音声などのデータを受信できるようになります。

本機（プロジェクター）にケーブルで接続する必要がなくなるため、本機をAV機器の近くに設置できないときなどに便利です。

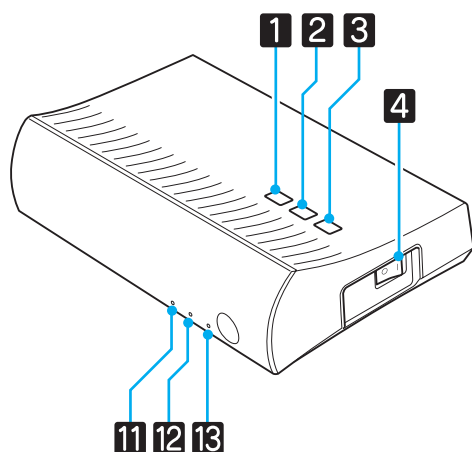


WirelessHDトランスミッターは、次のような使い方ができます。

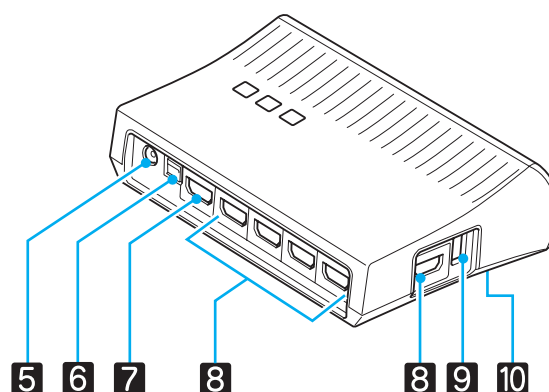
- 一度に5台までのAV機器を接続でき、リモコンで映像を切り替えられます。
- 本機（プロジェクター）とは別に、テレビなどのモニター機器をOutput端子に1台接続し、リモコンで出力先を切り替えられます。
- 本機（プロジェクター）の電源がオフでも、接続されたAV機器の映像を、Output端子に接続されたモニター機器に投写できます。
- MHL対応のスマートデバイスやタブレット端末を接続し、接続されたMHL機器の映像を投写できます。また、本機（プロジェクター）のリモコンでMHL機器を操作したり、MHL機器の充電もできます。

WirelessHDトランスミッターの各部の名称

前面



背面



名称		機能
1	電源ボタン	トランスミッターをオン/オフします。 リモコン下段にあるWiHD Transmitter制御用の  ボタンと同じ機能です。
2	Inputボタン	各入力端子からの映像に切り替えます。 リモコン下段にあるWiHD Transmitter制御用の  ボタンと同じ機能です。
3	Outputボタン	映像の出力先をWireless/Output端子のどちらかに切り替えます。 リモコン下段にあるWiHD Transmitter制御用の  ボタンと同じ機能です。
4	主電源スイッチ	トランスミッターの主電源をオン/オフします。
5	ACアダプター端子	ACアダプターに接続します。
6	Optical Audio-Out端子	光デジタル音声入力端子のある音響機器に接続します。
7	HDMI Output端子	テレビなどのモニター機器に接続します。Outputボタンで出力を切り替えられます。
8	HDMI Input端子	再生するAV機器に接続します。Inputボタンで入力映像を切り替えられます。 本機のHDMI5端子は、MHL規格に対応しています。MHLケーブルで接続したMHL対応のスマートデバイスやタブレット端末のコンテンツを再生することができます。
9	3Dメガネ充電端子	USBケーブルで接続して、3Dメガネを充電します。
10	Setupボタン	WirelessHDトランスミッターの裏側にあるボタンです。 WirelessHDトランスミッターの設定に使用します。
11	電源インジケータ (オレンジ色/緑色)	WirelessHDトランスミッターの電源がオンのときに点灯します。待機中はオレンジ色に、動作中（映像受配信中）は緑色に点灯します。
12	WiHDインジケータ (オレンジ色)	WirelessHDの通信状態を表示します。 - プロジェクターへ無線で映像を送信しているときに点灯します。 - Output端子に出力しているときは消灯します。
13	Linkインジケータ (オレンジ色)	プロジェクターとの接続状態を表示します。 - プロジェクターと接続しているときは点灯します。 - プロジェクターを検索しているときは点滅します。 - パワーセーブ状態で待機しているときはゆっくり点滅します。



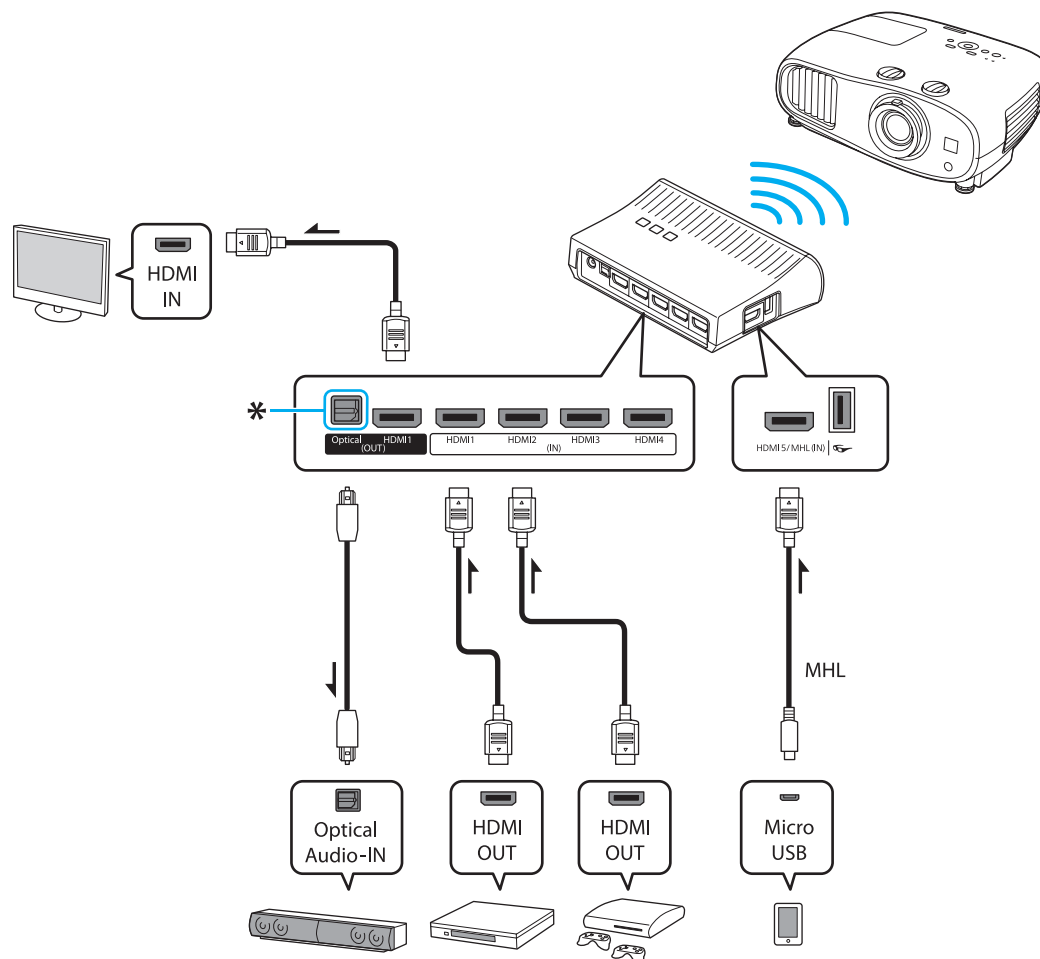
- 受信機は、本機（プロジェクター）の吸気口の奥に内蔵しているため、背面からの電波は受信できません。本機の前面がWirelessHDトランスミッターに向くように設置してください。また、本体左側（吸気口）の前を隠さないようにしてください。
- WirelessHDトランスミッターはプロジェクターの方に向けて水平に設置してください。
- 電波受信状況は [WirelessHD] の設定メニューで確認できます。  [設定] - [WirelessHD] - [映像受信感度] [p.81](#)

■ WirelessHDトランスミッターの接続例と信号の流れ

接続例1) AVアンプなしで視聴する

AVアンプを使わずに、機器をWirelessHDトランスミッターに接続し、Optical Audio-Out端子からサウンドバーなどに直接接続して音声を出力できます。

接続した機器の音声を出力する場合は、別途光デジタルオーディオケーブルが必要です。

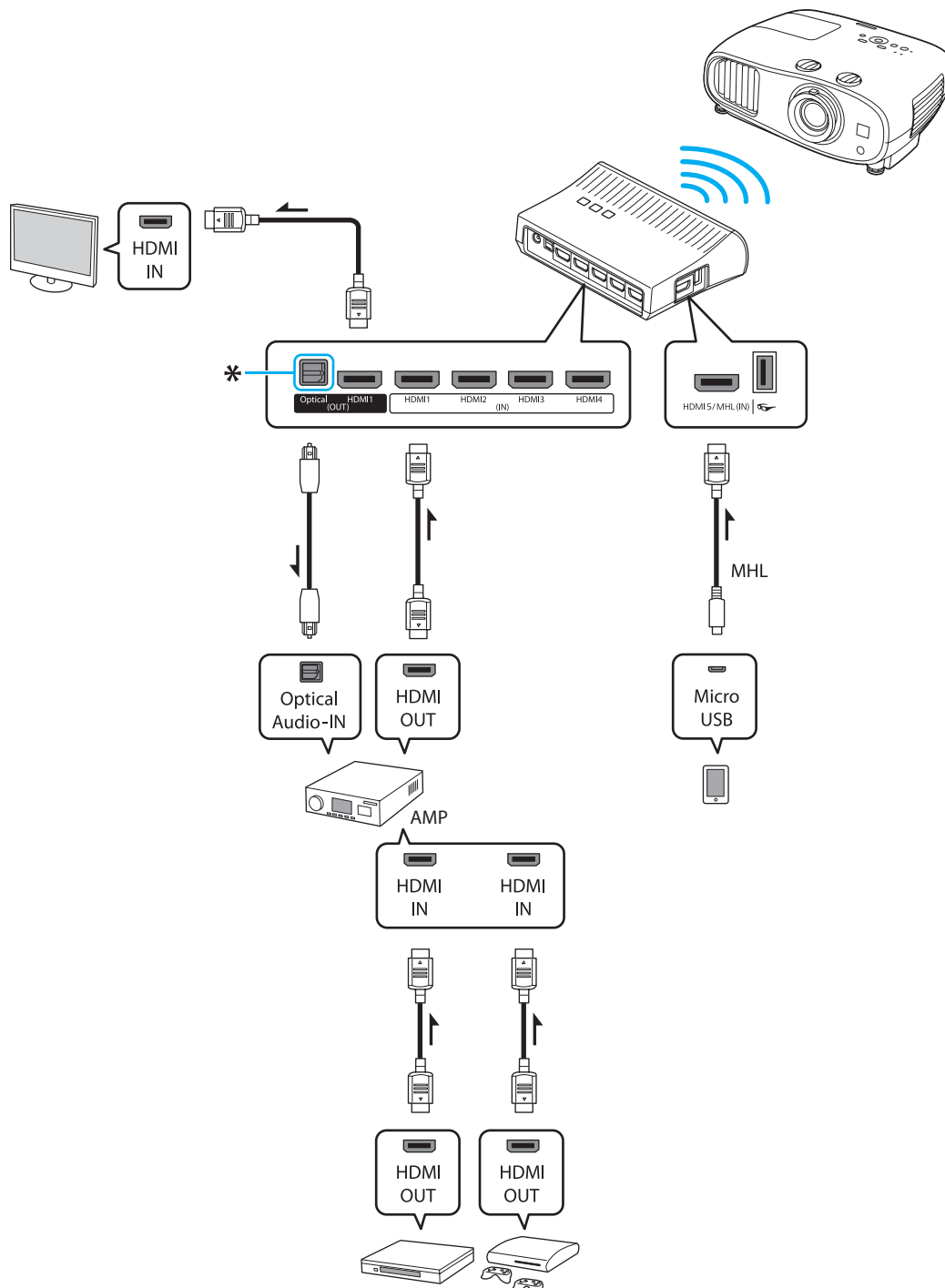


* WirelessHDトランスミッターのOptical Audio-Out端子にサウンドバーなどの機器を接続する場合は、[音声出力機器] が [WirelessHDトランスミッター] に設定されていることを確認してください。☞ [設定] - [HDMIリンク] - [音声出力機器] [p.81](#)

接続例2) AVアンプと接続して視聴する

AVアンプに接続した機器の音声はWirelessHDトランスミッターを通らずに、AVアンプの音声出力から出力されます。

MHLケーブルで接続した機器の音声を出力する場合は、別途光デジタルオーディオケーブルが必要です。



* HDMI5端子にMHLケーブルでMHL対応のスマートデバイスなどを接続するとき、音声出力するためにはWirelessHD トランスミッターのOptical Audio-Out端子にAVアンプを接続する必要があります。その場合は、[音声出力機器] が [AVアンプ] に設定されていることを確認してください。

☛ [設定] - [HDMIリンク] - [音声出力機器] [p.81](#)

Output端子に接続されたテレビなどのモニター機器の仕様により、AVアンプへの音声出力方式が制限される場合があります。音声出力設定の詳細については、各AV機器の取扱説明書を参照してください。

■ WirelessHDトランスミッターをセットする

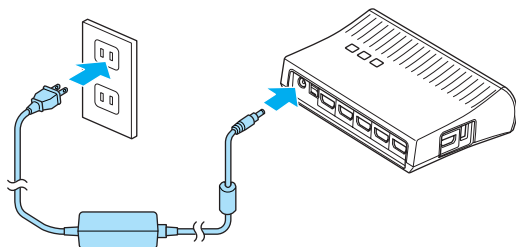
- 1 本機（プロジェクター）と接続するWirelessHDトランスミッターを向かい合う位置に設置します。

☛ p.63



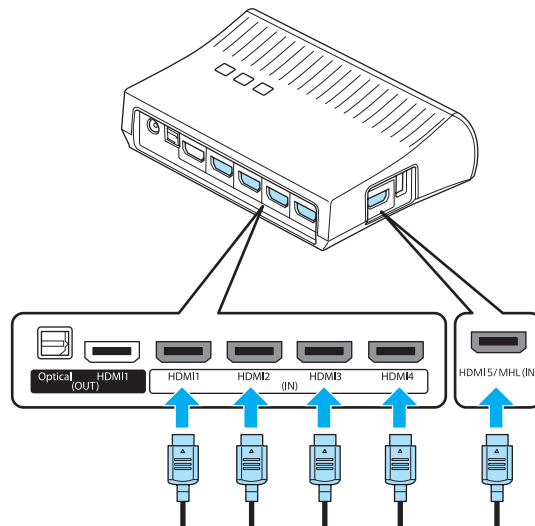
- 受信部は、本機（プロジェクター）の前面にあるため、背面からの電波は受信できません。本機の前面がWirelessHDトランスミッターに向くように設置してください。また、受信部の前を隠さないようにしてください。
- WirelessHDトランスミッターはプロジェクターの方に向けて水平に設置してください。

- 2 WirelessHDトランスミッターを付属のACアダプターで電源に接続します。



- 3 WirelessHDトランスミッターのInput端子に、映像を再生するAV機器をHDMIケーブルで接続します。

再生用機器は5台まで接続できます。



- WirelessHDトランスミッターのOutput端子には、テレビなどのモニター機器を1台接続できます。出力先はリモコンで切り替えられます。☛ p.65
- WirelessHDトランスミッターのHDMI5端子はMHL信号に対応しています。MHLケーブルを使ってMHL対応のスマートデバイスやタブレット端末などと接続し、コンテンツを再生することが可能です。
- MHL機器を接続しているときに以下のメッセージが表示される場合は、HDMI5以外の端子に接続しているか、接続している機器がMHLに対応していません。
「映像信号が入力されていません。」
- WirelessHDトランスミッターを使用している場合でも、HDMIリンク機能を利用できます。

☛ p.70

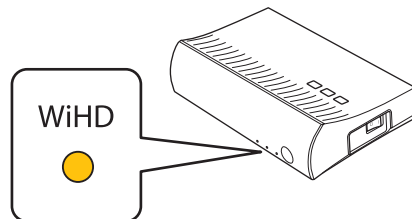
映像を投写する

- 1 AV機器を再生の状態にしてから、本機（プロジェクター）とWirelessHDトランスミッターの電源を入れます。

WirelessHDトランスミッターのWiHDインジケーターが点灯します。

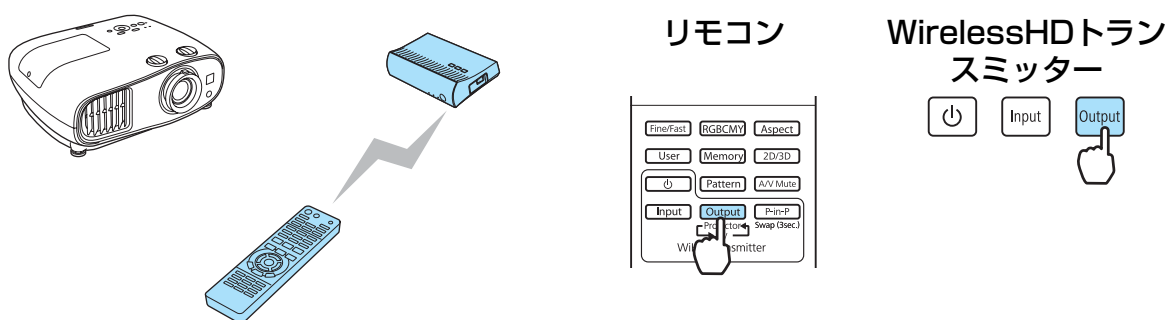
- 2 WirelessHDトランスミッターのWiHDインジケーターの状態を確認します。

WiHDインジケーターが点灯しているときは、次の手順に進みます。



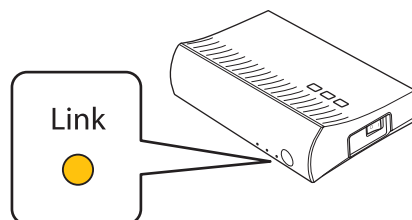
インジケーターが消灯しているときは、リモコンまたはWirelessHDトランスミッターの **Output** ボタンを押します。

リモコンの **Output** ボタンは、WirelessHDトランスミッターに向けて操作してください。



- 3 WirelessHDトランスミッターのLinkインジケーターの状態を確認します。

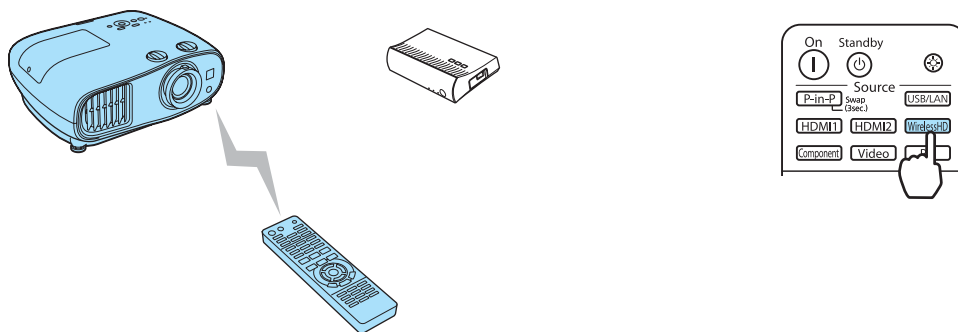
WirelessHDトランスミッターと本機（プロジェクター）との接続が成功すると、Linkインジケーターが点滅後に点灯します。



- インジケーターがゆっくり点滅し続けるときは、WirelessHDトランスミッターと本機との接続ができず待機状態になっています。本機の電源など、投写準備ができているか確認してください。
- 映像投写中の電波受信状況は [WirelessHD] の設定メニューで確認できます。👉 [設定] - [WirelessHD] - [映像受信感度] [p.81](#)

- 4 投写が開始されないときは、リモコンの **WirelessHD** ボタンを押し、入力ソースを切り替えます。

リモコンの **WirelessHD** ボタンは、本機（プロジェクター）に向けて操作してください。



投写が開始されます。

- 5 WirelessHDトランスミッターに複数のAV機器を接続して再生しているときは、**Input** ボタンを押して、映像を切り替えます。 ➡ [p.67](#)

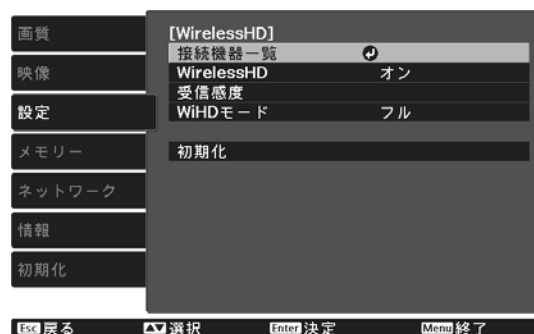


- WirelessHDの映像を受信する場合は、環境設定メニューの [WirelessHD] が [オン] になっている必要があります。 ➡ [設定] - [WirelessHD] - [WirelessHD] [p.81](#)
- 長期間使用しないときは、WirelessHDトランスミッターの電源をオフにしてください。

WirelessHDの設定メニュー

- 1 **Menu** ボタンを押します。
環境設定メニューが表示されます。
- 2 [設定] - [WirelessHD] を選択し、**Enter** ボタンを押して決定します。
[WirelessHD] の設定画面が表示されます。

- 3 表示される各機能を設定します。



[WirelessHD] の設定メニューで設定できる機能

機能	説明
接続機器一覧	接続可能なWirelessHD機器の一覧を表示します。一覧には機器名とMACアドレス（装置番号）が表示されます。MACアドレスは底面ラベルに記載されています。
WirelessHD	WirelessHDの機能の有効/無効を切り替えます。
映像受信感度	映像投写中の映像受信感度を表示します。
WiHDモード	通常は [フル] に設定します。[フル] モードは常に最大のビデオ帯域を使用します。[ダイナミック] モードはビデオ帯域を最適化し、無線範囲を拡張します。電波状態が悪いなどの理由で映像が途切れるときは、[ダイナミック] に設定してください。

機能	説明
初期化	[WirelessHD] の設定メニューの調整値を初期値に戻します。

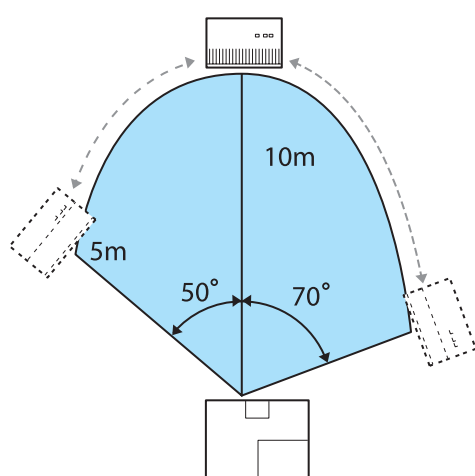


WirelessHDトランスミッターとプロジェクターが接続している場合でも、映像信号が入力されていないと「映像受信感度」は0%と表示されます。Linkインジケーターで通信状態を確認してください。👉 [p.56](#)

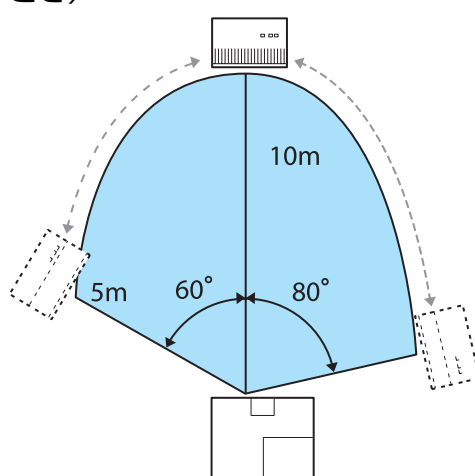
WirelessHDの通信範囲

WirelessHDの通信範囲は、次の通りです。WirelessHDトランスミッターは必ずプロジェクターに向く方向で設置してください。

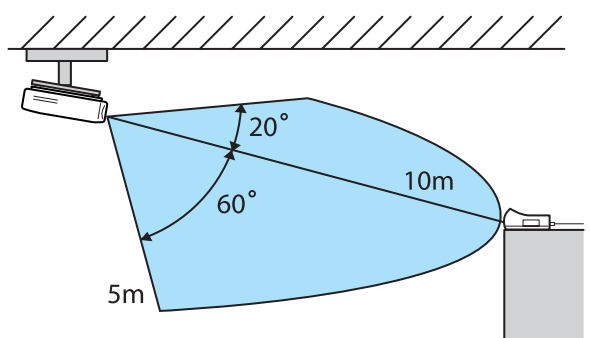
水平方向（[WiHDモード] が [フル] のとき）



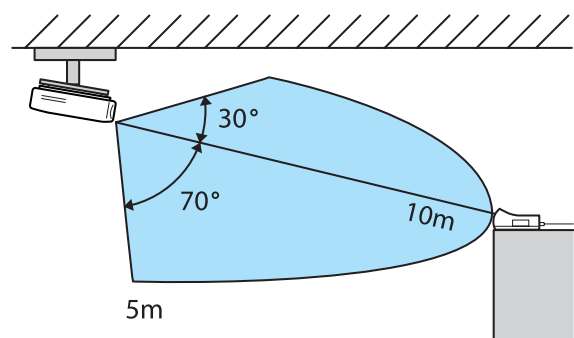
水平方向（[WiHDモード] が [ダイナミック] のとき）



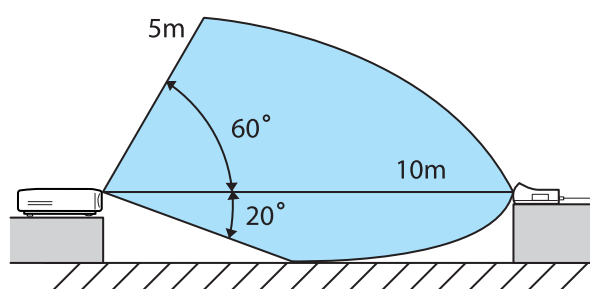
垂直方向（天吊り設置）



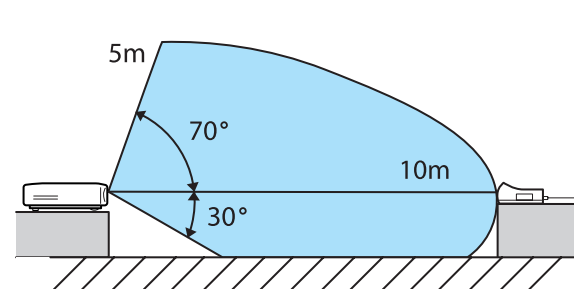
垂直方向（天吊り設置）



垂直方向（机などに置く）



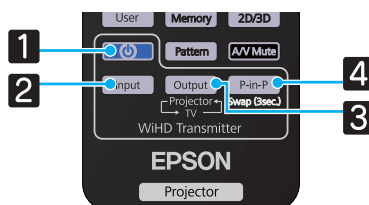
垂直方向（机などに置く）





- 無線通信距離は、家具や壁の材質や配置などによって変化します。この距離は目安です。
- 本機（プロジェクター）は壁越しの通信には対応していません。
- 本機（プロジェクター）とWirelessHDトランスミッターはそれぞれの前面にアンテナが内蔵されています。アンテナ位置（前面）を向い合わせて設置してください。
- 物などを置いて、本機（プロジェクター）とWirelessHDトランスミッターの前面を隠さないようにしてください。映像が途切れたり表示されなかったりすることがあります。前面からの電波を遮らない場所に設置してください。
- 金属製の棚に置かないでください。金属の影響で電波通信が不安定になることがあります。木製の棚などに置いてください。
- 動作確認するときは、本機（プロジェクター）とWirelessHDトランスミッターを近くに置き、他のプロジェクターが近くで動作していないことを確認してください。
- 受信感度によっては、映像が途切れないよう映像の色情報を自動的に落として接続を維持します。画質を劣化させない伝送のために、[映像受信感度] ができる限り高い状態になるよう、WirelessHDトランスミッターの設置位置を調整して使用してください。

リモコンの操作



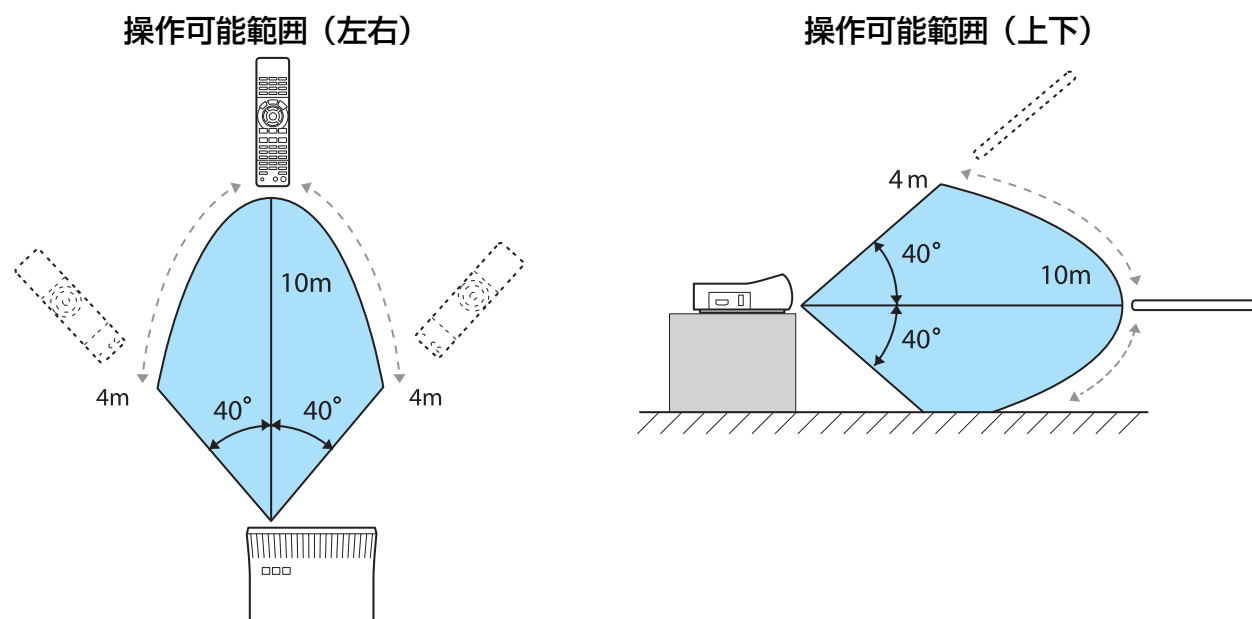
名称		機能
1		WirelessHDトランスミッターの電源をオン/オフします。
2	Input	WirelessHDトランスミッターに接続されているAV機器の映像ソースを切り替えます。 ➡ p.67
3	Output	映像の出力先をWirelessHDトランスミッターのOutput端子に接続したテレビなどのモニター機器と、本機（プロジェクター）とのいずれかに切り替えます。 ➡ p.65
4	P-in-P	2種類の映像を大小の画面で同時に投写します（Picture in Picture）。 ➡ p.69



リモコンをWirelessHDトランスミッターに向けて操作してください。

リモコンの操作範囲

WirelessHDトランスミッターに対するリモコンの操作範囲は、次の通りです。



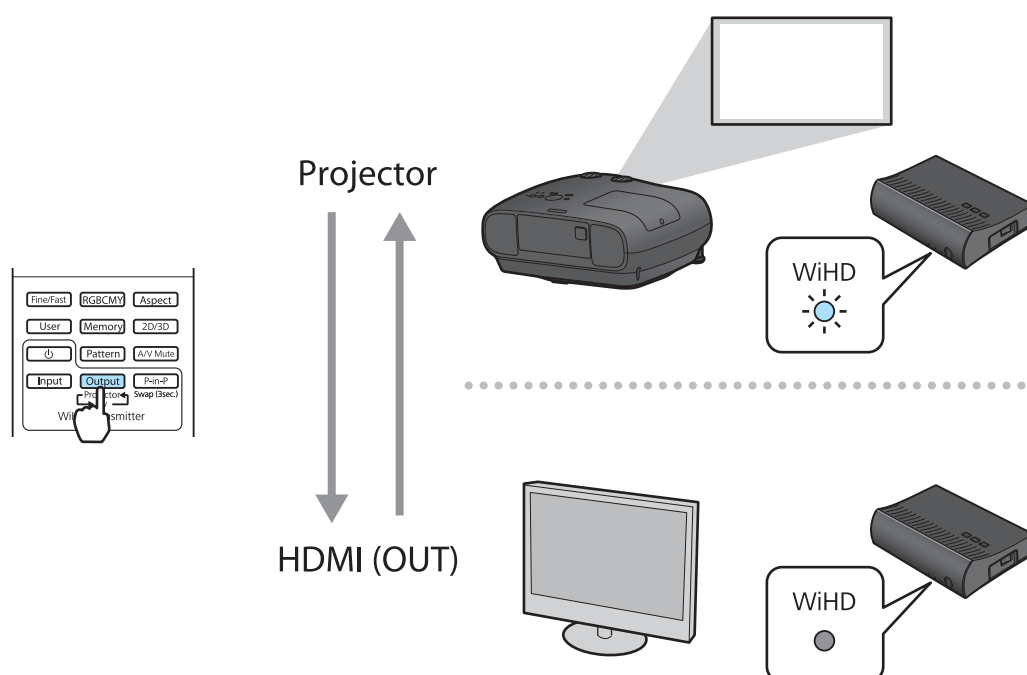
入出力の切り替え

WirelessHDトランスミッターには、5台までのAV機器（再生する入力機器）と1台のモニター機器（映像を表示するテレビなどのモニター機器）を接続し、切り替えて使えます。

入力機器を切り替えるにはリモコンの **Input** ボタンを、出力機器を切り替えるにはリモコンの **Output** ボタンをWirelessHD トランスミッターに向けて押し、操作します。

映像出力先の切り替え

WirelessHDトランスミッターのOutput端子に接続したテレビなどのモニター機器と本機（プロジェクター）とのいずれかに切り替えます。

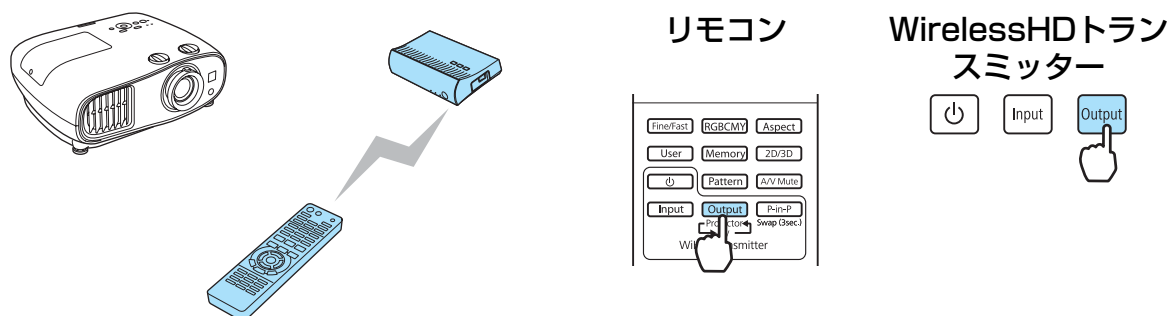


1 本機（プロジェクター）またはテレビなどのモニター機器の電源を入れます。

2 WirelessHDトランスミッターの電源を入れます

WirelessHDトランスミッターのWiHDインジケーターが点灯します。

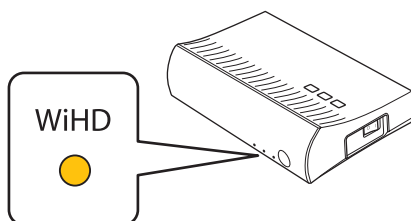
3 リモコンをWirelessHDトランスミッターの方向に向け、**Output** ボタンを押します。



WirelessHDトランスミッターのWiHDインジケーターが出力先により以下の状態になります。次回起動時は前回の映像出力先へ投写します。

点灯：本機（プロジェクター）へ映像を出力します。

消灯：モニター機器へ映像を出力します。

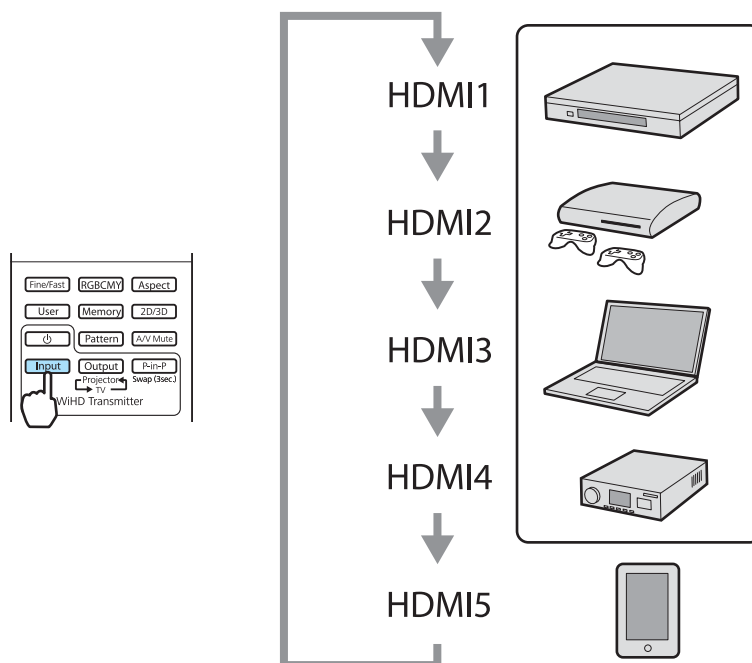


他のモニター機器への切り替えは、本機（プロジェクター）の電源がオフのときでも利用できます。

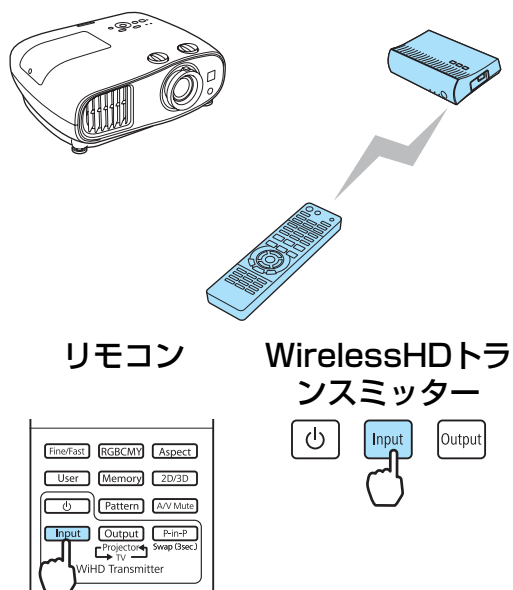
■ 映像ソースの切り替え

WirelessHDトランスミッターに接続されているAV機器の映像ソースを切り替えられます。切り替えるときは、各入力映像ソースを1つの画面にまとめてプレビュー表示できるので、複数の機器をHDMI接続している場合でも、簡単に入力を切り換えることができます。

本機ではSilicon Image, Inc.のInsta Prevue Technologyを採用しています。

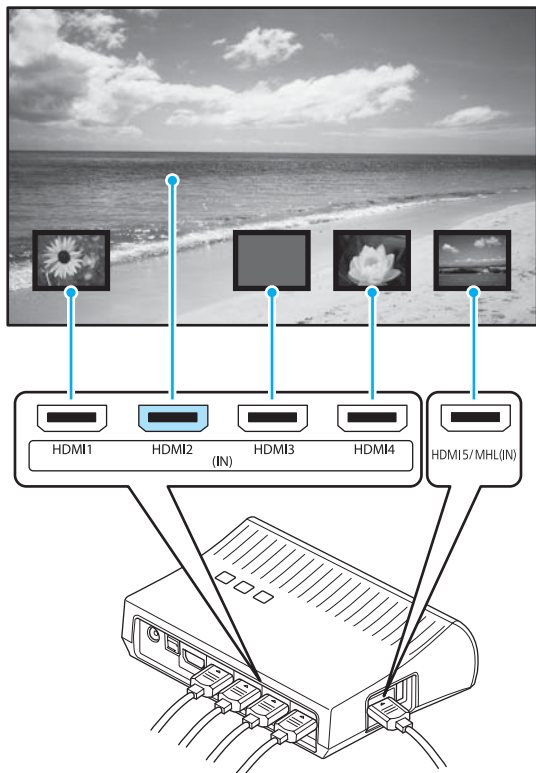


- 1** リモコンをWirelessHDトランスミッターの方向に向け、**Input** ボタンを押します。

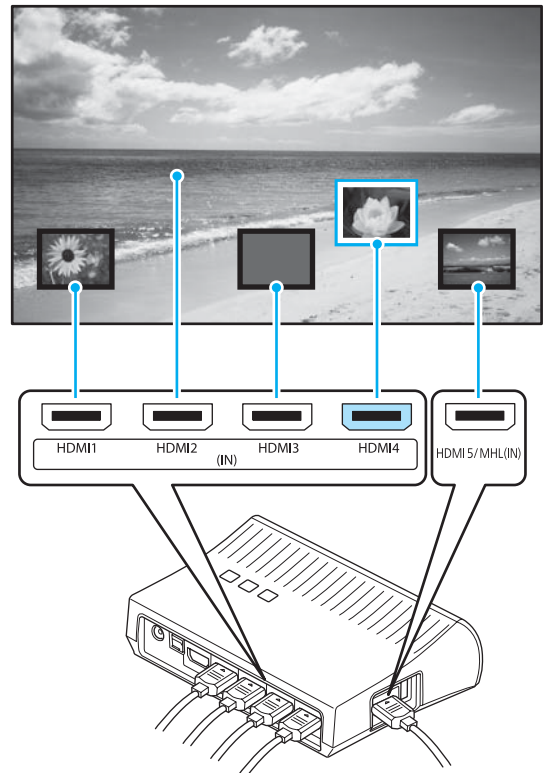


接続されている機器の子画面（サイズの小さい画面）が表示されます。

例）HDMI2端子に接続されている機器の映像を投写している場合



- 2** **Input** ボタンを押すたびに候補画面が切り替わります。

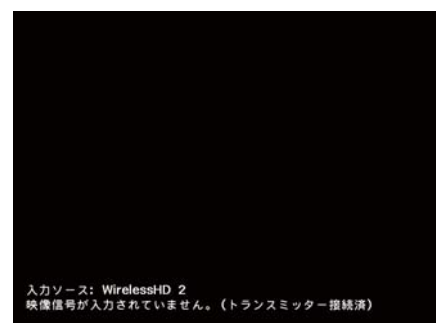


- 3** 候補画面を選んだ状態でしばらく待ちます。

投写映像が切り替わります。

映像信号が入力されていない画面は青または黒で表示されます。

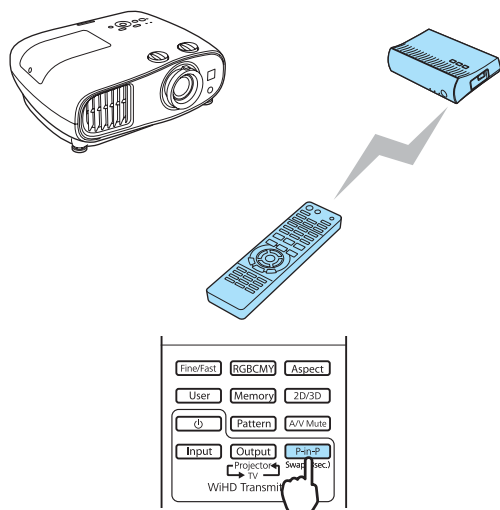
例）HDMI2端子に接続されている機器の映像が表示されない場合



接続されているA V機器の電源が入っていないか、ケーブル類が正しく接続されていないか、A V機器の電源が入っているか、または投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認してください。

子画面で表示

- 1 リモコンをWirelessHDトランスミッターの方向に向け、**P-in-P** ボタンを押します。



接続されている機器の子画面（サイズの小さい画面）が表示されます。

- 2 子画面と親画面（サイズの大きい画面）を切り替えるときは、**P-in-P** ボタンを画面が切り替わるまで（3秒間）押し続けます。

- 3 子画面を終了するときには、再度 **P-in-P** ボタンを押します。

投写映像が切り替わります。



- 子画面が表示された状態で、**Input** ボタンを押すと子画面の映像を切り替えられます。
- 子画面が表示された状態で、**Output** ボタンを押すと子画面の位置とサイズ（大/小）を切り替えられます。表示位置は、**Output** ボタンを押すたびに、サイズを切り替えながら右下、右上、左上、左下で移動します。

HDMIリンクで操作しよう

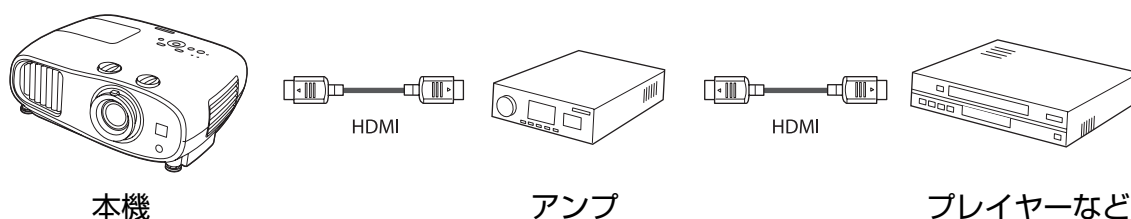
HDMIリンク機能

本機のHDMI端子にHDMI CEC規格に対応したAV機器を接続すると、電源オン連動やAVアンプの音量調整など連携動作が1つのリモコンで操作できます。また、WirelessHDで映像を投写しているときもHDMIリンク機能が利用できます（EH-TW6600Wのみ）。



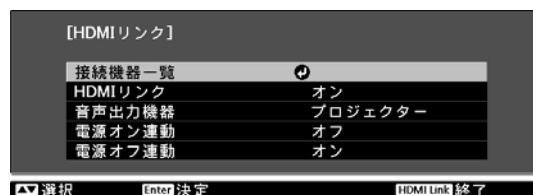
- AV機器がHDMI CEC規格に対応していれば、中継するAVアンプがHDMI CEC規格に対応していなくてもHDMIリンク機能が利用できます。
- HDMI CEC規格で、同時に接続できるプレイヤーは3台までです。

接続例



HDMIリンク設定

リモコンの **HDMI Link** ボタンを押し、[HDMIリンク] を [オン] にすると、次の機能が操作できます。



機能	説明
電源オン連動	接続機器側でのコンテンツ再生に連動して、本機の電源が入ります。または、本機の電源オンに連動して、接続機器の電源が入ります。
電源オフ連動	本機の電源オフに連動して、接続機器の電源が切れます。 - 接続機器のCEC電源連動機能を有効に設定しているときのみ有効。 - 録画中の機器など、状態によっては電源が切れないことがあります。
音声出力機器	音声出力先を設定します。 [プロジェクター]：本機の内蔵スピーカーから音声出力する場合に選択します。 [AVアンプ]：HDMI端子に接続し、HDMI CEC規格に対応したAVアンプから音声出力する場合に選択します。 [WirelessHD トランスミッター] ※：WirelessHD トランスミッターの Optical Audio-Out 端子に接続し、サウンドバーなどから音声出力する場合に選択します。
入力切替連動	接続機器のコンテンツ再生に連動して、本機の入力ソースがHDMIに切り替わります。
接続機器操作	再生/停止/早送り/巻き戻し/チャプター送り/チャプター戻し/一時停止などの操作が本機のリモコンで操作できます。

※ EH-TW6600Wのみ表示されます。



- HDMIリンクを使用するには、接続機器側の設定も必要です。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- WirelessHDトランスミッターを使用している場合でも、[電源オン連動]を[接続機器→PJ]または[双方向]に設定した状態で、[WirelessHD]を[オン]に設定してあれば、WirelessHDトランスミッターに接続しているAV機器の電源オンに連動して、本機の電源も入ります（EH-TW6600Wのみ）。☛ [設定] - [HDMIリンク] - [電源オン連動] [p.81](#)

接続機器一覧

HDMIリンクで利用可能な接続機器を確認し、映像を表示したい機器を選択できます。合わせてHDMIリンクで操作できる機器も切り替わります。

1

HDMI Link

ボタンを押し、[接続機器一覧]を選択します。

[接続機器一覧]が表示されます。

左側のマークが水色になっている機器がリンクされています。

機器名が取得できない場合は空欄になります。

2

HDMIリンクで操作したい機器を選択します。



- AVアンプは1台のみ認識されます。2台以上接続されているときは、最初に認識された1台が表示されます。
- ケーブルがHDMIの規格に対応していないと動作しません。
- HDMI CEC規格に対応していても動作しない接続機器や、動作しない機能があります。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。

写真データの再生（スライドショー）

再生できるデータ

本機のUSB(TypeA)端子に接続したUSBメモリーやデジタルカメラなどのUSBストレージデバイスに保存されている次のファイルを再生できます。

スライドショーで再生できるファイルの仕様

ファイルタイプ（拡張子）	備考
.jpg	• CMYKカラーモード形式のものは投写できません。 • プログレッシブ形式のものは投写できません。 • 解像度が8192 x 8192を超えるものは投写できません。 • JPEGファイルの特性上、圧縮率が高いと画像がきれいに投写されないことがあります。

注意

デジタルカメラの接続には、各機器指定のUSBケーブルをお使いください。3Dメガネに同梱されているUSBケーブルは使用しないでください。

スライドショーの実行

1 USBストレージデバイスを接続します。

ファイルのサムネイルが表示されます。



フォルダーを開くときは、フォルダーを選択して **Enter** ボタンを押します。



ファイルのサムネイルが表示されないときは、リモコンの **USB/LAN** ボタンを押して入力ソースを切り替えます。

2 [スライドショー] を選択します。

 ボタンで右下の [スライドショー] を選択して **Enter** ボタンを押します。

スライドショーが始まります。



- スライドショーを終了するときは、USBストレージデバイスを取り外します。
- サムネイル表示のときに写真を1枚選択して ボタンを押すと、選択した1枚を拡大して表示します。
1枚を拡大して表示している画面でリモコンの ボタンを押すと、画像を切り替えます。
また、 ボタンで画像を回転できます。

画像ファイルの表示設定とスライドショーの動作設定

ファイルの表示順序やスライドショーの動作をオプション画面で設定できます。

1

ボタンを押して、表示条件を設定するフォルダーにカーソルを合わせ ボタンを押します。表示されたサブメニューから【オプション】を選択して ボタンを押します。

2

オプション画面が表示されますので、各項目を設定します。

変更したい項目の設定にカーソルを合わせて ボタンを押すと、設定が有効になります。
各項目の詳細は次の表のとおりです。

表示順序設定	表示するファイルの順序を、[ファイル名順]、[更新日付順] から選択します。
ソート方向	ファイルの並び替え方向を、[昇順]、[降順] から選択します。
繰り返し再生	繰り返し再生を実行するかを設定します。
表示時間設定	スライドショー再生で、1つのファイルを表示する時間を設定します。 [なし] (0) ~60秒までの設定ができます。[なし] に設定したときは、自動送りは無効となります。
画面切替効果	スライドを切り替えるときの画面効果を設定します。

3

ボタンを押して【OK】にカーソルを合わせて、 ボタンを押します。

設定が適用されます。

設定を適用したくない場合は、[キャンセル] にカーソルを合わせて、 ボタンを押します。

Picture in Pictureで2種類の映像を投写する

同時に表示できる画面の種類

親画面（サイズの大きい画面）の中に子画面（サイズの小さい画面）を表示して2種類の映像ソースを投写します。メイン映像を視聴しつつ、サブ映像を確認するなどの利用ができます。



Picture in Pictureで投写できる入力ソースの組み合わせ

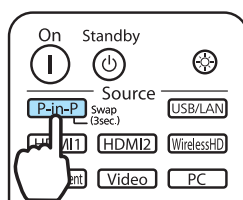
	HDMI 1	HDMI2	WirelessHD※	Component	Video	PC
HDMI 1	-	-	-	✓	✓	✓
HDMI2	-	-	-	✓	✓	✓
WirelessHD※	-	-	-	✓	✓	✓
Component	✓	✓	✓	-	-	-
Video	✓	✓	✓	-	-	-
PC	✓	✓	✓	-	-	-

※ EH-TW6600Wのみ

Picture in Pictureで投写する

Picture in Pictureの開始と終了

本機で投写中にリモコンの **P-in-P** ボタンを押します。



入力されている映像がPicture in Pictureで表示されます。

親画面：直前までの映像

子画面：親画面とは別の入力ソース

再度 **P-in-P** ボタンを押すとPicture in Picture表示を終了します。



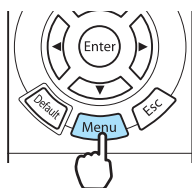
- 3D映像はPicture in Pictureで表示できません。
- **P-in-P** ボタンを長押しすると親画面と子画面の表示を入れ替えることができます。
- 該当のソースが入力されていないときは表示されません。
- [映像] メニューの [映像処理] が [速い] に設定されているときはPicture in Picture 機能を使用できません。 ➡ [映像] - [アドバンスト] - [映像処理] [p.79](#)

■ Picture in Pictureの設定を変更する

子画面の表示サイズや位置は、[Picture in Picture設定] メニューで切り替えます。

1

Menu ボタンを押します。



Picture in Picture投写中に **Menu** ボタンを押すと [Picture in Picture設定] メニューが直接表示されます。

2

表示される各機能を設定します。



[Picture in Picture設定] メニューで設定できる機能

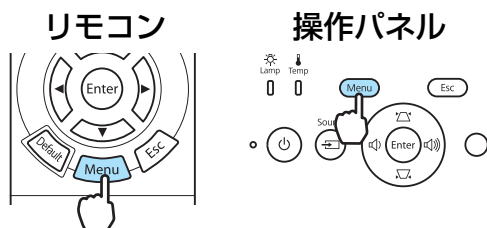
機能	説明
子画面サイズ	子画面の画面サイズを [小]、[大] で切り替えます。
子画面位置	子画面の位置を [右上]、[右下]、[左上]、[左下] で切り替えます。
子画面入力ソース	子画面に表示する入力ソースを選択します。
親画面/子画面入替	親画面と子画面を切り替えます。
Picture in Picture 終了	Picture in Picture表示を終了します。

環境設定メニューの機能

環境設定メニューの操作

環境設定メニューでは、映像、画質などの調整や設定を行うことができます。

1 Menu ボタンを押します。



環境設定メニューが表示されます。

2 ボタンで左側のトップメニューを選択し、Enter ボタンを押して決定します。

左側のトップメニューを選択すると、右側のサブメニューが切り換わります。



下の1行は操作ガイドです。

3 ボタンで右側のサブメニューを選択し、Enter ボタンを押して決定します



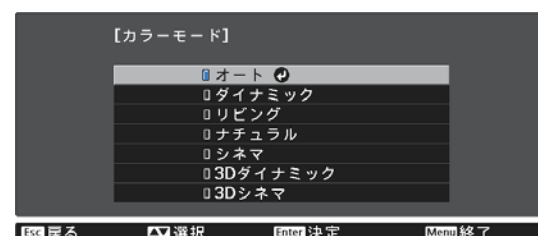
選択した機能の調整画面が表示されます。

4 ボタンで設定値を調整します。

例) 調整バー



例) 選択肢



が表示されている項目で Enter ボタンを押すと、その項目の選択画面に移行します。

一階層戻るときは Esc ボタンを押します。

5 Menu ボタンを押してメニューを終了します。



明るさなど調整バーで調整する項目は、調整画面が表示されているときに  ボタンを押すと調整値が初期値に戻ります。

環境設定メニュー一覧

映像信号が入力されていないときは、環境設定メニューの画質と映像の項目は調整できません。また、画質、映像、情報は、投写している映像信号によって表示される項目が異なります。

■ 画質メニュー

機能	メニュー/設定値		説明
カラーモード	オート、ダイナミック、リビング、ナチュラル、シネマ、3Dダイナミック、3Dシネマ		投写する環境や映像に合わせて、画質を選択します。  p.34
明るさ※1			映像の明るさを調整します。
コントラスト※1			映像の明暗の差を調整します。コントラストを上げるとメリハリのある映像になります。
色の濃さ※1※2			映像の色の濃さを調整します。
色合い※1※2			映像の色合いを調整します。
肌の色調整※1			肌の色を調整します。+側に設定すると緑がかった色になり、-側に設定すると赤みのある色合いになります。
シャープネス	スタンダード		映像のシャープ感を調整します。
	アドバンスト※2	高域強調、低域強調、水平シャープネス、垂直シャープネス 	映像のシャープ感を調整します。特定の領域を調整したいときに使います。  p.40
色温度	-3～6（10段階）※3		映像全体の色合いを調整します。高い値にすると青みがかった映像になり、低い値にすると赤みを帯びた映像になります。

機能	メニュー/設定値				説明
アドバンスト	ガンマ	2、1、0、-1、-2			ガンマ調整をします。数値を選択する方法と、グラフを見ながら調整する方法があります。🖱️ p.37
		カスタム※4	確認グラフ/ガイドの表示、階調調整		
		初期化			
	RGB	オフセット R/G/B			R/G/Bごとにオフセットとゲインを調整します。🖱️ p.38
		ゲイン R/G/B			
	RGBCMY	R/G/B/C/M/Y	色相、彩度、明度		R/G/B/C/M/Yごとに色相、彩度、明度を調整します。🖱️ p.37
	EPSON Super White		オン、オフ	([カラーモード] が [ナチュラル] / [シネマ] / [3Dシネマ] の場合で、HDMI1/HDMI2入力端子やWirelessHD からの信号入力時のみ設定可能) 白の部分が明るく白とびしているときは、[オン] に設定します。[オン] に設定している場合は、[HDMIビデオレベル] での設定は無効になります。	
明るさ切替	高、中、低				ランプの明るさを3段階で切り替えます。投写映像が明るすぎるときは [低] に設定します。[低] で使用すると投写中の消費電力、ファン回転音が減少します。
オートアイリス	オフ、標準、高速				映像の明暗変化に合わせ、光の量を自動で調整する機能の追従性を設定します。オフにすると光量調整は行いません。🖱️ p.41
初期化	はい、いいえ				[画質] のすべての調整値を初期値に戻します。

※1 調整画面で上下ボタンを押すと、前後の調整メニューへ移動できます。

※2 コンピューター映像信号入力時は表示されません。

※3 [カラーモード] が [ナチュラル] の場合、設定値は [5000K] ～ [10000K] になります。

※4 入力ソースやカラーモードごとに設定値が保存されます。

映像メニュー

機能	メニュー/設定値		説明
3D設定※ ¹	3D表示	オン、オフ	3D映像表示の有効/無効を切り替えます。 👉 p.47
	2D-3D変換	オフ、弱、中、強	2D映像を3D映像に変換する場合に、3D効果の強さを設定します。👉 p.54
	3D方式設定	オート、サイドバイサイド、トップアンドボトム、2D	入力信号の3D方式を設定します。[オート]にすると自動的に選択します。
	3D奥行き調整	-10～10	3D映像の奥行き感を設定します。
	映像サイズ	60～300	3D映像の投写サイズを設定します。実サイズに合わせることで、適切な3D効果になります。
	3D明るさ調整	低、中、高	3D映像の明るさを設定します。
	3Dメガネ左右反転	はい、いいえ	3Dメガネの左右のシャッターと左右映像との同期タイミングを反転します。映像で3Dの効果が正しく表示されない場合に設定します。
	3D視聴上の注意	オン、オフ	3D視聴に関する注意を表示するかどうかを切り替えます。
アスペクト※ ²	オート、ノーマル、フル、ズーム		アスペクトモードを選択します。👉 p.35
トラッキング※ ² ※ ³	入力信号によって異なります。		映像に縦の縞模様が出るときに調整します。
同期※ ² ※ ³	0～31		映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。 - ちらつき、ぼやけは、[明るさ] / [コントラスト] / [シャープネス] の調整で発生することもあります。 - トラッキング調整の後に同期を調整したほうが鮮明に調整できます。
表示位置※ ² ※ ⁴	   		映像の一部が欠けているときに表示位置を上下左右に移動し映像の投写範囲を調整します。
プログレッシブ変換※ ²	オフ、ビデオ、フィルム/オート		(Video入力端子から信号入力時、またはComponent/HDMI1/HDMI2入力端子やWirelessHDから480i、576i、1080i信号入力時のみ設定可能) 映像に適した方法でインターレース (i) 信号をプログレッシブ (p) 信号に変換します。 [オフ]：動きの大きい映像に適しています。 [ビデオ]：一般のビデオ映像に適しています。 [フィルム/オート]：フィルム映画、CG、アニメーション映像など入力信号に応じて最適な変換を行います。

機能	メニュー/設定値		説明
動き検出 ※2 ※5	1～5		映像の動きの速さを1（遅い、静止画向き）から5（速い、動画向き）で設定します。静止画の品質が劣る場合や動画がちらつくときに設定してください。
超解像※5	0～5		解像度を高めるときに発生するエッジ部分などのボケを低減します。  p.41
	ディテール強調	0～100	映像の明暗差を強調し、質感や素材感がより際立った映像にします。数字が大きくなるほど輪郭部分からの効果がより強くなります。  p.41
自動調整※3	オン、オフ		入力信号が切り替わったときに、映像を自動で最適な状態に調整するかどうかを設定します。自動調整されるのは、トラッキング、表示位置、同期の3項目です。
アドバンスト	ノイズリダクション※2 ※5	オフ、1、2、3	（[映像処理] が [きれい] の場合のみ設定可能） 映像のざらつきを抑えます。モードを3つ用意しています。お好みの設定でご覧ください。DVDなど映像ソースにノイズが少ないときは [オフ] に設定してご覧ください。
	セットアップレベル※2	0%、7.5%	（Video入力端子からNTSC信号またはコンポーネントビデオ信号入力時に設定可能） 韓国向けの製品など黒のレベル（セットアップレベル）が違う機器を使用する際に変更します。接続する機器の仕様を確認してから設定してください。

機能	メニュー/設定値		説明
(アドバンス ト)	オーバースキャン ※2 ※5	オート、オフ、 2%、4%、6%、 8%	出画率（投写する映像の範囲）を変更できます。 • [オフ]、2～8%：映像の範囲を設定します。[オフ] はすべての範囲を投写します。映像信号によっては上下にノイズが入る場合があります。 • [オート]：HDMI1/HDMI2入力端子やWirelessHDからの信号入力時のみ表示されます。入力信号によって自動的に [オフ] または [8%] に設定されます。
	HDMIビデオレベル※2	オート、通常、拡張	〔EPSON Super White〕が [オフ] の場合のみ設定可能 [オート] に設定すると、本機のHDMI1/HDMI2入力端子へのDVD入力信号のビデオレベルを自動判別し設定します。 [オート] に設定していて映像に黒つぶれや白とびが生じるときは、DVDプレイヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定します。DVDプレイヤー側の設定では、Normal（通常）、Expand（拡張）となっていることがあります。 接続機器のDVI端子と接続しているときは [オート] が表示されません。
	映像処理※5	きれい、速い	画質または応答速度を向上させる処理をします。  p.43
初期化	はい、いいえ		〔映像〕のうち、〔映像サイズ〕、〔3D視聴上の注意〕、〔アスペクト〕、〔映像処理〕以外のすべての調整値を初期値に戻します。

※1 HDMI1/HDMI2やWirelessHD映像信号入力時のみ表示されます（WirelessHDはEH-TW6600Wのみ）。

※2 入力ソースや信号の種類ごとに設定値が保存されます。

※3 PC映像信号入力時のみ表示されます。

※4 Component/PCやVideo映像信号入力時のみ表示されます。

※5 Component/HDMI1/HDMI2/VideoやWirelessHD映像信号入力時のみ表示されます（WirelessHDはEH-TW6600Wのみ）。

■ 設定メニュー

機能	メニュー/設定値		説明
タテヨコ	タテ補正	-60～60	タテ方向の台形ゆがみを補正します。  p.32
	ヨコ補正	-60～60	ヨコ方向の台形ゆがみを補正します。  p.32

機能	メニュー/設定値			説明
音声	音量	音量	0～40	音量を調整します。
	音声左右反転	オン、オフ		音声出力の左右を反転するかどうかを設定します。 天吊りにして内蔵スピーカーを利用する場合は、[オン] に設定します。
HDMIリンク	接続機器一覧	-		HDMI1/HDMI2入力端子やWirelessHD※で接続している機器の一覧を表示します。
	HDMIリンク	オン、オフ		HDMIリンク機能の有効/無効を切り替えます。
	音声出力機器	プロジェクター、AVアンプ、WirelessHDトランスミッター※		HDMIリンク機能使用時の音声出力先を設定します。👉 p.70
	電源オン連動	オフ、双方向、接続機器→PJ、PJ→接続機器		電源オンの連動機能を設定します。 接続機器側でのコンテンツ再生に連動して、本機の電源が入る（双方向、接続機器→PJ）や、本機の電源オンに連動して、接続機器の電源が入る（双方向、PJ→接続機器）ように設定します。
	電源オフ連動	オン、オフ		本機の電源オフに連動して、接続機器の電源を切るかどうかを設定します。
WirelessHD ※	接続機器一覧	-		接続可能なWirelessHD機器の一覧を表示します。
	WirelessHD	オン、オフ		WirelessHDの機能の有効/無効を切り替えます。
	映像受信感度			映像受信感度、WirelessHDトランスミッターとの接続状態を表示します。WirelessHDトランスミッターと接続され映像を受信すると、トランスミッター接続済と表示されます。
	WiHDモード	フル、ダイナミック		WirelessHD機器との接続モードを設定します。
	初期化	はい、いいえ		[WirelessHD] の調整値を初期値に戻します。 本機の初期化を行っても、WirelessHDトランスミッターの初期化は行われません。 WirelessHDトランスミッターを初期化するには、裏側のSetupボタンを5秒以上押してください。 👉 p.56

機能	メニュー/設定値		説明
ロック設定	チャイルドロック	オン、オフ	お子様が、誤って電源を入れないように、操作パネルの  ボタンでの電源オンをロックします。ロック時は、 ボタンを約3秒間押し続けると電源が入ります。 ボタンでの電源オフやリモコンでの操作は通常どおり行えます。 設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウンが終了した後に、設定が有効になります [チャイルドロック] を [オン] に設定しても、[ダイレクトパワーオン] を [オン] に設定しているときは本機に電源コードを接続するだけで投写が開始されますので、注意してください。
	操作ボタンロック	オン、オフ	[オン] にすると本体操作パネルの  ボタン以外のボタン操作が無効になり、ボタン操作を行うと画面上に  が表示されます。解除するには、本体操作パネルの  ボタンを約7秒以上押します。 設定を変更した場合は、環境設定メニューの表示終了後に、設定が有効になります。
設置モード	フロント、フロント・天吊り、リア、リア・天吊り		本機の設置状態に応じて設定します。 • [フロント]：スクリーン正面から投写する場合に選択します。 • [フロント・天吊り]：天吊りでスクリーン正面から投写する場合に選択します。 • [リア]：リアスクリーンへ裏側から投写する場合に選択します。 • [リア・天吊り]：天吊りでリアスクリーンへ裏側から投写する場合に選択します。
ユーザーボタン	2D-3D変換、明るさ切替、情報		リモコンの  ボタンに割り当てる環境設定メニューの項目を選択します。 ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/調整の変更が行えます。
Picture in Picture	-		Picture in Picture表示を開始します。  p.74

機能	メニュー/設定値		説明
動作設定	ダイレクトパワーオン	オン、オフ	本機に電源コードを接続するだけで、ボタン操作なしに投写できるよう設定できます。 [オン] に設定しているときは、停電復旧時などに、電源コードが接続されていると、投写が開始されますので注意してください。
	スリープモード	オフ、5分、10分、20分	信号が入力されていない状態が設定した時間続くと、自動的に電源をオフにして、スタンバイ状態になります。[オフ] にした場合はスリープモードは働きません。スタンバイ状態になっているときは、リモコンの ① ボタンまたは操作パネルの ㊤ ボタンを押すと投写を再開します。
	イルミネーション	オン、オフ	部屋を暗くして映画などを鑑賞中に操作パネルのインジケータの点灯が気になるときは、本設定を [オフ] にします。
	トリガーアウト	オン、オフ	本機の電源オンの状態などを外部機器に伝えるトリガーアウト機能を設定します。 [オフ] は、Trigger Out端子から電圧が出力されません。 [オン] は、本機の電源がオンの状態のときにTrigger Out端子から電圧が出力されます。 設定を変更した場合は、再起動後に設定が有効になります。
	高地モード	オン、オフ	標高約1500m以上でお使いの場合は [オン] にします。

機能	メニュー/設定値		説明
表示設定	メッセージ表示	オン、オフ	次のメッセージ表示をする（オン）/しない（オフ）を設定します。 - 映像信号やカラーモード、アスペクト、メモリー呼び出し時の項目名表示 - 映像信号が入力されていないときや未対応信号の場合、内部温度上昇時
	背景表示	黒、青、ロゴ	映像信号が入力されていないときなどの画面の状態を選択します。
	スタートアップスクリーン	オン、オフ	スタートアップスクリーン（投写開始時に投写される映像）を表示する（オン）/しない（オフ）を設定します。設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウンが終了した後に、設定が有効になります。
	スタンバイ確認	オン、オフ	スタンバイ確認メッセージを表示する(オン)/しない(オフ)を設定します。  p.27
	型番表示モード	オン、オフ	プロジェクターの型番を表示します。
液晶アライメント	液晶アライメント	オン、オフ	〔液晶アライメント〕の有効/無効を切り替えます。
	調整色	R、B	補正する色を選択します。
	パターン色	R/G/B、R/G、G/B	補正時に使用するパターンを選択します。
	調整開始	-	〔液晶アライメント〕を開始します。  p.42
	初期化	はい、いいえ	補正值を初期化します。
言語	-		表示する言語を選択します。
初期化	はい、いいえ		〔設定〕のうち、次の設定以外のすべての調整値を初期値に戻します。 〔音声左右反転〕 〔音声出力機器〕 〔電源オン連動〕 〔電源オフ連動〕 〔設置モード〕 〔ユーザーボタン〕 〔高地モード〕 〔言語〕

※ EH-TW6600Wのみ表示されます。

■ メモリーメニュー

機能	説明
メモリー呼出	[メモリー登録] で登録した設定値を呼び出します。☞ p.45 [メモリー登録] で何も登録していないときは選択できません。
メモリー登録	[画質] と [映像] の一部をメモリーとして登録できます。☞ p.44
メモリー削除	登録済みのメモリーで不要になったものを削除します。☞ p.45
メモリー名称変更	登録済みのメモリーの名前を変更します。☞ p.45

■ ネットワークメニュー

機能	説明
ネットワーク情報－無線LAN	以下のネットワークの設定状況を表示します。 • 接続モード • 無線LAN方式 • アンテナレベル • プロジェクター名 • SSID • DHCP • IPアドレス • サブネットマスク • ゲートウェイアドレス • MACアドレス • 地域コード※
ネットワーク設定画面へ	ネットワークの設定メニューへ移行します。☞ p.87

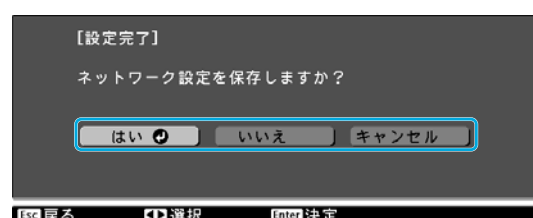
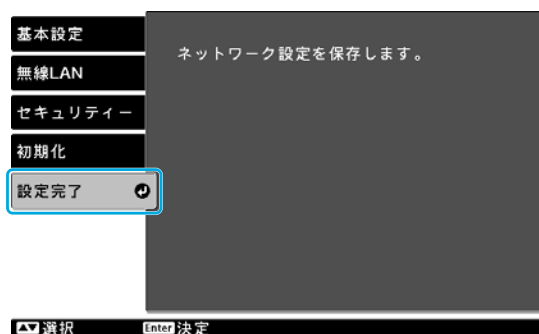
※ お使いの無線LANユニットの、利用可能な地域情報を表示します。詳細は、次に記載の連絡先にお問い合わせください。☞ [『お問い合わせ先』](#)

ネットワークメニュー操作上のご注意

ネットワークメニューを選択すると、メニューのタブが切り替わります。

基本的な操作は環境設定メニューと同様に行います。

ただし、終了する際には必ず [設定完了] メニューを選択し、設定を保存してください。



- [はい] : 設定を保存してネットワークメニューを終了します。
 [いいえ] : 設定を保存しないでネットワークメニューを終了します。
 [キャンセル] : ネットワークメニューを続けます。

ソフトキーボードの操作

ネットワークメニューでは英数字を入力して設定するときに、ソフトキーボードが表示されます。リモコンの   ボタンまたは操作パネルの   ボタンでキーを選択し、 ボタンを押して入力します。[Finish] を選択すると入力が確定し、[Cancel] を選択すると入力は取り消されます。



[CAPS] キー： アルファベットキーの大文字/小文字を切り替えます。

[SYM1/2] キー： 記号キーを切り替えます。

基本設定メニュー

機能	説明
プロジェクター名	ネットワーク上で本機を識別するための個別の名前を表示します。変更するときは、半角英数字16文字以内で入力します。

無線LANメニュー

機能	メニュー/設定値	説明
無線LAN電源	オン、オフ	無線LANを使用する（オン）/しない（オフ）を設定します。 [オフ] に設定すると他人からの不正なアクセス等を防ぐことができます。
接続モード	かんたんモード、マニュアルモード	無線LANの接続方法を設定します。 [かんたんモード]：プロジェクターがアクセスポイントとなり、コンピューターやスマートフォンを直接プロジェクターと接続します。 [マニュアルモード]：すでに無線LAN環境がある場合、設置されているアクセスポイントにプロジェクターを接続します。
チャンネル設定	1ch、6ch、11ch	（[接続モード] が [かんたんモード] の場合のみ設定可能） 無線LANで使用する周波数の帯域を選択します。
SSID	-	（[接続モード] が [マニュアルモード] の場合のみ設定可能） SSIDを入力します。本機が参加する無線LANシステムでSSIDが定められているときは、そのSSIDを入力します。 半角英数字で最大32文字まで入力できます。

機能	メニュー/設定値	説明
アクセスポイント検索	-	([接続モード] が [マニュアルモード] の場合のみ設定可能)  は現在接続中のアクセスポイントを表します。 はセキュリティが設定されているアクセスポイントを表します。 セキュリティが設定されているアクセスポイントを選択するとセキュリティメニューに移行します。  p.88
IP設定 ([接続モード] が [マニュアルモード] の場合のみ設定可能)	DHCP	DHCPを使用する (オン) /しない (オフ) を設定します。以降のアドレスを指定する場合は、[オフ] に設定してください。
	IPアドレス	本機のIPアドレスを入力します。 以下のIPアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字)
	サブネットマスク	本機のサブネットマスクを入力します。 以下のサブネットマスクは使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255
	ゲートウェイアドレス	本機のゲートウェイのIPアドレスを入力します。 以下のゲートウェイアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字)
SSID表示	オン、オフ	LAN待機画面上にSSIDを表示する (オン) /しない (オフ) を設定します。
IPアドレス表示	オン、オフ	LAN待機画面上にIPアドレスを表示する (オン) /しない (オフ) を設定します。

セキュリティメニュー

機能	メニュー/設定値	説明
セキュリティ	なし、WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSK	セキュリティを設定します。 [かんたんモード] 時は [WPA2-PSK]、[マニュアルモード] 時は [WPA2-PSK] / [WPA/WPA2-PSK] が選択できます。
パスフレーズ	-	パスフレーズを入力します。 パスフレーズは半角英数字で8文字以上、最大32文字まで入力でき、大文字小文字は区別されます。 セキュリティを確保するために、定期的に変更することをお勧めします。

初期化メニュー

機能	説明
ネットワーク設定を初期化します。	[ネットワーク] のすべての調整値を初期値に戻します。

■ 情報メニュー

機能	メニュー/設定値	説明
プロジェクター情報	ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間を表示します。
	入力ソース	現在投写中の機器を接続している入力ソース名を表示しています。
	入力信号	入力信号を表示しています。
	入力解像度	入力解像度を表示しています。
	走査方式	走査方式を表示しています。
	リフレッシュレート	リフレッシュレートを表示しています。
	3D方式	3D映像投写時に入力されている信号の3D方式（フレームパッキング/サイドバイサイド/トップアンドボトム）が表示されます。
	同期情報	映像信号の情報を表示しています。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
	Deep Color	Deep Colorを表示しています。
	ビデオ信号方式	Video入力端子に接続しているビデオ機器の入力信号方式を表示しています。
	ステータス	本機に発生した異常についての情報です。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
	シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。
	Event ID	アプリケーションエラーログを表示します。🖱️ p.103
バージョン	Main	本機のファームウェアのバージョンを表示します。
	Video	
	Video2	

■ 初期化メニュー

機能	説明
全初期化	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 [液晶アライメント]、[ランプ点灯時間]、[言語]、[ネットワーク]、[メモリー] は初期値に戻りません。
メモリー初期化	[メモリー登録] で登録した内容をすべて初期化（消去）します。
ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間の累積を [0 H] に戻します。ランプ交換をしたときに行ってください。

■ Picture in Picture設定メニュー

Picture in Picture投写中に  ボタンを押すと表示されます。

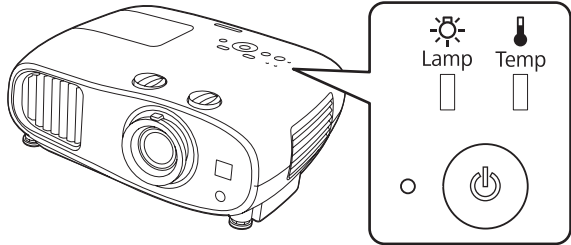
機能	メニュー/設定値		説明
Picture in Picture設定	子画面サイズ	小、大	子画面の画面サイズを切り替えます。  p.75
	子画面位置	右上/右下/左上/左下	子画面の表示位置を切り替えます。
	子画面入力ソース	HDMI1、HDMI2、WirelessHD※、Component、Video、PC	子画面に表示する入力ソースを選択します。  p.75
	親画面/子画面入替		親画面と子画面を切り替えます。  p.75
	Picture in Picture終了		Picture in Picture表示を終了します。  p.75

※ EH-TW6600Wのみ表示されます。

故障かなと思ったら

インジケータの見方

本機の状態は、操作パネルの 、（オペレーションインジケータ）、、の点灯や点滅で確認できます。

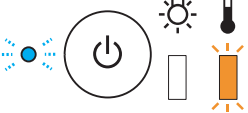
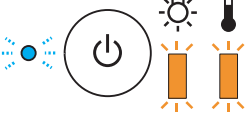
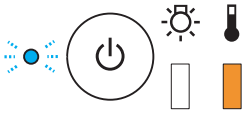


次の表でインジケータの状態と対処方法を確認してください。

異常/警告時のインジケータの状態

 :点灯  :点滅  :状態維持  :消灯

インジケータ	状態	対処方法
   (青) / (オレンジ)	ランプ交換勧告	ランプの交換時期です。速やかに新しいランプと交換してください。 ➡ p.108 このまま使い続けるとランプが破裂するおそれがあります。
   (青) / (オレンジ)	高温警告	このまま投写を続けられます。さらに高温になると投写を自動的に停止します。 - 壁際に設置している場合は、壁と排気口の間を20cm以上あけてください。 - エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除をしてください。 ➡ p.104

インジケーター	状態	対処方法
 (青) / (オレンジ)	内部異常	本体の故障です。 電源コードを抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。☛ 『お問い合わせ先』
 (青) / (オレンジ)	ファン異常 センサー異常	
 (青) / (オレンジ)	オートアイリス異常	
 (青) / (オレンジ)	電源系異常 (バラスト)	
 (青) / (オレンジ)	ランプ異常 ランプ点灯失敗	ランプに異常があるか、点灯に失敗しました。 - 電源コードを抜いてからランプが割れていないか確認します。☛ p.108 ランプが割れていなければ、ランプを再セットし、本機の電源を入れます。 ランプを再セットしても直らないときやランプが割れているときは、ご使用をやめ、電源コードを抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。☛ 『お問い合わせ先』 - ランプカバーがきちんと閉まっているか確認してください。
 (青) / (オレンジ)	内部高温異常 (オーバーヒート)	内部が高温になっています。 - ランプが自動的に消灯し投写できなくなります。約5分間そのままの状態待ちます。ファンが停止したら、電源コードを抜きます。 - 壁際に設置している場合は、壁と排気口の間を20cm以上あけてください。 - エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除をしてください。☛ p.104 - 電源を入れ直しても改善されない場合は、ご使用をやめ、電源コードを抜いてください。お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。☛ 『お問い合わせ先』 - 標高1500m以上でお使いの場合は、必ず[高地モード]を[オン]にしてください。☛ [設定] - [動作設定] - [高地モード] p.81

■ 正常動作時のインジケータの状態

■ :点灯 ■ :点滅 □ :消灯

インジケータ	状態	対処方法
○ 	スタンバイ状態	リモコンの  ボタンまたは操作パネルの  ボタンを押すと、しばらくして投写を開始します。
  (青)	ウォームアップ中	ウォームアップの時間は約30秒です。 ウォームアップ中は電源オフの操作は無効になります。
	クールダウン中	クールダウン中はすべての操作は無効になります。クールダウンが終了すると、スタンバイ状態になります。万一、クールダウン中に電源コードを抜いたときは、ランプが十分に冷えてから（約10分必要）、再び電源コードを接続し、リモコンの  ボタンまたは操作パネルの  ボタンを押してください。
●  (青)	投写中	通常動作中です。



- 正常動作時は  と  インジケータは消灯しています。
- [イルミネーション] 機能が [オフ] の場合は正常な投写中にインジケータがすべて消灯しています。  [設定] - [動作設定] - [イルミネーション] [p.81](#)

インジケータを確認してもわからないとき

■ 現象の確認

下記の表のうち、どのトラブルに該当するかを確認し、参照先をご覧ください。

現象		ページ
映像に関するトラブル	映像が表示されない 投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になるなど...	p.95
	コンピューターで再生する動画が表示されない	p.95
	「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される	p.95
	「映像信号が入力されていません。」と表示される	p.96
	ぼやける、ピントが合わない	p.96
	ノイズが入る・乱れるなど...	p.96
	切れる（大きい）、小さい、映像の一部分しか投写されないなど...	p.97
	色合いが違う 赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がくすむなど... ※	p.97
	暗い	p.97
	自動的に投写が消える	p.98
投写開始時のトラブル	電源が入らない	p.98
リモコンでのトラブル	リモコンで操作できない	p.98
操作パネルのトラブル	本体パネルで操作できない	p.99
3Dでのトラブル	3Dで正しく投写できない	p.99
	映像が引き伸ばされた状態で切れる	p.100
HDMIのトラブル	HDMIリンクで操作できない	p.100
	接続機器一覧に機器名が表示されない	p.100
WirelessHDのトラブル	WirelessHDの映像が投写できない	p.100
	WirelessHDの音声为正しく出ない	p.101
	WirelessHDの映像にノイズが入る、乱れる、途切れる	p.102
USBストレージデバイスのトラブル	スライドショーが開始されない	p.102
その他のトラブル	音が出ない、小さい	p.102
	無線LANでネットワーク接続ができない	p.103

※ コンピューターのモニターや液晶画面とは色の再現性が異なるため、本機での投写映像とモニターでの表示の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。

■ 映像に関するトラブル

映像が表示されない

確認	対処法
電源を入れましたか？	リモコンの ① ボタンまたは操作パネルの ② ボタンを押します。
電源コードを接続していますか？	電源コードを接続してください。
インジケータがすべて消灯していませんか？	本機の電源コードを抜いて、接続し直します。 接続後、電源ボタンを押して電気が供給されているか確認します。
映像信号は入力されていますか？	接続している機器の電源が入っているか確認します。環境設定メニューの [メッセージ表示] を [オン] に設定すると映像信号に関するメッセージが表示されます。🔊 [設定] - [表示設定] - [メッセージ表示] p.81
AVアンプの電源が切れていませんか？	AVアンプを接続しているときは、AVアンプの電源も確認してください。
機器から映像信号が送られていますか？	接続している機器から映像信号が送られていることを確認してください。
環境設定メニューの設定が間違っていますか？	全初期化してみてください。🔊 [初期化] - [全初期化] p.89
(コンピューター映像信号投写時のみ) 接続の作業を、本機やコンピューターの電源が入っている状態で行いましたか？	電源を入れた状態で接続を行うと、コンピューターの映像信号を外部に切り替えるキー（ファンクションキーなど）が使えないことがあります。接続しているコンピューターの電源を入れ直してください。

動画が表示されない

確認	対処法
(コンピューター映像信号投写時のみ) コンピューターの映像信号が外部と液晶モニター両方同時に出力されるように設定されていませんか？	コンピューターの仕様により映像を外部と液晶モニターに同時表示させると動画が表示されないことがあります。 映像信号が外部のみに出力されるように切り替えてください。 コンピューターの仕様はコンピューターの取扱説明書を参照してください。

「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

確認	対処法
(コンピューター映像信号投写時のみ) 映像信号の周波数や解像度が対応するモードですか？	環境設定メニューの [入力解像度] で入力中の映像信号を確認し、本機の解像度に対応しているか確認してください。 🔊 p.112

「映像信号が入力されていません。」と表示される

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ➡ p.20
接続した映像入力端子を正しく選択していますか？	リモコンの各入力ソースのボタンか操作パネルの  ボタンで映像を切り替えます。 ➡ p.27
接続している機器の電源は入っていますか？	機器の電源を入れます。
(コンピューター映像信号投写時のみ) プロジェクターに映像信号が出力されていますか？	映像信号がコンピューターの液晶モニター以外（外部）にも出力されるように切り替えます。外部に映像信号を出力すると、液晶モニターに表示されないモデルもあります。コンピューターの仕様はコンピューターの取扱説明書を参照してください。 本機やコンピューターの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピューターの映像信号を外部に切り替えるFn（ファンクション）キーが使えないことがあります。本機およびコンピューターの電源を入れ直してください。

投写映像が台形にゆがむ

確認	対処法
台形ゆがみは補正範囲内で調整していますか？	補正可能範囲よりも外の位置から投写を行うと、台形ゆがみが十分に補正できない場合があります。できるだけスクリーンの正面に水平・平行に設置して、レンズシフトを使って投写位置を調整してください。 ➡ p.15

ぼやける、ピントが合わない

確認	対処法
フォーカス調整しましたか？	フォーカス調整を行います。 ➡ p.29
レンズキャップが付いていませんか？	レンズキャップを外します。
投写距離は最適ですか？	投写距離の推奨範囲を確認してください。 ➡ p.17
レンズが結露していませんか？	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり、急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。ご使用になる1時間くらい前に使用する部屋に設置するようにします。結露してしまったときは、本機の電源を切り、電源コードを抜いてしばらく放置してください。

ノイズが入る、乱れる

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ➡ p.20

確認	対処法
ケーブルを延長していませんか？	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。
(コンピューター映像信号投写時のみ) [同期] / [トラッキング] は正しく調整されていますか？	本機は自動調整機能で最適な状態で投写します。ただし信号によっては、自動調整を行っても正しく調整されないものもあります。この場合は、環境設定メニューの [トラッキング] / [同期] で調整します。☛ [映像] - [トラッキング] / [同期] p.79
(コンピューター映像信号投写時のみ) 解像度の選択は正しいですか？	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。☛ p.112

映像の一部が切れる (大きい)、小さい

確認	対処法
[アスペクト] は正しく選択していますか？	 ボタンを押して入力信号に合った [アスペクト] を選択してください。☛ [映像] - [アスペクト] p.79
[表示位置] は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの [表示位置] で調整します。☛ [映像] - [表示位置] p.79
(コンピューター映像信号投写時のみ) 解像度の選択は正しいですか？	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。☛ p.112

色合いが違う

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛ p.20 Video、Component入力端子の場合は、コネクタと同じ色のケーブル端子を接続します。☛ p.20
コントラストは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの [コントラスト] を調整してください。☛ [画質] - [コントラスト] p.77
適切に色の調整がされていますか？	環境設定メニューの [アドバンスト] を調整してください。☛ [画質] - [アドバンスト] p.77
(ビデオ機器の映像信号投写時のみ) 色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの [色の濃さ] / [色合い] を調整してください。☛ p.77

暗い

確認	対処法
映像の明るさは正しく設定されていますか？	環境設定メニューの [明るさ] を設定してください。☛ [画質] - [明るさ] p.77
コントラストは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの [コントラスト] を調整してください。☛ [画質] - [コントラスト] p.77

確認	対処法
ランプの交換時期ではありませんか？	ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。 ☞ p.108

自動的に投写が消える

確認	対処法
「スリープモード」が働いていませんか？	信号が入力されていない状態が設定した時間続くと、ランプが自動的に消灯し、スタンバイ状態になります。リモコンの ① ボタンまたは操作パネルの ② ボタンを押すと電源が入ります。「スリープモード」を働かせないときは設定を「オフ」にします。☞ [設定] - [動作設定] - [スリープモード] p.81

■ 投写開始時のトラブル

電源が入らない

確認	対処法
電源を入れましたか？	リモコンの ① ボタンまたは操作パネルの ② ボタンを押します。
「チャイルドロック」を「オン」に設定していませんか？	環境設定メニューの「チャイルドロック」を「オン」に設定している場合は、操作パネルの ② ボタンを約3秒間押し続けるか、リモコンで操作します。☞ [設定] - [ロック設定] - [チャイルドロック] p.81
電源コードを触ると、インジケータが点いたり消えたりしませんか？	本機の電源を切り、電源コードを抜いてから差し直します。それでも直らないときは、ご使用をやめ、電源コードを抜き、お買い上げの販売店またはプロジェクターインフォメーションセンターにご相談ください。☞ 『お問い合わせ先』

■ リモコンでのトラブル

リモコンで操作できない

確認	対処法
リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作していますか？	リモコン受光部に向かって操作してください。また、操作可能範囲を確認してください。☞ p.25
プロジェクターから離れすぎていませんか？	操作可能範囲を確認してください。☞ p.25
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて設置してください。
乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい乾電池を正しい向きでセットします。☞ p.25

確認	対処法
リモコンをWirelessHDトランスミッターに向けてWiHD Transmitter制御のボタンを操作していますか？ (EH-TW6600Wのみ)	リモコンのWiHD Transmitter制御のボタンは、WirelessHDトランスミッターに向けて操作します。 ☛ p.64

■ 操作パネルのトラブル

本体パネルで操作できない

確認	対処法
「操作ボタンロック」を「オン」に設定していませんか？	環境設定メニューの「操作ボタンロック」を「オン」に設定していると、  ボタン以外の操作パネルのボタンはすべて無効になります。リモコンで操作します。☛ 「設定」 - 「ロック設定」 - 「操作ボタンロック」 p.81

■ 3Dでのトラブル

3Dで正しく投写できない

確認	対処法
3Dメガネの電源が入っていますか？	3Dメガネの電源を入れてください。
3D映像が投写されていますか？	本機が2D映像を投写しているときや、本体側のエラーなどで3D映像を投写していないときは3Dメガネをかけても3D映像を視聴できません。
入力映像が3Dに対応していますか？	入力映像が3Dに対応しているか確認してください。 テレビ放送の多くは、3Dフォーマットの識別信号が含まれていないため、手動で設定する必要があります。
「3D表示」を「オフ」に設定していませんか？	環境設定メニューの「3D表示」を「オフ」に設定していると、3D入力信号で自動的に3D映像に切り替わりません。  ボタンを押してください。☛ 「映像」 - 「3D設定」 - 「3D表示」 p.79
正しい3D方式に設定していますか？	本機の3D方式は自動で選択されますが、3Dの効果が正しく表示されない場合は、環境設定メニューの「3D方式設定」で選択してください。☛ 「映像」 - 「3D設定」 - 「3D方式設定」 p.79
受信範囲で視聴していますか？	3Dメガネが本機と通信できる範囲を確認し、範囲内で視聴してください。☛ p.51
ペアリングは正常にできていますか？	3Dメガネの取扱説明書を参照し、ペアリングを実施してください。
電波干渉を引き起こす機器が周囲にありますか？	他のBluetooth通信機器や無線LAN (IEEE802.11b/g)、電子レンジなどの周波数帯 (2.4GHz) と同時に使用すると、電波干渉が発生し、映像が途切れたり接続ができないことがあります。本機をこれらの機器の近くで使用しないでください。

3D映像が引き伸ばされた状態で切れる

確認	対処法
3Dの映像フォーマットは合っていますか？	3Dの映像フォーマットが合っていないと、映像が切れて表示されます。正しい3Dフォーマットに設定してください。 👉 p.47

■ HDMIのトラブル

HDMIリンクで操作できない

確認	対処法
HDMI規格に準拠したケーブルを使用していますか？	HDMI規格に適合していないケーブルでは動作しません。
HDMI CEC規格に対応した機器を接続していますか？	接続機器にHDMI端子がついていてもHDMI CEC規格に対応していないと操作できません。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。 また、  ボタンを押し、[接続機器一覧] で利用可能かどうか確認してください。👉 p.71
ケーブル類が正しく接続されていますか？	HDMIリンクを使うために必要なケーブル類が確実に接続されているか確認します。👉 p.70
接続しているアンプやDVDレコーダーなどの電源は入っていますか？	それぞれの機器の電源をスタンバイ状態にします。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。スピーカーなどを接続しているときは、接続先の機器の設定をPCM出力にしてください。
新しく機器を接続したり、接続を変更しましたか？	新しく機器を接続したり接続を変更した後に操作できないときは、接続機器のCEC機能を設定し直したり、再起動が必要な場合があります。
プレイヤーを複数台接続していませんか？	HDMI CEC規格で、同時に接続できるプレイヤーは3台までです。

接続機器一覧に機器名が表示されない

確認	対処法
接続機器がHDMI CEC規格に対応していますか？	接続機器がHDMI CEC規格に対応していないと表示されません。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。

■ WirelessHDのトラブル (EH-TW6600Wのみ)

WirelessHDの映像が投写できない

確認	対処法
同梱のWirelessHDトランスミッターを接続しているケーブルはHDMIの規格に対応していますか？	ケーブルがHDMIの規格に対応していないと動作しません。

確認	対処法
[WirelessHD] を [オフ] に設定していませんか？	環境設定メニューの [WirelessHD] を [オフ] に設定していると、WirelessHD入力信号で投写できません。 [WirelessHD] を [オン] に設定し、  ボタンを押してください。👉 [設定] - [WirelessHD] p.81
WirelessHDの通信範囲で受信していますか？	WirelessHDの送受信機が通信できる範囲を確認し、範囲内で視聴してください。👉 p.63
同梱のWirelessHDトランスミッターの電源は入っていますか？	WirelessHDトランスミッターの電源ランプを確認してください。電源が入っていない場合は、ACアダプターのコネクターをしっかりと差し込んで、電源スイッチを入れてください。
同梱のWirelessHDトランスミッターのWirelessHDインジケータが消灯していませんか？	WirelessHDトランスミッターに接続されたAV機器から映像信号が出力されていません。AV機器とWirelessHDトランスミッターのケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。 前回の視聴時にOutput端子を使用してテレビなどのモニター機器へ映像を出力した場合、次回起動時も前回と同じモニター機器へ映像を投写します。設定を解除する場合は、WirelessHDトランスミッターに向けてリモコンの  ボタン（出力切り替え）を押してください。👉 p.65
同梱のWirelessHDトランスミッターのLinkインジケータが消灯していませんか？	WirelessHDは本機と通信していません。WirelessHDの送受信機が通信できる範囲を確認し、範囲内に設置してください。
WirelessHDトランスミッターの排気口にホコリがたまっていますか？	WirelessHDトランスミッターの底面に排気口があります。ホコリがたまると通信できない場合があります。ホコリがたまらないように設置してください。
本機（プロジェクター）とWirelessHDトランスミッターの向きが正しいですか？	本機（プロジェクター）とWirelessHDトランスミッターは、互いに向き合うように設置してください。
画面左下に「入力ソース：WirelessHD X」 / 「映像信号が入力されていません。」と表示されていませんか？	WirelessHDトランスミッターのHDMI端子に接続したAV機器に電源が入っているか確認してください。画面に表示された入力信号の番号は、HDMI端子の番号と同じです。また、[HDMIリンク] が [オン] になっていない場合は、接続した機器の電源が入りません。[HDMIリンク] を [オン] に設定してください。👉 [設定] - [HDMIリンク] - [HDMIリンク] p.81

WirelessHDの音声为正しく出ない

確認	対処法
WirelessHDで接続している状態で音が出ませんか？	WirelessHDトランスミッターのOptical Audio-Out 端子に接続し、サウンドバーなどから音声を出力する場合は、[音声出力機器] を [WirelessHDトランスミッター] に設定してください。接続先のサウンドバーは、サラウンド再生に設定する必要があります。本機（プロジェクター）から音声を出力する場合は [プロジェクター] に設定してください。👉 [設定] - [HDMIリンク] - [音声出力機器] p.81

WirelessHDの映像にノイズが入る、乱れる、途切れる

確認	対処法
WirelessHDの通信範囲で受信していますか？	WirelessHDの送受信機が通信できる範囲を確認し、範囲内で視聴してください。  p.63
WirelessHDトランスミッターと本機の間には障害物がありますか？	WirelessHDはビーム状の通信電波を利用しているため、伝送経路が人や障害物などで遮断されると通信できず、映像に影響が出ます。WirelessHDの通信範囲の中で、WirelessHDトランスミッターと本機の間には障害物が入らないように設置してください。  p.63
受信感度が低い状態ではありませんか？	電波強度が不十分なため通信が不安定な可能性があります。WirelessHDトランスミッターの位置や向きを変えることで電波状態が改善することがありますので、[映像受信感度]を確認しながら設置してください。  [設定] - [WirelessHD] - [映像受信感度] p.81 電波強度は環境によって異なり、安定しない場合があります。[映像受信感度]を確認しながら、数値が安定する場所に設置してください。  [設定] - [WirelessHD] - [映像受信感度] p.81

■ USBストレージデバイスのトラブル

スライドショーが開始されない

確認	対処法
セキュリティー機能が付いているUSBストレージデバイスを使用していないですか？	セキュリティー機能が付いているUSBストレージデバイスは、使用できないことがあります。

■ その他のトラブル

音が出ない、小さい

確認	対処法
オーディオケーブルは正しく接続されていますか？	Audio (L-R)端子からケーブルを抜いて差し直してください。
音量調整が最小になっていませんか？	聞こえる音量に調整してください。  p.33
オーディオケーブルの仕様は「抵抗なし」となっていますか？	市販のオーディオケーブルを使う場合は「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。
HDMIケーブルで接続していますか？	HDMIケーブルで接続していて音が出ないときは、接続先の機器の設定をPCM出力にしてください。

無線LANでネットワーク接続ができない

確認	対処法
パスフレーズは正しいですか？	パスフレーズは大文字小文字を区別するので、注意してください。設定したパスフレーズが不明な場合は再度設定しなおしてください。
Event IDは確認しましたか？	Event IDの番号を確認し、次の対処法に従ってください。  p.103 Event IDは [情報] メニューから確認できます。  [情報] - [プロジェクター情報] - [Event ID] p.89

Event ID について

番号を確認して以下のとおり対処してください。問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。

 『お問い合わせ先』

Event ID	要因	対処法
0432 0435	EasyMP Network Projectionの起動に失敗しました。	プロジェクターを再起動してください。
0434 0481 0482 0485	ネットワークの通信状態が不安定です。	ネットワークの通信状態を確認して、しばらくしてから再接続してください。
0433	転送された画像を再生できません。	EasyMP Network Projectionを再起動してください。
0484	コンピューターから通信が切断されました。	
0483 04FE	EasyMP Network Projectionが予期せず終了しました。	ネットワークの通信状態を確認して、プロジェクターを再起動してください。
0479 04FF	プロジェクターにシステムエラーが発生しました。	プロジェクターを再起動してください。
0891	同じSSIDのアクセスポイントが見つかりません。	コンピューターやアクセスポイントとプロジェクターを同じSSIDに設定してください。
0892	WPA/WPA2の認証方式が一致しません。	無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。
0894	不正なアクセスポイントに接続したため通信が切断されました。	ネットワーク管理者に確認して指示に従ってください。
0898	DHCPの取得に失敗しました。	DHCPサーバーが正しく動作しているか確認してください。DHCPを使用しないときは、DHCPの設定をオフにしてください。
0899	その他、接続に関するエラー	プロジェクターまたはEasyMP Network Projectionを再起動しても問題が解決しない場合は、次に記載の連絡先にお問い合わせください。  『お問い合わせ先』

お手入れの方法

各部の掃除

本体が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

警告

本機のレンズやエアフィルターなどに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。

エアフィルターの掃除

エアフィルターにホコリがたまっていたり、次のメッセージが表示されたときは、エアフィルターを掃除してください。

「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」

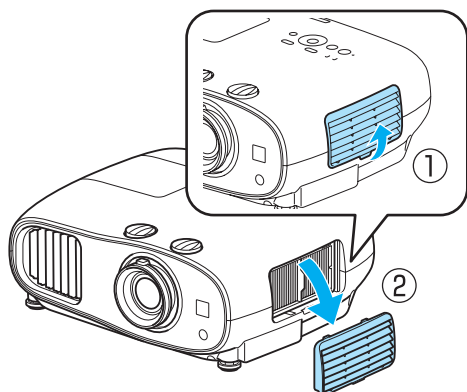
注意

- エアフィルターにホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。約3か月に一度はエアフィルターの掃除を行うことをお勧めします。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除を行ってください。
- エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。
- 軽くなでるように掃除をしてください。強くこするとホコリがエアフィルター内部に入り込み取れなくなります。

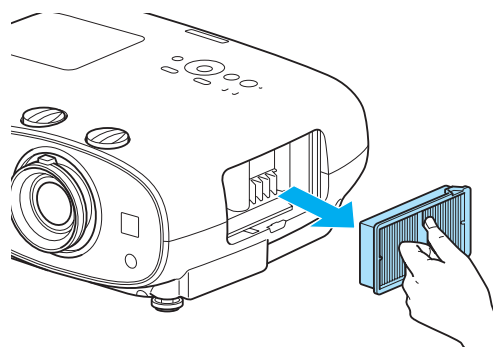
1 リモコンまたは操作パネルの  ボタンで電源を切り、電源コードを抜きます。

2 エアフィルターカバーを取り外します。

エアフィルターカバーのタブに指をかけ、下に向かって外します。

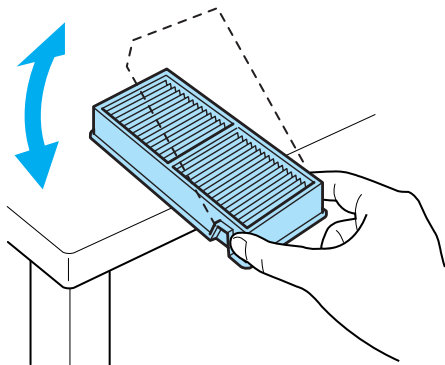


3 エアフィルターを取り出します。
中央のつまみを持ってエアフィルターを取り出します。



- 4** エアフィルターの表面を下にして、4～5回たたいてホコリを落とします。

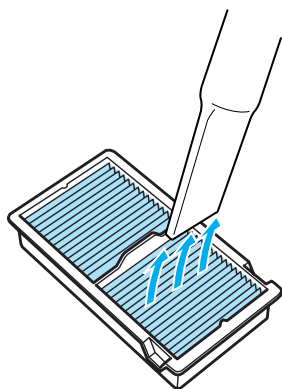
持ち替えて手に持っていた方も同様にたたいてホコリを落とします。



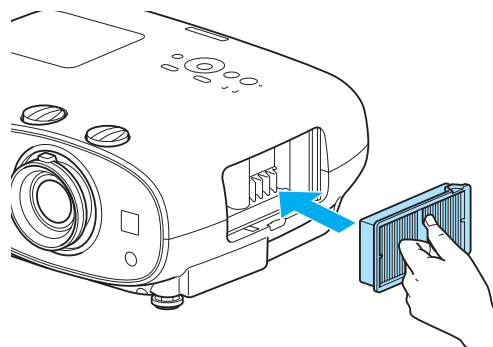
注意

エアフィルターを強くたたきすぎると、変形したり割れたりして使用できなくなります。

- 5** 掃除機でエアフィルターに残ったホコリを表側から吸い取ります。

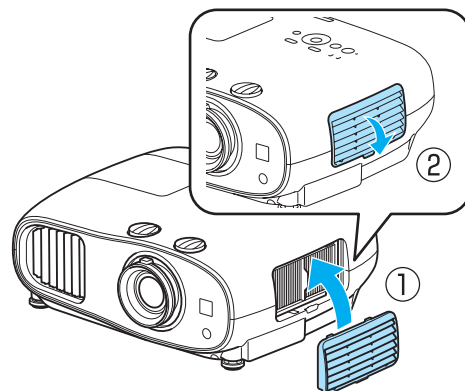


- 6** エアフィルターを取り付けます。
中央のつまみを持ってエアフィルターをまっすぐに差し込んで取り付けます。



- 7** エアフィルターカバーを取り付けます。

上部のツメをはめてから下部をはめます。



■ 本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

■ レンズの掃除

レンズの汚れは、メガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

注意

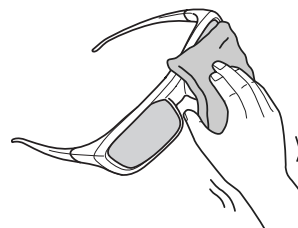
レンズの表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、乱暴に扱わないでください。

■ 3Dメガネの掃除

メガネレンズの汚れは、クリーナーで軽くふき取ってください。

注意

- メガネレンズの表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、乱暴に扱わないでください。
- お手入れの際には、USB充電AC電源アダプターをコンセントから抜き、すべてのケーブルを外したことを確認してから行ってください。
- 3Dメガネには充電電池が含まれています。廃棄するときは、地域の廃棄ルールに従ってください。



消耗品の交換時期

■ エアフィルターの交換時期

- エアフィルターの掃除を行っても交換メッセージが表示されるとき ➡ [p.104](#)

■ ランプの交換時期

- 投写開始時に、次のメッセージが表示されたとき
「ランプの交換時期です。交換用ランプの情報につきましては取扱販売店にお問い合わせいただくか、www.epson.jpをご覧ください。」
- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき



- 初期の明るさや画質を維持するため、使用時間が最短で約3400時間を経過すると、ランプ交換メッセージが表示されます。メッセージの表示時間はカラーモード設定などお使用の状況により変わります。
交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものもあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお勧めします。
- 交換用ランプはお近くのエプソン商品取扱店および、エプソンダイレクト（通話料無料 0120-545-101）でお買い求めください。

消耗品の交換

■ エアフィルターの交換方法

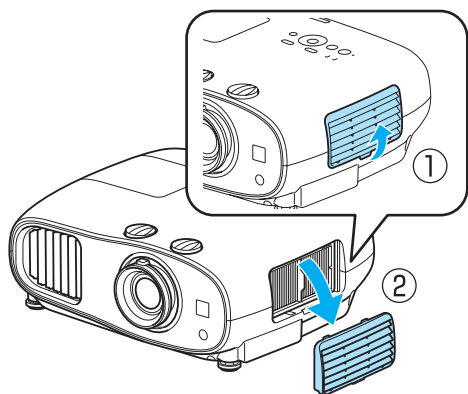


使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。
材質：PP

1 リモコンまたは操作パネルの  ボタンで電源を切り、電源コードを抜きます。

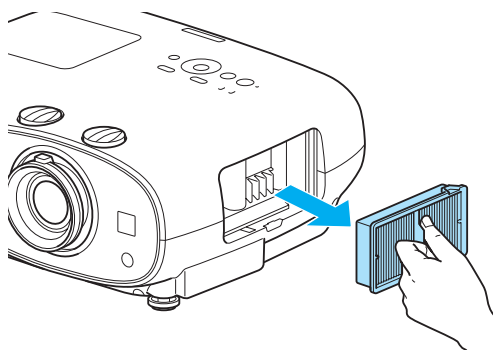
2 エアフィルターカバーを取り外します。

エアフィルターカバーのタブに指をかけ、下に向かって外します。



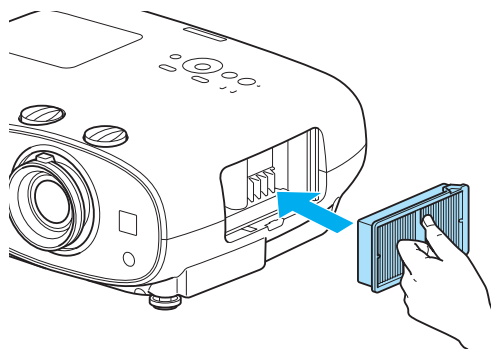
3 古いエアフィルターを取り外します。

中央のつまみを持ってエアフィルターを取り出します。



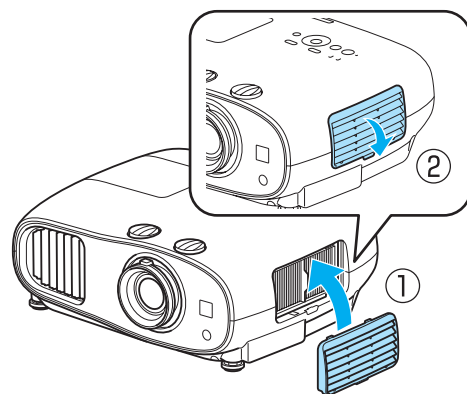
4 新しいエアフィルターを取り付けます。

中央のつまみを持ってエアフィルターをまっすぐに差し込んで取り付けます。



5 エアフィルターカバーを取り付けます。

外側のツメをはめてから下部をはめます。



■ ランプの交換方法

⚠ 警告

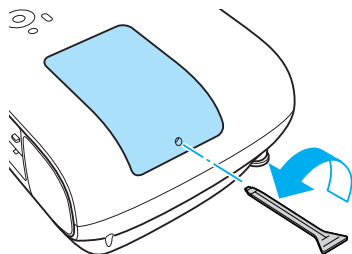
ランプが点灯しなくなり交換する場合は、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊りで使用していてランプ交換を行う場合は、ランプが割れていることを想定し、ランプカバーをそっと取り外してください。ランプカバーを開ける際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があります。万一、目や口にガラス破片が入った場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

⚠ 注意

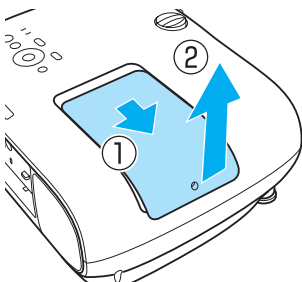
- 電源を切った直後はランプカバーが熱くなっていますので、触らないようにしてください。ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱でけがの原因となることがあります。
- プロジェクターの性能をフルに発揮するために、エプソン純正品の交換用ランプをお使いください。純正品以外のものを使用すると、プロジェクター本体に品質面、安全面で悪影響を及ぼす可能性があります。純正品以外のランプを使用して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内でも有償修理となります。

- 1 リモコンまたは操作パネルの ⏻ ボタンで電源を切り、電源コードを抜きます。

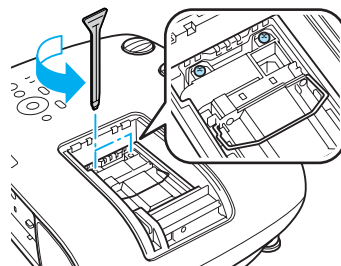
- 2 ランプカバー固定ネジをゆるめます。



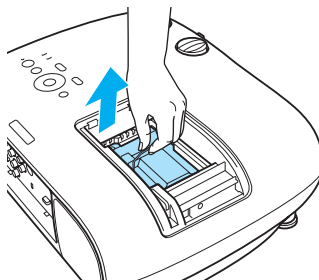
- 3 ランプカバーを取り外します。
ランプカバーをまっすぐスライドさせて外します。



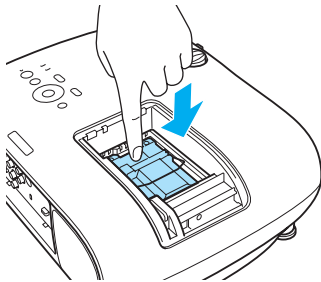
- 4 ランプ固定ネジをゆるめます。



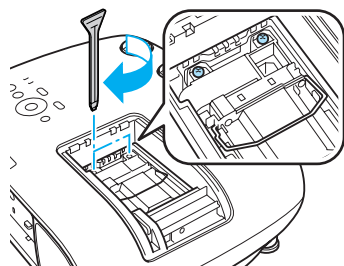
- 5 古いランプを取り出します。
取っ手を持ってまっすぐ引き抜きます。



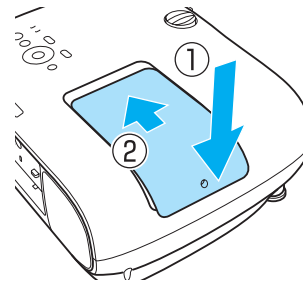
- 6** 新しいランプを取り付けます。
向きを合わせて押し込みます。



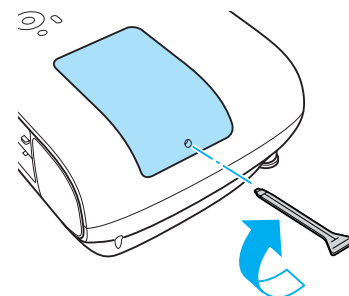
- 7** ランプ固定ネジをしっかり締めます。



- 8** ランプカバーを取り付けます。
スライドさせながらカバーを取り付けます。



- 9** ランプカバー固定ネジを締めます。



⚠ 警告

ランプの分解・改造は絶対しないでください。分解・改造したランプをセットして本機を使用すると、火災・感電・事故の原因となります。

⚠ 注意

- ランプやランプカバーは確実に取り付けてください。取り付けが不十分だと電源が入りません。
- ランプには水銀が含まれています。使用済みのランプは、地域の蛍光管の廃棄ルールに従って廃棄してください。

■ ランプ点灯時間初期化

ランプ交換をした後は、必ずランプ点灯時間の初期化をしてください。

本機はランプ点灯時間を記憶し、累計が交換時間に達すると、メッセージやインジケータでお知らせします。

1 電源を入れます。

2  ボタンを押します。
環境設定メニューが表示されます。

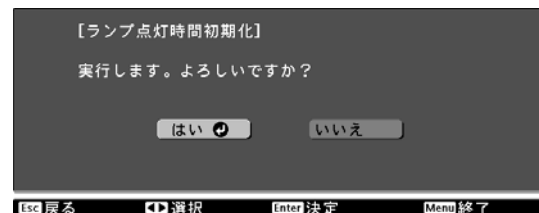
3 [初期化] - [ランプ点灯時間初期化] を選択します。

初期化を確認する画面が表示されます。



4   ボタンで [はい] を選択し、 ボタンを押して実行します。

ランプ点灯時間が初期化されます。





オプション・消耗品一覧

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション・消耗品類は2014年7月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

オプション品

名称	型番	説明
天吊り金具※	ELPMB20	本機を天井に取り付けるときに使用します。
	ELPMB22	
	ELPMB30	
パイプ450（450mmホワイト）※	ELPFP13	高天井および化粧天井に取り付けるときに使用します。
パイプ700（700mmホワイト）※	ELPFP14	
アクティブ3Dメガネ	ELPGS03	アクティブシャッター方式（Bluetooth通信）の3Dメガネです。本機で3D映像を視聴するときに使用します。
USB充電AC電源アダプター	ELPAC01	3Dメガネを充電するときに使用します。
無線LANユニット 802.11b/g/n(2.4GHz)	ELPAP07	本機と外部機器を無線LANで接続して投写するときに使用します。

※ 天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

消耗品

名称	型番	説明
交換用ランプ	ELPLP85	使用済みランプと交換します。（ランプ1個）
エアフィルター	ELPAF39	使用済みのエアフィルターと交換します。（エアフィルター1枚）



対応解像度一覧

コンポーネントビデオ

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
SDTV (480i)	60	720 x 480
SDTV (576i)	50	720 x 576
SDTV (480p)	60	720 x 480
SDTV (576p)	50	720 x 576
HDTV (720p)	50/60	1280 x 720
HDTV (1080i)	50/60	1920 x 1080
HDTV (1080p)	50/60	1920 x 1080

コンポジットビデオ

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
TV (NTSC)	60	720 x 480
TV (SECAM)	50	720 x 576
TV (PAL)	50/60	720 x 576

コンピューター映像 (アナログRGB)

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
VGA	60	640 x 480
SVGA	60	800 x 600
XGA	60	1024 x 768
SXGA	60	1280 x 960
	60	1280 x 1024
WXGA	60	1280 x 768
	60	1366 x 768
	60	1280 x 800
WXGA++	60	1600 x 900

HDMI1/HDMI2入力信号

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
VGA	60	640 x 480
SDTV (480i)	60	720 x 480
SDTV (576i)	50	720 x 576
SDTV (480p)	60	720 x 480
SDTV (576p)	50	720 x 576
HDTV (720p)	50/60	1280 x 720
HDTV (1080i)	50/60	1920 x 1080
HDTV (1080p)	24/30/50/60	1920 x 1080

MHL入力信号

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
VGA	60	640 x 480
SDTV (480i)	50	720 x 480
SDTV (576i)	60	720 x 576
SDTV (480p)	50	720 x 480
SDTV (576p)	60	720 x 576
HDTV (720p)	50/60	1280 x 720
HDTV (1080i)	50/60	1920 x 1080
HDTV (1080p)	24/30	1920 x 1080

3D入力信号 HDMI

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)	3Dフォーマット		
			フレームパッキング	サイドバイサイド	トップアンドボトム
HDTV (720p)	50/60	1280 x 720	✓	✓	✓
HDTV (1080i)	50/60	1920 x 1080	-	✓	-
HDTV (1080p)	50/60	1920 x 1080	-	✓	-
HDTV (1080p)	24	1920 x 1080	✓	✓	✓

WirelessHD入力信号

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
VGA	60	640 x 480
SDTV (480i)	60	720 x 480
SDTV (576i)	50	720 x 576
SDTV (480p)	60	720 x 480
SDTV (576p)	50	720 x 576
HDTV (720p) ※	50/60	1280 x 720
HDTV (1080i)	50/60	1920 x 1080
HDTV (1080p) ※	24/50/60	1920 x 1080

※ WirelessHDで投写する場合、以下の信号はDeep Colorに対応していません。

2D：1080p 60/50 Hz

3D：1080P 24 Hzフレームパッキング/720P 50/60 Hzフレームパッキング/1080p 60/50 Hzサイドバイサイド

3D入力信号 MHL (WirelessHDトランスミッター※経由)

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)	3Dフォーマット		
			フレームパッキング	サイドバイサイド	トップアンドボトム
HDTV (720p)	50/60	1280 x 720	-	✓	✓
HDTV (1080i)	50/60	1920 x 1080	-	✓	-
HDTV (1080p)	50/60	1920 x 1080	-	-	-
HDTV (1080p)	24	1920 x 1080	-	✓	✓

※ HDMI5端子のみ



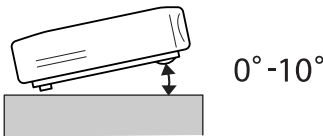
仕様一覧

商品名		EH-TW6600W	EH-TW6600
外形寸法（フット含まず）		410（幅） x 157（高さ） x 304（奥行き） mm	
パネルサイズ		0.61型ワイド	
表示方式		ポリシリコンTFTアクティブマトリクス	
画素数		横1920 x 縦1080 x 3	
走査周波数	デジタル	ピクセルクロック：13.5 - 148.5 MHz	
		水平：15.63 - 67.5 kHz	
		垂直：24、30、50 - 60 Hz	
	アナログ	ピクセルクロック：13.5 - 148.5 MHz	
		水平：15.63 - 67.5 kHz	
		垂直：50 - 60 Hz	
フォーカス調整		手動	
ズーム調整		手動（約1：1.6）	
ランプ（光源）		UHEランプ 定格250W、型番：ELPLP85	
電源		100 - 240 V AC±10%、50/60 Hz、3.9-1.8 A	
消費電力	100 - 120 Vエリア	定格消費電力：385 W	
		待機時消費電力：0.29 W 待機時消費電力：1.6 W※1	
	220 - 240 Vエリア	定格消費電力：366 W	
		待機時消費電力：0.43 W 待機時消費電力：1.8 W※1	
動作高度		標高0～3000 m	
動作温度範囲		+5～+35℃※2（結露しないこと）	
保存温度範囲		－10～+60℃（結露しないこと）	
質量		約6.8 kg	約6.7 kg
接続端子		Component入力端子x1系統、3RCAピンジャック	
		PC入力端子x1系統、ミニD-sub 15pin（メス）青色	
		HDMI入力端子x2系統、HDMI HDCP対応、CEC信号対応、MHL信号対応(HDMI1入力端子のみ)、 リニアPCM対応、Deep Color	
		Video入力端子x1系統、RCAピンジャック	
		RS-232C端子x1系統、D-sub 9pin（オス）	
		Trigger Out端子x1系統、3.5mmミニジャック	
		音声入力（L-R）端子x1系統、RCAピンジャック	
		Audio Out端子x1系統、ステレオミニピンジャック	
		USB 2.0 TypeA端子x1系統	
		スピーカー	

- ※1 EH-TW6600WでWirelessHDトランスミッターを使用し、以下の条件を満たす場合
[設定] - [WirelessHD] - [WirelessHD] - [オン]
[設定] - [HDMIリンク] - [電源オン連動] が [双方向] または [接続機器→PJ]  p.81
- ※2 標高2286 m～で使用する場合は+5～+30℃。

傾斜角度

10°以上傾けて使用すると、故障や事故の原因となります



ESC/VP21コマンド

ESC/VP21を使うと本機を外部機器から制御できます。詳細は以下のWebサイトにてご確認ください。
<http://www.epson.jp>

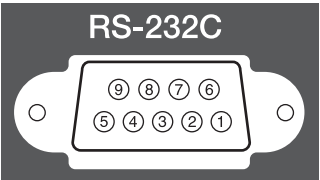
RS-232Cケーブル配線

RS232Cクロスケーブルをお使いください。

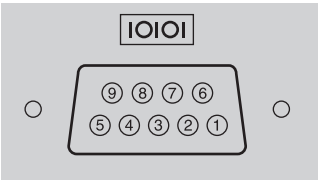
- コネクタ形状：D-sub 9pin（オス）
- プロジェクター入力端子名：RS-232C
- 信号名：

信号名	機能
GND	各信号線の接地
TD	送信データ
RD	受信データ

<プロジェクター側>



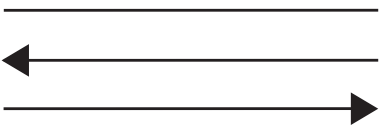
<コンピューター側>



<プロジェクター側>

GND 5
RD 2
TD 3

(PCシリアルケーブル)



<コンピューター側>

5 GND
3 TD
2 RD

- 通信プロトコル
ボーレート基準速度：9600 bps
データ長：8 bit
パリティ：なし
ストップビット：1 bit
フロー制御：なし

用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細については市販の書籍などを利用してください。

HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略で、DVIやHDMI端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。本機のHDMI入力端子はHDCPに対応しているため、HDCP技術で保護されたデジタル映像を投写できます。ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。
HDMI™	High Definition Multimedia Interfaceの略で、HD映像と、マルチチャンネルオーディオ信号をデジタル伝送する規格のことをいいます。 HDMI™はデジタル家電やコンピューターをターゲットにした規格であり、デジタル信号を圧縮せず高品質のまま転送でき、デジタル信号の暗号化機能もあります。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 • 垂直解像度720p、1080i以上（pはプログレッシブ走査、iはインターレース走査） • 画面のアスペクトは16：9・ドルビーデジタル音声の受信、再生（あるいは出力）
MHL	Mobile High-definition Linkの略で、モバイル端末で映像信号の高速伝送を実現する、高精細映像向けの接続インターフェイスの規格のことをいいます。 MHLはスマートフォンやタブレット端末をターゲットにした規格であり、デジタル信号を圧縮せず高品質のまま伝送し、電源供給も行います。
NTSC	National Television Standards Committeeの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。この方式は日本や北米、中南米で利用されています。
PAL	Phase Alternation by Lineの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。この方式はフランス以外の西ヨーロッパ諸国をはじめ、中国などのアジア諸国やアフリカなどで利用されています。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビ放送のことです。
SECAM	SEquential Couleur A Memoireの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。フランス、東ヨーロッパや旧ソ連、中東、アフリカなどで利用されています。
SVGA	画面サイズの規格で、横800ドットx縦600ドットのことを呼びます。
SXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドットx縦1,024ドットのことを呼びます。
VGA	画面サイズの規格で、横640ドットx縦480ドットのことを呼びます。
XGA	画面サイズの規格で、横1,024ドットx縦768ドットのことを呼びます。
YCbCr	SDTV用のコンポーネント映像信号で、Yが輝度、Cb、Crが色差を表します。
YPbPr	HDTV用のコンポーネント映像信号で、Yが輝度、Pb、Prが色差を表します。
アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。横：縦の比率が16：9の、HDTVなどの画面をワイド画面といいます。 SDTVや、一般的なコンピューターのディスプレイのアスペクト比は、4：3です。

インターレース	1つの画面を作り出す情報を上から下へ1つ飛ばしに伝送します。1フレームの表示が1ラインおきとなるため、ちらつき（フリッカー）が出やすくなります。
ペアリング	Bluetooth機器で接続するとき、相互に通信できるよう、あらかじめ機器を登録することです。



一般のご注意

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源コードは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源コードを現地にてお求めください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

3Dメガネ使用上の注意事項

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止してください。その他何かお困りのことが起きたときはインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。



商標について

「EPSON」はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。「EXCEED YOUR VISION」, 「ELPLP」はセイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。

HDMIとHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。

WirelessHD、WiHD、およびWiHDロゴはWirelessHD LLC.の商標または登録商標です。

InstaPrevueおよびInstaPrevueロゴは、Silicon Image, Inc.の商標または登録商標です。

Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc.の商標です。

MHL、MHLのロゴ、および Mobile High-Definition Linkは、米国およびその他の国におけるMHL, LLCの商標または登録商標です。

WPA™、WPA2™はWi-Fi Allianceの登録商標です。

App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。

Google Playは、Google Inc.の商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2014. All rights reserved.

数字・アルファベット

2D-3D変換	79
3D明るさ調整	79
3D映像	47
3D奥行き調整	79
3D設定	79
3D表示	79
3D方式	89
3D方式設定	79
3Dメガネ	47
3Dメガネ左右反転	79
3Dメガネ充電端子	56
3Dメガネの掃除	106
CEC規格	70
Deep Color	89
DHCP	88
EPSON Super White	78
Event ID	89, 103
HDMI1端子	22, 23
HDMI1入力端子	20, 21
HDMI2入力端子	20, 21
HDMI端子	70
HDMIリンク	70, 82
HDMIビデオレベル	81
IPアドレス	88
IPアドレス表示	88
IP設定	88
Linkインジケータ	56
MHL対応機器の接続	22, 23
PC入力端子	21
Picture in Picture設定	74, 90
Picture in Picture終了	90
RGB	78
RGBCMY	37, 78
RGBの調整	38
SSID	87
SSID表示	88
USB	72
USB機器の接続	22
USB端子	22
WiHDインジケータ	56
WiHDモード	82
WirelessHD	56, 82
WirelessHD機器の接続	23

ア

明るさ	77
明るさ切替	78
アクセスポイント検索	88
アスペクト	35, 79
アドバンスト	78, 80
異常/警告インジケータ	91

イルミネーション	84
色合い	77
色温度	77
色の濃さ	77
インジケータ	91
動き検出	80
エアフィルターカバー	104, 107
エアフィルターの掃除	104
エアフィルター	104
エアフィルターの交換	107
エアフィルターの交換時期	106
映像サイズ	79
映像受信感度	62, 82
映像処理	81
映像メニュー	79
液晶アライメント	85
オートアイリス	41, 78
オーバースキャン	81
オフセット	38, 78
親画面/子画面入替	90
音声	82
音声左右反転	82
音量	33, 82

カ

外形寸法	14
画質	34
画質メニュー	77
型番表示モード	85
傾き調整	30
カラーモード	34, 77
環境設定メニュー	76
ガンマ	37, 78
基本設定メニュー	87
クールダウン	27
ゲイン	38, 78
ゲートウェイアドレス	88
言語	85
交換時期	106
高地モード	84
子画面	69
子画面位置	90
子画面サイズ	90
子画面入力ソース	90
コントラスト	77
コンピューターとの接続	21
コンポーネント入力端子	20

サ

彩度	37, 78
サブネットマスク	88
サブメニュー	76

色相	37, 78
視聴注意の表示	79
視聴範囲	51
自動絞り	41
自動調整	80
シャープネス	40, 77
写真	72
仕様一覧	115
情報メニュー	89
消耗品の交換	107
消耗品の交換時期	106
初期化	78, 81, 82, 85
初期化メニュー	88, 89
シリアル番号	89
ズーム	35
ズーム調整	29
ズームリング	7
スタートアップスクリーン	85
スタンバイ確認	85
ステータス	89
スマートフォン・タブレット端末の接続	22, 23
スライドショー	72
スリープモード	84
セキュリティー	88
セキュリティーメニュー	88
接続	20
接続機器一覧	62, 82
接続モード	87
設置モード	83
設定メニュー	81
セットアップレベル	80
全初期化	89
操作パネル	7, 8
操作範囲	25
走査方式	89
操作ボタンロック	83
ソフトキーボード	87

タ

対応解像度	112
台形ゆがみ	32
ダイレクトパワーオン	84
タテ補正	81
タテヨコ	81
タテヨコ補正	32
チャイルドロック	83
チャンネル設定	87
超解像	80
調整開始	85
調整色	85
通信範囲	63
ディテール強調	41, 80

テストパターン表示	29
電源	26, 27
電源オフ連動	82
電源オン連動	82
点灯時間	110
同期	79
同期情報	89
動作設定	84
投写サイズ	17
投写サイズの調整	29
トップメニュー	76
トラッキング	79
トリガーアウト	84

ナ

入力解像度	89
入力信号	89
入力ソース	27, 89
ネットワークメニュー	86
ノイズ	96
ノイズリダクション	80

ハ

バージョン	89
背景表示	85
パズフレーズ	88
パターン色	85
肌の色調整	77
ビデオ機器との接続	20
ビデオ信号方式	89
ビデオ入力端子	20
表示位置	79
表示設定	85
ピント	96
ピント調整	29
フォーカス調整	29
フォーカスリング	7, 29
フル	35
プログレッシブ変換	79
プロジェクター情報	89
ペアリング	49
ボリューム	33
本体の掃除	105

マ

無線LAN電源	87
無線LANメニュー	87
明度	37, 78
メッセージ表示	85
メニュー	76
メモリー機能	44
メモリー削除	45, 86

メモリー初期化	45, 89
メモリー登録	44, 86
メモリー名称変更	45, 86
メモリーメニュー	86
メモリー呼出	45, 86

ヤ

ユーザーボタン	83
ヨコ補正	81

ラ

ランプカバー	7, 108
ランプカバー固定ネジ	108
ランプ点灯時間	89
ランプ点灯時間初期化	89, 110
ランプの交換	108
ランプの交換時期	106
リフレッシュレート	89
リモコン	10, 25
レンズの掃除	106
ロック設定	83